

令和8年度
青森県の
社会教育行政



青森県教育庁生涯学習課

はじめに

人々が人生を送る中で、生涯学習や社会教育を通じ、県民全体の多様な「学び」の充実を図ることで、県民一人ひとりのウェルビーイング向上を実現していく必要があり、こどもや若者、社会人、高齢者など、年齢を問わず誰もが学び続け、地域社会の担い手となるよう、社会教育を充実させていくことが求められます。

このため、青森県教育委員会では、本県の教育行政の基本的な目標及び施策の方向性を示した「青森県教育施策の方針」に基づき、「郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を目指し、「学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育」を市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進しているところです。また、「県民の宝であるこどもたちの幸せは県民の幸せにつながる」という思いで、こどもの学びを県民が一体となって支える社会の実現に向けて、様々な取組を進めています。

令和8年度は、ふるさとを愛する心を育む教育の推進のため、大人の意識変革を促すとともに、こどもたちのキャリア形成と郷土愛の醸成を図るための事業を実施します。また、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業」についても、研修会の開催や推進員の配置など、引き続き取組を進めて参ります。

本冊子は、第1部において、本県の令和8年度社会教育行政に関わる施策と事業概要及び令和7年度の事業実績について、第2部においては、市町村及び社会教育関係団体の社会教育事業及び社会教育施設についての基礎的なデータを掲載しております。生涯学習・社会教育に関係する多くの皆様に、広く御活用いただければ幸いに存じます。

結びに、本冊子の作成に当たり御協力をいただきました、各市町村教育委員会及び社会教育施設、本県各行政機関、社会教育関係団体の皆様に心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

令和8年4月

青森県教育庁生涯学習課長
清 川 喜 之

目次

第1部

I	青森県教育施策の方針	1
II	令和8年度社会教育行政の方針と重点	2
III	令和8年度社会教育施策	
1	「令和8年度社会教育行政の方針と重点」における施策・事業一覧	6
2	令和8年度事業の概要	
(1)	学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成	8
(2)	地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成	21
(3)	人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進	23
(4)	社会教育推進のための基盤整備	28
3	令和8年度社会教育関係予算の概要	34
4	附属機関の概要	
(1)	青森県生涯学習審議会	35
(2)	青森県社会教育委員	36
(3)	青森県立図書館協議会	37
5	令和8年度県社会教育関係職員	
(1)	県教育庁生涯学習課事務分掌	38
(2)	教育事務所及び県立社会教育施設の社会教育関係職員一覧	41
	ホームページ「あおもりの生涯学習ー楽しむ 高める 生かすー」のご案内	43
IV	令和7年度の実績	
1	令和7年度事業一覧	44
2	令和7年度事業の実績	
(1)	学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成	46
(2)	地域の強みを生かした地域づくりに向けた人財の育成	74
(3)	人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進	78
(4)	社会教育推進のための基盤整備	86
3	青少年教育施設の概要	
(1)	少年自然の家の利用状況	95
(2)	県立以外の主な青少年教育施設の概要	96
	[参考] 令和7年度社会教育関係刊行物一覧	101
V	令和7年度青森県生涯学習関連事業調査の結果	
1	調査の概要	102
2	令和7年度中に実施した生涯学習関連事業	
(1)	実施主体別分類	104
(2)	事業別分類	106
(3)	事業一覧（令和7年度実績）	107

第2部

I	令和8年度市町村の社会教育行政	
1	市町村教育委員会の社会教育担当主管部署一覧	114
2	市町村教育委員会事務局の社会教育関係職員数	115
3	市町村の社会教育委員の委嘱状況	116

4	社会教育施設の状況	
(1)	公民館数及び公民館職員数	117
(2)	公民館一覧	119
(3)	公立図書館一覧	123
(4)	博物館等一覧	123
(5)	青少年教育施設一覧	124
(6)	教育委員会が所管するその他の社会教育施設一覧	124
II	令和7年度市町村の社会教育事業の実績	
1	市町村の事業実施件数	125
2	市町村単独実施事業のうち学習機会提供事業の実施状況（事業種別）	127
III	令和7年度市町村の生涯学習推進体制	129
IV	市町村こども読書活動推進計画策定状況	131
V	主な社会教育関係団体一覧	132

巻末資料

・	文部科学大臣表彰者一覧	133
・	青森県教育振興基本計画について	134

第 1 部

I 青森県教育施策の方針

青森県教育委員会は、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。このため、

夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育

学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育

次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用

活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

平成26年1月8日決定

Ⅱ 令和 8 年度社会教育行政の方針と重点

1 方針

県民一人ひとりが、ウェルビーイング^{※1}の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財^{※2}の育成

- ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進
- ウ こどもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援体制の充実
- オ こどもの体験活動の推進

(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

(3) 人生 100 年時代の学び直しや生涯学習の推進

- ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進
- イ 郷土を愛する県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進
- ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員等の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

※1 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。また、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念。

※2 人は青森県にとって「財（たから）」であるという基本的な考え方から、ここでは「人材」を「人財」と表しています。

令和8年度社会教育行政の方針と重点について（解説）

青森県教育振興基本計画※及び「青森県教育施策の方針」を踏まえ、本県の社会教育行政が取り組むべき施策の基本的方向及び重点的に取り組む施策を「社会教育行政の方針と重点」として定めるものである。

※青森県教育委員会では、「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」、「青森県教育施策の大綱」及び今後取り組む具体的な施策や進捗状況を把握するための指標を設定した「アクションプラン」をあわせて「青森県教育振興基本計画」（2024～2028年度）に位置付けている。

1 方針

県民一人ひとりが、ウェルビーイングの向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

県民一人ひとりが、「ウェルビーイングの向上を目指して生きがいのある充実した生活を送る」こと及び「豊かで住みよい地域社会を形成する」ことを社会教育行政の目指す状態として掲げるものである。

その実現に向けては、人々が新たな知識や技術を学び、その成果を生かして様々な地域活動に参画していくことが求められることから、学習活動を通じて社会が人を育み、人が社会をつくるという好循環を目指し、「学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める」こととするものである。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成

未来を担う人財である子どもたちが心豊かでたくましく成長するよう、多様な体験活動等を通して育成するとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ、教職員、保護者、地域住民が連携・協働して社会全体で子どもたちを育むことが求められる。

特に重点的に取り組む施策として、次の5項目を掲げる。

ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、地域と学校が連携・協働して、学びによるまちづくり、地域人財育成、郷土学習、放課後や土曜日等における学習体験・活動など、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を促進するため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を支援する。

イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進

社会人・職業人として自立できるよう必要な資質、能力、態度を培うキャリア教育を推進するため、地域の企業、NPO、大学等との連携・協働による教育支援活動を充実させるとともに、子どもたちのキャリア形成を支援する。

ウ こどもの読書活動の充実

こどもの読書習慣を形成するため、こどもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発と電子書籍等を含めた読書環境の整備を進める。

エ 家庭教育支援体制の充実

家庭教育の自主性を尊重しつつ、教育の原点である家庭の教育力を高めるため、支援者の育成やその活用によるきめ細やかな家庭教育支援の取組を通して、社会全体で家庭教育を支える体制を充実させる。

オ こどもの体験活動の推進

青少年教育施設の主催事業を始めとするこどもの自然体験活動等、多様な体験活動を推進する。

(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

地域の強みを生かした豊かで住みよい地域社会や持続的な地域コミュニティを形成するためには、地域活動に主体的に取り組む人財や地域の次代を担う若者の育成が求められるとともに、人財相互のネットワークづくりが必要である。

特に重点的に取り組む施策として、次の3項目を掲げる。

ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成

各地域において、地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こすとともに、地域活動に多様な側面から関わり、それぞれの個性を生かして主体的に取り組む実践者を養成する。また、地域活動をけん引する指導者や、人や組織を結ぶコーディネーターを養成する。

イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成

地域の活力が将来にわたって持続するよう、郷土に誇りを持ち、その良さを引き継ぎながら地域づくりに取り組む地域の次代を担う人財を育成する。

ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

地域活動の実践者、指導者、コーディネーターを始め、大学、企業、NPO等の地域活動に関わる関係者の資質向上のため、ネットワークの形成を促進する。

(3) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

上記(1)・(2)に掲げる「人財の育成」を進めるため、人生100年時代においては、こどもや若者、社会人、高齢者など、年齢を問わず学び続け、地域社会の担い手となるよう、生涯学習・社会教育を充実させていくことが求められる。

特に重点的に取り組む施策として、次の3項目を掲げる。

ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進

県民の主体的なキャリア形成を促すため、産学官民によるネットワークを活用する等、学び直しやリカレント教育の機会を充実させ、誰もが生涯にわたって意欲を持って学び、教養や能力を高め、活躍していく環境づくりに取り組む。

イ 郷土を愛する県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進

「あおもり県民カレッジ」での取組やボランティア関係者の研修の実施及びネットワークの構築等により、郷土を愛する県民一人ひとりの学習成果を生かした社会参加活動を支援する。

ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進

性別や年齢、障がい等の有無などに関わらない多様なニーズに応じた学びの機会や地域課題に応じた学習機会・学習情報の提供、学習相談等、生涯学習環境の充実及び社会参加活動の促進を支援する。

(4) 社会教育推進のための基盤整備

上記(1)～(3)の重点施策を実現するため、社会教育推進のための基盤整備に継続的に取り組む。

ア 社会教育推進体制の充実

青森県生涯学習審議会、青森県社会教育委員の会議による提言等に基づき施策の充実に努めるとともに、施策立案に資する調査研究を実施する。

イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進

県の社会教育施設（県立図書館、総合社会教育センター、県立少年自然の家）の機能の充実に努めるとともに、各市町村の公民館、図書館等社会教育施設についても、活用促進に向けて支援する。

ウ 社会教育関係職員等の養成と資質の向上

社会教育主事（社会教育士を含む。）、図書館司書、視聴覚教育に関わる職員等の養成と資質の向上を図る。

エ 社会教育関係団体等の活動の支援

県内の社会教育関係団体等が行う活動を支援する。

Ⅲ 令和8年度社会教育施策

1 「令和8年度社会教育行政の方針と重点」における施策・事業一覧

重 点	令和8年度事業一覧	所管	掲載ページ	
(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成	CSと地域学校協働活動の一体的推進事業	《地域》	P. 8	
	特別支援学校におけるコミュニティ・スクール運営事業	《地域》	P. 9	
ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進	高等学校におけるコミュニティ・スクール導入事業	《地域》	P. 10	
	キャリア教育支援の仕組みづくりの推進	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業	《地域》	P. 10
イ	いじめ防止キャンペーン推進事業	《企画》	P. 11	
	キャリア形成支援講座 ～大学生と青森の未来・自分の未来を“カタル”～	《社セ》	P. 11	
	高校生スキルアッププログラム推進事業	《社セ》	P. 12	
	地域と学校をつなぐキャリア教育推進事業	《社セ》	P. 12	
	ウ こどもの読書活動の充実	こどもの読書活動推進事業	《企画》	P. 13
	こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業	《図書》	P. 13	
	エ 家庭教育支援体制の充実	あおもり家庭教育支援総合事業	《地域》	P. 14
家庭教育支援普及啓発事業		《社セ》	P. 14	
家庭教育相談事業		《社セ》	P. 14	
家庭教育支援者養成事業		《社セ》	P. 15	
オ こどもの体験活動の推進	県立梵珠少年自然の家主催事業	《梵珠》	P. 16	
	県立種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、こどもの祭典）	《種差(指定)》	P. 19	
	自然体験活動支援事業	《種差(指定)》	P. 20	
	在学少年宿泊指導者研修	《種差(指定)》	P. 20	
	親子で学ぶ防災キャンプ事業	《種差(指定)》	P. 20	
(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成	地域活動講座～パワフルAOMORI！創造塾～	《社セ》	P. 21	
ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成	郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成	若者の社会参加促進事業	《地域》	P. 21
		高校生地域活動講座～チャレンジAOMORI！未来塾～	《社セ》	P. 22
ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援				

(3) 人生100年時代の学び直し や生涯学習の推進	あおもり県民カレッジ運営業務	《社セ(指定)》	P. 23
	ア 県民の学び直しやリカレント 教育の推進	近代文学館 特別展開催事業	《図書》 P. 23
	近代文学館 企画展開催事業	《図書》	P. 24
イ 県民の生涯学習と学びを通 じた社会参加の推進	ふるさと青森を愛する人づくり推進事業	《企画》	P. 24
	社会参加活動推進講座	《社セ》	P. 24
ウ 性別・年齢・障がい等の有無 に関わらない多様なニーズに 応じた生涯学習環境の充実と 社会参加活動の促進	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業	《企画》	P. 25
	障がい者の生涯学習支援事業	《企画》	P. 25
	共生社会の実現に向けた障がい者の生涯学習支援事業	《企画》	P. 25
	学習情報の収集・提供事業	《社セ》	P. 26
	視聴覚ライブラリー運営事業	《社セ》	P. 26
	読書バリアフリー推進事業	《図書》	P. 27
	(4) 社会教育推進のための基盤 整備	生涯学習推進基盤整備事業（生涯学習推進本部、青森県生涯 学習審議会）	《企画》
ア 社会教育推進体制の充実		生涯学習・社会教育総合調査研究事業	《企画》 P. 28
青森県社会教育委員の会議の運営		《企画》	P. 28
市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育 行政」の作成		《企画》	P. 29
イ 社会教育施設の機能の充実 と活用の促進	インフォメーションプラザありすの運営	《社セ(指定)》	P. 29
	県立図書館資料整備	《図書》	P. 29
ウ 社会教育関係職員等の養成 と資質の向上	社会教育主事有資格者育成派遣事業	《企画》	P. 30
	生涯学習専門講座派遣事業	《企画》	P. 30
	社会教育主事等一般研修	《企画》	P. 30
	生涯学習・社会教育関係職員研修講座	《社セ》	P. 30
	市町村立図書館等職員研修事業	《図書》	P. 32
	図書館地区別研修事業	《図書》	P. 33
エ 社会教育関係団体等の活動 の支援	在学青少年育成費補助事業	《地域》	P. 33

【所管等凡例】

《企画》生涯学習課企画振興グループ 《地域》生涯学習課地域連携推進グループ 《社セ》県総合社会教育センター
《図書》県立図書館 《梵珠》県立梵珠少年自然の家
《社セ(指定)》県総合社会教育センター指定管理者事業 《種差(指定)》県立種差少年自然の家指定管理者事業

2 令和8年度事業の概要

重点(1)学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成

ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

県生涯学習課

CSと地域学校協働活動の一体的推進事業 53,599千円

1 CS・地域学校協働活動推進事業 10,172千円

[事業目的及び概要]

県域においてコミュニティ・スクール(以下「CS」という。)と地域学校協働活動の一体的推進を図り、地域全体でこどもたちの成長を支えていく体制を整備することを目的に、学校と地域との効果的な連携の在り方等を学ぶ研修会、市町村担当者を対象とした相談対応等による地域学校協働活動支援、県立学校への地域学校協働活動推進員の配置を行う事業である。

[事業内容]

(1) CSと地域学校協働活動に係る研修

ア 地域活動者・企業のための地域学校協働活動研修会

- 目的：地域活動者や企業等を対象とし、学校との効果的な連携の在り方や支援の仕方について県内外の先進事例を学び、参加者間で情報交換を行う。

地区	期日	会場	講師
東青	7/6(月)	県総合社会教育センター	井上 尚子
中南	7/2(木)	スポカルイン黒石	四柳 千夏子
上北	7/1(水)	東北町北総合運動公園トレーニングセンター	四柳 千夏子

- 対象：地域活動者、企業関係者、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、市町村教育委員会担当者、地域住民 等
- 講師：一般社団法人 S. PLACE 代表理事 井上 尚子(CSマイスター)
ひとまちみらい研究所 代表 四柳 千夏子(CSマイスター)

イ CS・地域学校協働活動研修会

- 目的：地域学校協働活動推進員の委嘱、CSの導入等について、中心的な役割をする市町村教育委員会担当者の理解を深めることも視野に入れ、教職員や教育委員会担当者等を対象とし、CSと地域学校協働活動の一体的推進に係る文科省の動向、県内外の先進事例を学び、参加者間で情報交換を行う。

地区	期日	会場	講師
西北	8/26(水)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	安齋 宏之
下北	9/8(火)	むつ来さまい館	猿渡 智衛
三八	9/1(火)	ハートフルプラザ・はしかみ	猿渡 智衛

- 対象：県及び市町村教育委員会担当者、地域連携を担う教職員(公立小・中・義務教育学校、県立学校)、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等
- 講師：ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之(CSマイスター)
金沢大学先端科学・社会共創推進機構 客員研究員 猿渡 智衛(CSマイスター)

(2) 市町村地域学校協働活動支援

ア 市町村地域学校協働活動相談支援

県内の地域学校協働活動を安定的に推進するために、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供や市町村のCS導入や地域学校協働本部の整備、推進員の配置、これらの有効な利用について、課員や統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員が相談対応や課題解決のためのサポートを行う。

イ 学校・家庭・地域連携推進委員会等の開催

CSと地域学校協働活動の一体的推進について、総合的な在り方の検討を行うとともに、放課後児童対策について、その在り方を検討することで、CSと地域学校協働活動の一体的推進及び放課後児童対策の総合的な推進を図る。

(ア) 学校・家庭・地域連携推進委員会

○構成：学識経験者、学校教育関係者、PTA関係者、社会教育関係者、行政関係者、福祉関係者等 15名以内

(イ) 放課後児童対策に係る市町村担当者連絡会議

○対象：放課後児童対策に係る市町村担当者(社会教育主管課及び福祉部局)

ウ 放課後児童対策に係る支援員等研修会【主管：各教育事務所】

○目的：放課後児童対策の事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。

○期日：前後期各1日(東青のみ前期2日)

地区	前期	後期
東青	6/9(火)、10(水)	9/9(水)
西北	5/29(金)	10/2(金)
中南	7/6(月)	11/16(月)
上北	6/10(水)	10/27(火)
下北	6/11(木)	9/17(木)
三八	6/11(木)	10/8(木)

○対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

(3) 県立学校への地域学校協働活動推進員配置

CSを導入している県立学校のうち8校に推進員を配置し、県立学校における地域学校協働活動のコーディネートを行うことで、地域と学校のネットワークを構築し、教育活動の充実と教職員の業務負担軽減を図る。

○配置校：青森東高等学校、黒石高等学校、七戸高等学校、三沢商業高等学校、八戸第二養護学校、八戸高等支援学校、森田養護学校、七戸養護学校(8校)

○生涯学習課員等による指導、助言等を行う。

2 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助 43,427千円

[事業目的及び概要]

市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費に対し、県が補助を行う事業である。

[事業内容]

地域学校協働活動(放課後子供教室を含む。)の取組を行う市町村(中核市を除く。)に補助金を交付する。

【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

19市町村(地域学校協働本部 40本部、放課後子供教室 58教室)

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町
弘前市 平川市 大鰐町 十和田市 三沢市 むつ市 大間町 風間浦村 佐井村
三戸町 五戸町

特別支援学校におけるコミュニティ・スクール運営事業 3,622千円

[事業目的及び概要]

県立特別支援学校全20校に導入したコミュニティ・スクールの仕組みを生かして学校と地域の連携・協働体制の構築を目指す事業である。

[事業内容]

○導入校：県立特別支援学校全20校

(1) 各校における学校運営協議会の実施

○学校運営協議会委員を10名以内で任命

○年4回程度の実施

○場所、日時は各学校で設定

○年度末に学校運営協議会活動状況報告書を提出

(2) コミュニティ・スクール連絡会議(特別支援学校)の実施

- 対象 : 県立特別支援学校関係教職員
- 期日 : 8月下旬～9月上旬
- 実施方法 : オンライン
- 内容 : 生涯学習課からの情報提供、各校の取組に係る情報提供(事例紹介、質疑応答)、運営上の課題等に係る意見交換

高等学校におけるコミュニティ・スクール導入事業 4,523千円**【事業目的及び概要】**

全国的に拡充している県立高等学校へのコミュニティ・スクールの導入について、導入校での取組効果等を踏まえ、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校と地域の連携・協働体制の構築を目指す事業である。

【事業内容】

- 導入校 : 県立高等学校(28校)
 - ・既導入校 : 青森西、青森北、弘前、弘前南、八戸、八戸東、八戸西、鱒ヶ沢、黒石、野辺地、百石、六ヶ所、大湊、大間、三戸、名久井農業、十和田工業、八戸水産、三沢商業、北斗、八戸中央、尾上総合(22校)
 - ・新規導入校 : 青森東、青森中央、木造、七戸、青森工業、八戸商業(6校)
- (1) 各校における学校運営協議会の実施
 - 学校運営協議会委員を10名以内で任命
 - 年4回程度の実施
 - 場所、日時は各学校で設定
 - 年度末に学校運営協議会活動状況報告書を提出
- (2) コミュニティ・スクール連絡会議(高等学校)の実施
 - 対象 : コミュニティ・スクール導入校(県立高等学校)関係教職員
 - 期日 : 8月下旬～9月上旬
 - 実施方法 : オンライン
 - 内容 : 生涯学習課からの情報提供、各校の取組に係る情報提供(事例紹介、質疑応答)、運営上の課題等に係る意見交換
- (3) 県立高等学校CS導入促進のための研修会

県立高等学校において、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校運営やコミュニティ・スクールを運営する上での管理職や教職員の役割、留意点等について学ぶ研修会を開催し、県立高等学校へのコミュニティ・スクール導入促進を図る。また、コミュニティ・スクール既導入校におけるコミュニティ・スクールを生かした教育活動の充実を図る。

 - 対象 : 県立高等学校教職員(管理職、地域連携を担当する教員等)
 - 期日 : 11/24(火)
 - 会場 : 県総合社会教育センター
 - 講師 : 文科省CSマイスター 竹村 和之

重点(1) イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進**県生涯学習課****社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,762千円****【事業目的及び概要】**

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

【事業内容】

- (1) 社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【主管 : 東青教育事務所、下北教育事務所】
 - ア 地域課題解決スタートアップ研修会の開催

市町村の社会教育主事をはじめとする社会教育関係職員(以下「社会教育主事等」という。)、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体、地域住民等が、域内の市町村における地域課題、地域素材等をもとに、地域の活性化を図る取組の方策について考えるワークショップを行い、実施可能な事業について検討する。

イ 事業の企画・実践【委託】

社会教育主事等、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等で構成される実行委員会が、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画する。また、地域ネットワークを効果的に活用し、地域人財の多様な視点を取り入れながら、企画した事業を実践する。

ウ 地域課題解決フォローアップ研修会の開催

「まとめ・環流」を目的に、実行委員会による実践発表及び事業成果を域内の市町村へ波及させるための意見交換等を行う。

(2) キャリア教育の推進【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地域産業と学校の連携・協働による地域人財育成や学校・家庭・地域におけるキャリア教育充実を目的とした、青森県教育支援プラットフォーム実行委員会への事業委託

(ア) 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、関係者同士による意見・情報交換を行う。

(イ) 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各実行委員会とも関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業の新規開拓を行う。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業について、さらなる活用を促進するために、登録企業周知を行う。

(ウ) キャリア教育推進のためのコーディネート業務

学校からの要望に応じて、地元企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)に係るコーディネートを行う。

イ あおもりキャリア教育応援企業表彰の企画・運営

いじめ防止キャンペーン推進事業 6,299千円

【事業目的及び概要】

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品を広告動画を通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

【事業内容】

(1) いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品程度を選定する。

(2) Web 広告配信

いじめ防止標語コンクールの優秀賞作品を活用した動画を制作し、YouTube 広告、Instagram 広告、TikTok 広告にて配信する。

県総合社会教育センター

キャリア形成支援講座 ～大学生と青森の未来・自分の未来を“カタル”～ 1,758千円

【事業目的及び概要】

ふるさとに誇りをもち、主体的に行動できる若者を育成するため、研修によって一定のスキルを身につけた大学生が、中学生・高校生とともに、生涯にわたる「自分の生き方」について考え、語り合うワークショップを開催し、双方のキャリア形成を図る。

【事業内容】

(1) ワークショップの実施

ア 時期：夏期…8月下旬から9月下旬、冬期…1月下旬～3月上旬

- イ 対象：青森県内の高等学校及び中学校・義務教育学校 12 校（県立・私立を問わない）
- (2) 研修
- ア 基礎研修
- ・基本研修：コミュニケーション、コーチング、ファシリテーション、青森の魅力に関する事項を学ぶ研修（青森地区、弘前地区にて開催）
 - ・ワークショップ演習：演習を通じ、気持ちや考えを引き出すための方法の研修（基本研修と同時開催）
- イ 合同リハーサル研修
- ワークショップ運営の一連の流れを確認し、企画のポイントなどを確認する研修（ワークショップ開催前に実施校ごとに行う）①時期：8月、1月 ②回数：3回 ③対象：基礎研修を修了した大学生
- ウ 応用研修
- ワークショップの企画・運営に必要なマネジメント力や運営ノウハウを学ぶ研修（10月、3月に各1回、対象は基礎研修参加者のうち希望する大学生）
- エ 企画運営会議
- 大学生の代表者による、ワークショップの企画内容や運営についての意見交換（時期：5月、7月、9月、3月に各1回を予定）

高校生スキルアッププログラム推進事業	321 千円
---------------------------	---------------

〔事業目的及び概要〕

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

〔事業内容〕

- (1) 高校生スキルアッププログラム（スキルアップ認定証・奨励証の交付）の運営
- (2) 高校生スキルアップNEWSの提供
- (3) 担当者説明会の実施
- (4) 評価サービス
- (5) 県民カレッジとの連携

地域と学校をつなぐキャリア教育推進事業	1,249 千円
----------------------------	-----------------

〔事業目的及び概要〕

地域と学校が互いの専門性を尊重し、「支援」から「パートナーシップ」への意識の転換を図ることにより、地域全体が一体となった教育支援体制を整え、こどもたちの社会的・職業的自立を支える持続可能なキャリア教育支援ネットワークの構築を目指す。

〔事業内容〕

- (1) 地域と学校をつなぐキャリア教育研修会
 - ア 期日・場所：調整中
 - イ 対象：地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、教育支援プラットフォーム実行委員会教育支援推進員、地域学校協働活動に携わっている人、地域学校協働活動に関心のある地域住民、学校関係者、市町村教育委員会担当者
 - ウ 内容：①実践発表
②講義・演習
- (2) 「我が社は学校教育サポーター」の管理・運営・普及啓発
 - ア 学校等への普及啓発
 - イ 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの運営

重点(1) ウ こどもの読書活動の充実

県生涯学習課

こどもの読書活動推進事業 3,113千円

〔事業目的及び概要〕

「青森県こども読書活動推進計画(第五次)」に基づき、「読書で広がる あおもりっこの未来」というキャッチフレーズの下、読書に親しみ、自主的に読書活動をするこどもたちを育てるため、不読率の低減、多様なこどもたちの読書機会の確保、デジタル社会に対応した読書環境の整備、こどもの視点に立った読書活動の推進に取り組む事業である。

〔事業内容〕

- (1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』
県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい本に関する 200～300 字程度の紹介文を募集し、秀逸な作品を選び表彰するとともにホームページ等で紹介する。
- (2) こどもの読書活動推進大会の開催
広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図る。
○期日：12月上旬
○場所：青森県総合社会教育センター(予定)
- (3) 青森県こども読書活動推進計画の周知
作成した第五次計画概要版チラシを、生涯学習課等での主催行事の際に配布するなどして、第五次計画の周知を図るとともに、計画的にこどもの読書活動を推進するため、未策定・未改定の市町村に対して現状の訪問や聞き取りを実施し、策定・改定が進むよう指導・助言を行う。
- (4) 啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」第7版の増刷・提供
乳幼児期からの家庭におけるこどもの読書活動の重要性に対する意識啓発を図るため、啓発小冊子(第7版)を希望する市町村等へ提供し、読み聞かせや保護者向け研修会等で活用してもらう。

県立図書館

こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

こどもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村内巡回図書セット貸出サービス
「朝の読書」活動や読み聞かせ等に使える図書をセットにし、市町村立図書館等を経由して、小・中学校、義務教育学校、幼稚園・保育所等に貸出
貸出：前期 6月～9月 後期 11月～2月
種別：小学校用(低学年・中学年・高学年)、中学校用、幼児に読み聞かせする絵本・児童書、読み聞かせ活動用の大型絵本
- (2) 学習支援セット貸出サービス
調べ学習等に使える図書をセットにし、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に貸出
貸出：3か月以内(予約がなければ1か月ずつ3回まで延長可)
種別：32のテーマごとのセット
- (3) ミニセット貸出サービス
全国的なイベント等に対応した展示に使える図書をセットにし、市町村立図書館等(一部、高等学校・特別支援学校を含む。)に貸出
貸出：3か月以内
種別：あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」優秀作品集セットほか4セット

重点(1) エ 家庭教育支援体制の充実

県生涯学習課

あおもり家庭教育支援総合事業 2,514 千円

〔事業目的及び概要〕

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うために、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催
今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業(学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等)について協議する。
○回数：年3回
○構成：有識者、家庭教育支援者など10名以内
- (2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の周知
「あおもり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを作成し、関係各所へ配布するとともに、要望に応じて「あおもり親楽プログラム」を増刷する。
- (3) あおもり家庭教育応援フォーラムの開催
地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行うとともに、支援者同士のネットワークを構築する。
○対象：家庭教育支援に携わっている方、家庭教育・子育てに興味関心のある方、親子、保護者及び家族、市町村教育委員会家庭教育担当者、市町村児童福祉担当者、幼稚園・保育所・こども園職員、各種学校教職員、PTA関係者など
○期日：11/21(土)
○講師：島谷 留美(「ママの学校」主宰、親子カウンセラー、言葉がけコーチ)
○場所：アピオあおもり
- (4) 地域の家庭支援を目指した多世代交流・参加型研修会
地域の子どもからシニアまでの多世代を対象とした、気軽に参加・交流できる生涯スポーツ的なレクリエーション体験等を通じ、地域の家庭支援の土台となる全世代の健康増進や交流・活性化に寄与する研修会を県内2地区で開催する。
- (5) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成
県読書団体連絡協議会への委託により、読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成と、読み聞かせ実践者のスキルアップを図る研修会を県内6地区で開催する。

県総合社会教育センター

家庭教育支援普及啓発事業 4,055 千円

〔事業目的及び概要〕

青森県の家庭教育支援を推進するため、親子で気軽に学べる学習機会の提供や情報を発信することにより、家庭での教育力を高め、子どもの健やかな成長を支援するとともに、県の家庭教育支援に関する取組について、広く普及啓発する。

〔事業内容〕

- (1) 親子の学び応援フェアの開催
- (2) 各種広報

家庭教育相談事業 1,088 千円

〔事業目的及び概要〕

子育て中の不安や悩みを軽減するため、乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族を対象に、

電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う。

〔事業内容〕

- (1) 対象：乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族
- (2) 実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日(祝日・年末年始を除く) 13:00～15:00
メール相談・24時間受付
- (3) 場所：県総合社会教育センター電話相談室
- (4) 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などのこどもに対する悩みや家庭教育全般について
- (5) 相談体制：家庭教育相談員が対応

家庭教育支援者養成事業 1,084千円

〔事業目的及び概要〕

地域における家庭教育支援体制を整備するため、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催し、子育てを応援する人財を育成・活用する。

〔事業内容〕

- (1) あおもり家庭教育アドバイザー養成講座
 - ア 場所：東青地区：県総合社会教育センター/上北地区：三沢市国際交流教育センター
 - イ 定員：各30名
 - ウ 対象：家庭教育支援者をめざす人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、市町村の家庭教育担当者等
 - エ 内容：今日的な家庭教育支援の現状についての講義・演習

回	期日・地区	内容・講師
1	6/11(木)・東青	オリエンテーション 講義「家庭教育支援者の役割・心構え」 特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子
	6/24(水)・上北	
2	7/23(木)・東青	講義「子どもの気持ちを理解するために」 八戸学院大学短期大学部 こども教育学科 教授 差波 直樹 演習「あおもり親楽プログラムⅠ」 県総合社会教育センター 職員
	7/27(月)・上北	
3	8/28(金)・東青	見学・講義 家庭教育支援チーム・子育て支援団体等見学 東青地区 学校法人 認定こども園 油川幼稚園 園長 敦賀 努子 上北地区 Joyful pop 代表 小比類巻 麻衣
	8/19(水)・上北	
4	9/10(木)・東青	講義「気になる子どもの理解と対応」 青森県発達障がい者支援センターDoors センター長 分枝 篤史 演習「あおもり親楽プログラムⅡ」 県総合社会教育センター 職員
	9/24(木)・上北	
5	10/14(水)・東青	講義「今、親が悩むこと～親子のコミュニケーション～」 岩手大学人文社会科学部 准教授 萩臺 美紀 演習「あおもり親楽プログラムⅢ」 県総合社会教育センター 職員
	10/26(月)・上北	
6	11/11(水)・東青	演習「あおもり親楽プログラムⅣ」 県総合社会教育センター 職員
	11/18(水)・上北	

- (2) あおもり家庭教育アドバイザーフォローアップ研修

- ア 期日：9/27(日) 9:00～12:00
- イ 対象：あおもり家庭教育アドバイザー
- ウ 会場：県総合社会教育センター
- エ 内容：演習「あおもり親楽プログラム」 県総合社会教育センター職員

- (3)あおもり家庭教育アドバイザーの活用
 ア アドバイザー登録情報の管理
 イ アドバイザー派遣

重点(1) オ こどもの体験活動の充実

県立梵珠少年自然の家

県立梵珠少年自然の家主催事業 1,931千円

(1)看板事業(こども事業)

[事業目的及び概要]

小学生から中学生までの「こども」を対象に、豊かな自然環境の中で行うキャンプ・野外炊事などの様々な自然体験活動を通して、基本的な生活習慣や仲間と協力しようとする態度を育てていく事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
9歳アドベンチャーキャンプ	①7/11(土)～ 7/12(日) ②10/10(土)～ 10/11(日) 【1泊2日】	小学3年～ 4年、 義務教育学校 3年～4年 の児童	各回 36名	野外活動(アドベンチャーゲーム、梵ファイヤー)、野外炊事、思い出クラフト、館内シュラフ泊など
夏のチャレンジキャンプ	8/7(金)～ 8/10(月) 【3泊4日】	小学5年～ 中学3年、 義務教育学校 5年～9年 の児童生徒	36名	野外活動(登山、ラフティング、梵ファイヤー)、館内泊、野外炊事、食材買い出し、思い出クラフトなど
冬の3days キャンプ	1/7(木)～ 1/9(土) 【2泊3日】	小学4年～ 中学2年、 義務教育学校 4年～8年 の児童生徒	30名	かまくら基地作り、炊事、チューブそり遊び、スノーシューハイキング、思い出クラフト、館内泊など
7歳わんぱくキャンプ	2/13(土)～ 2/14(日) 【1泊2日】	小学1年～ 小学2年 義務教育学校 1年～2年 の児童	24名	スノーランド作り・遊び、雪上ミニ運動会、館内炊事、思い出クラフト、館内泊など

(2)養成事業

[事業目的及び概要]

当施設利用団体の引率者や高校生・大学生などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー及び講座等の開催をとおして、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
施設利用団体事前研修	(全体研修会) 4/15(水) (事前打合せ) 利用日の14日前 までに実施	令和8年度 利用予定団 体の引率者	全体研修 会は希望 者のみ 事前打合 せは必須	(全体研修会)講義、説明、活動プログラム体験 (事前打合せ)引率者との打合せ、施設内見学、活動プログラムの事前指導など
自然体験活動 ぼんじゅボランティア セミナー 【必修】 ・入門セミナー 【選択】 ・春を楽しむサン day ・ファミリーS キャンプ ・9歳アドベンチャーC① ・ネイチャークラブ① ・夏のチャレンジキャンプ ・ネイチャークラブ② ・9歳アドベンチャーC② ・ぼんじゅフェスタ ・ネイチャークラブ③ ・冬をいろどるクラフト day ・ウィンタースクール ・冬の3days キャンプ ・冬を楽しむホワイト day ・7歳わんぱくキャンプ 【任意】 ・ふりかえりセミナー	実施日は各事 業を参照 ※入門セミナー 5/9(土) ※ふりかえり セミナー 3/6(土)	高校生及び 大学生	定員は各 事業によ り異なる	ボランティアに登録後、必修の「ボランティア入門セミナー」を受講し、看板事業、親子事業、学習・生活習慣支援事業の全14事業の中から1つ以上を選択して受講する。なお、「ボランティアふりかえりセミナー」は任意参加とする。 活動内容は、事業によって以下のように異なる。 【看板・学習・生活習慣支援事業】 ・担当グループの活動・生活支援 ・実践企画の運営(アイスブレイクなど) ・キャンプ等の野外活動における基本的な知識や技術の習得 【親子事業】 ・担当ブースの運営 ・参加者への活動支援等 ・各プログラムの準備や片付け スタッフ補助等
ぼんじゅ出前講座	通年実施 【各回即日】 ※直接指導は 11月～3月 のみ対応 間接指導は全 ての月で対応	小・中学校、 義務教育学 校、各種学 校、青少年 教育団体、 幼児施設等	特に定め ない	対象の団体が開催する各種行事や事業において、直接指導又は間接指導を行う。 なお、派遣職員の旅費は無料とし、活動材料費や用具運搬費は団体の負担とする。

(3) 親子事業

[事業目的及び概要]

小・中学生を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動などを通して、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

[事業内容]

事業名	期日	対象	募集人員	内容
春を楽しむサン day	4/25(土)	小・中・義務教育学校の児童生徒を含む保護者とその家族	定員なし ※自然観察のみ 20 家族	春の自然観察、野外炊事、創作活動など
ファミリー スプリングキャンプ	5/23(土)～ 5/24(日) 【1泊2日】		24 家族	テント泊、野外炊事(ダッチオープン・ホットサンドメーカー料理)野外活動・創作活動(選択制)など
秋を楽しむ ワクワク day	11/1(日)		定員なし ※各体験 ブースによっては 定員あり	館内食体験、野外炊事体験(ダッチオープン、ホットサンドメーカー、南部せんべい焼きなど)、野外活動体験(火起こし体験&棒パン作り、屋外遊びリンピック)、創作活動体験(本格リース作り、創作活動プログラムなど)
冬をいそどる クラフト day	12/5(土)		各時間帯 で20 家族 ※4 回の時間 帯で実施	正月用クラフト(ミニ門松、ぼんじゅ絵馬、ぼんじゅバンブーランタンなど)とクリスマス用クラフトから選択
冬を楽しむ ホワイト day	1/30(土)		各活動に つき 10 家族	野外活動①(ミニ雪灯籠作り・スノーシューハイキング・雪上ミニ運動会から選択) 野外活動②(チューブそり遊び・スノーランド遊びなど自由に体験)

(4) 学習・生活習慣支援事業

[事業目的及び概要]

小学生から中学生までの「こども」を対象に、豊かな自然環境の中での体験活動を行いながら、主体的に学ぶ姿勢や規則正しい生活を送る活動を通して、その後の学校・家庭生活に役立てていこうとする基礎的な生活態度を育てていく事業である。

[事業内容]

事業名	期日	対象	募集人員	内容
ぼんじゅネイチャー クラブ	① 7/25(土) ② 8/29(土) ③ 11/28(土)	小学3年～ 小学6年、 義務教育学校 3年～6年 の児童	各回 20 名	① 昆虫採集、カブトムシの観察 ② 水中生物観察、ザリガニ釣り ③ 秋の創作活動、リースの製作
ぼんじゅウィンター スクール	12/25(金)～ 12/27(日) 【2泊3日】	小学4年～ 中学2年 義務教育学校 4年～8年 の児童生徒	10～20 名	学習タイム、館内食、歯みがきタイム、野外観察、リフレッシュタイム、清掃活動、自由研究、館内泊など

県立種差少年自然の家

県立種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、こどもの祭典) 1,817千円

〔事業目的及び概要〕

年長児・小・中・義務教育学校の児童生徒が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましいこどもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

〔事業内容〕

(1) 自然と遊ぼう

活動名	期 日	対 象	募集定員	内 容
たねさしワールド 「春を感じて」	5/10(日)	年長児・ 小・中・義務教育学校の児童生徒とその保護者	100名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」①②③④ ※4回開催	7/4(土)		100名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト、磯遊び 他
	7/5(日)		100名	
	8/29(土)		100名	
	8/30(日)		100名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/18(日)		100名	秋の自然を楽しもう ・里山散策、創作活動 他
たねさしワールド 「冬の季節を感じて」 ※2回開催	12/5(土)		50名	創作リースをつくろう ・クリスマスリース
	12/6(日)	50名		
たねさしワールド 「エンジョイ! 雪遊び」①② ※2回開催	2/6(土)	4歳以上の 幼保・小・ 中・義務教育学校の児童生徒とその保護者	100名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そりすべり、せんべい焼き、たこ揚げ 他
	2/7(日)	100名		
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/27(土) ～28(日)	小・義務教育学校 3年～4年	40名	こどもだけでとまってみよう ・仲間づくり、創作活動、自然体験活動 他
	3/6(土) ～7(日)	小・義務教育学校 1年～2年	40名	

(2) こどもの祭典

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
おいでよ! サマーキャンプA	7/29(水) ～30(木)	小学5年～ 中学3年、 義務教育学校5～9年	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事
おいでよ! サマーキャンプB	8/8(土) ～9(日)		30名	・ナイトハイク ・山や海での活動 他
わくわくどきどき ウインターキャンプ	12/25(金) ～27(土)		20名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ウォークラリー 他

自然体験活動支援事業	128 千円
------------	--------

〔事業目的及び概要〕

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、こどもたちに自然体験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10～3月 *6～9月は原則として実施なし	三八、上北管内の小・中・義務教育学校、児童館、公民館、放課後児童クラブ、青少年団体や成人団体 等	1団体 10名 以下可	・種差少年自然の家のプログラムの中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、フォトフレーム、どんぐりアート、たねさし芝っこぞう、たねさし万華鏡、ミニ門松 他)
自然体験活動 研修会	5/30(土) ～31(日)	幼保・小・中・義務教育学校教員、高校・大学生、児童館など関係機関の指導者、その他自然体験活動に興味のある方	30名	・野外炊事や創作活動等のプログラムの実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練 他

在学少年宿泊指導者研修

〔事業目的及び概要〕

種差少年自然の家を利用する小・中学校・義務教育学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

○期日：4/23(木)～24(金)

○場所：種差少年自然の家

○対象：令和8年度利用小・中・義務教育学校及び特別支援学校の引率教員

〔事業内容〕

○講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方

○実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法

○演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

親子で学ぶ防災キャンプ事業	110 千円
---------------	--------

〔事業目的及び概要〕

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中・義務教育学校の児童生徒とその家族及び小・中・義務教育学校の教員を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
親子の絆 「防災キャンプ」	9/26(土) ～27(日)	小・義務教育学校3年生以上と保護者、防災に関心のある方	10組 30名	親子キャンプで防災力、減災力を身に付けよう ・避難所体験 ・非常食の炊事体験 ・AED講習 ・防災グッズ作り 他

重点(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成

県総合社会教育センター

地域活動講座～パワフルAOMORI！創造塾～ 885 千円

〔事業目的及び概要〕

持続可能な地域活動を支える人財を育成するとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的として、活力ある持続可能な地域づくりに係る講義・演習等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 期日：第1回講座 7/11(土)
第2回講座 8/29(土)
第3回講座 10/ 3(土)
第4回講座 10/25(日)
第5回講座 11/14(土)
第6回講座 12/ 5(土)
- (2) 場所：県総合社会教育センター、TSURUTA LABO(第3回講座)、浅虫がっちゃんこセンター(第4回講座)
- (3) 対象：青森県在住(18歳以上)、地域を元気にしたいという想いのある方、ネットワーク形成に協力できる方、1年間を通じて参加できる方
- (4) 募集人数：20名程度
- (5) 受講料：無料(但し、交通費や通信費は自己負担)
- (6) 内容：講師による講義、フィールドワーク、演習(アクションプラン作成、アクションプラン発表会)、情報交換会

重点(2) イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成

県生涯学習課

若者の社会参加促進事業 695 千円

〔事業目的及び概要〕

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、ボランティア・就労体験や自然体験活動を実施する事業である。

〔事業内容〕

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を、種差少年自然の家及び梵珠少年自然の家等にてそれぞれ3回ずつ実施する。

- (1) 自然体験・交流塾
 - ア 第1回【自然体験活動】
 - 期日：[梵珠会場] 7/4(土) [種差会場] 7/11(土)
 - 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
 - 内容：自然体験活動、創作活動 等
 - イ 第2回【体験活動を通じた交流会】
 - 期日：[梵珠会場] 10/3(土) [種差会場] 9/12(土)
 - 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
 - 内容：野外炊事、創作活動 等
 - ウ 第3回【ボランティア・就労体験】
 - 期日：[梵珠会場] 1/23(土) [種差会場] 2/13(土)
 - 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家

○内容：ボランティア・就労体験、創作活動 等

(2) 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

第1回自然体験・交流塾開催前と第3回自然体験・交流塾終了後、会場ごとに支援団体等が参加者の情報共有をするとともに、成果と課題、活動内容等について話し合う。

県総合社会教育センター

高校生地域活動講座～チャレンジAOMORI！未来塾～ 1,323千円

〔事業目的及び概要〕

主体的に活動する次世代を担う青少年の育成を目的として、高校生が地域活動を支える地域の人財等から、地域の価値や魅力、活力ある地域づくり等について学ぶ研修を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 期日：第1回講座 7/25(土)
第2回講座 7/26(日)
第3回講座 8/9(日)
第4回講座 8/23(日)
第5回講座 9/6(日)
第6回講座 11/1(日)
第7回講座 12/13(日)
- (2) 場所：県総合社会教育センター(第1・2・7回講座)、十和田NPO子どもセンター・ハピたの(第3回講座)、むつ市立図書館(第4回講座)、黒石市北地区センター(第5回講座)、種差海岸インフォメーションセンター(第6回講座)
- (3) 対象：本県在住の高校生、本県の高校に在籍している生徒
※上記のいずれかの条件を満たす者
- (4) 募集人数：30名程度
- (5) 受講料：無料(ただし、フィールドワークにおける交通費や通信費は自己負担)
- (6) 内容：講師による講義・演習、フィールドワーク選択受講【県内4地区での実施】、感想交流会・オンライン交流会

重点(3) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進

県総合社会教育センター

あおもり県民カレッジ運營業務

〔事業目的及び概要〕

あおもり県民カレッジは、県民一人一人の主体的な学習と社会参加の推進を目指す体系的・継続的な学習支援システムである。その趣旨を踏まえ、学生に対するきめ細かな対応及び連携機関との緊密な連携など適切な運営を行う。また、イベントの開催や情報誌による普及啓発を行うとともに、学習相談・学習情報提供、学習機会の提供、ボランティア活動支援等を行う。

なお、カレッジ運営に当たっては、SDGsの各目標を意識した学習活動とするための働きかけを行う。

〔事業内容〕

(1) 運営全般

ア カレッジ学生への対応

学生募集、学生証の交付、単位認定、認定証交付者表彰式の実施、単位認定に係るサービス、学友会の活動支援

イ 連携機関への対応

登録受付、連携機関連絡会議の開催、共催による講座(地域キャンパス講座)の開催

(2) 普及啓発

ア 生涯学習フェアの開催

イ こども向けイベントの開催

ウ 情報収集

連携機関等への取材、社会参加活動に関する情報収集

エ あおもり県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の発行による情報提供

オ 各種メディアを利用した広報

カ ホームページ、Facebook、Instagramによる情報提供

(3) 学習相談・学習情報提供

ア 学習相談

イ 学習機会情報、ボランティア活動情報の収集・提供

(4) 学習機会提供

ア 地域キャンパス講座の開催(県内6地区で開催)

イ Web会議システム等の活用研修

(5) ボランティア活動の支援

ア 社会参加活動支援センターの運営

イ ボランティア講師による自主講座の開催

ウ 「まなびサポーター」の募集と活動支援

県立図書館

近代文学館 特別展開催事業 1,799千円

〔事業目的及び概要〕

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに沿った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

(1) 名称：特別展「あおもりの文学とスポーツ」

(2) 会期：7/18(土)～11/1(日)

(3) 内容：青森の作家とスポーツにまつわる資料を通じて、文学とスポーツの交わりについて紹介する。令和8年に本県で開催される第80回国民スポーツ大会及び第25回全国障害者スポーツ大会の開催機運を盛り上げる。※青の煌めきあおもり国スポ・障スポ文化プログラム事業

近代文学館 企画展開催事業 764 千円**〔事業目的及び概要〕**

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を中心に展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：企画展「あおもりの昭和歌謡―青い山脈、リンゴの唄、そして淡谷のり子」
- (2) 会期：12/5(土)～3/7(日)
- (3) 内容：令和8年(2026年)は、昭和元年(1926年)から起算して満100年に当たる。その節目の年度に、青森県ゆかりの昭和歌謡に関わる資料及び音源を紹介する。

重点(3) イ 郷土を愛する県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進**県生涯学習課****ふるさと青森を愛する人づくり推進事業 7,049 千円****〔事業目的及び概要〕**

県民が自信を持って自分の生き方を語れるような意識変革を促すとともに、こどもたちのキャリア形成と郷土愛の醸成につなげることを目的として、地域の良さや青森で働く魅力を地域の大人が再発見するワークショップ、こどもたちとの交流会等を実施する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 再発見！「かっこいい大人」ワークショップ
 - 8月頃に県内6地区で、地域の大人を対象にワークショップを開催する。(地域学校協働活動推進員等の呼びかけ)
 - 内容：講義「こどもと大人の対話の作り方、自分史年表について」
演習「自分史年表を作ろう」
参加者を地域の良さや魅力を知る「かっこいい大人」(青森愛にあふれ、知的好奇心旺盛な人、変化を恐れず常に自分を高める人など、各分野で学び続けている人)として認定する。
- (2) 見つけたよ！キラリ発見「かっこいい大人」交流会
 - 11・12月に県内6地区で、地域の大人(かっこいい大人)、校区内のこどもたちを対象に交流会を開催する。
 - また、交流会前には、こどもたちから地域の魅力等を募集することで、こどもたち自身が青森の良さや魅力を主体的に考えるきっかけをつくり、地域への関心をもつ機会とする。
- (3) 伝えよう！「青森県の大人はみんなかっこいい」イベント
 - 1月に青森市内で、地域の大人を対象に気づきやつながりを振り返るイベントを開催する。
 - 内容：ふるさと青森を愛する著名人、かっこいい大人とのトークセッション

県総合社会教育センター**社会参加活動推進講座 120 千円****〔事業目的及び概要〕**

地域活動の様々な実践事例について学ぶことで、県民の社会参加活動に対する意欲の向上と、社会参加活動の推進及び充実につなげる。

〔事業内容〕

- (1) 期日：7/3(金)10:30～15:45
- (2) 場所：県総合社会教育センター
- (3) 対象：市町村教育委員会及び首長部局職員、NPOやボランティア関係団体、市町村社会福祉協議会職員、地域活動に関心のある一般県民等
- (4) 開催方法：会場受講、オンライン受講、アーカイブ受講

(5) 内容：事例発表(各 75 分)

第一部：青森県PTA連合会 会長 棟方 丈博

第二部：弘前大学人文社会科学部 教授

弘前大学地域創生本部ボランティアセンター センター長 李 永俊

第三部：ボランティア書道教室俊文書道会 代表

県立八戸第二養護学校 校長 西里 俊文

重点(3) ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の推進

県生涯学習課

特別支援学校における障がいに関する理解促進事業 1,458 千円

〔事業目的及び概要〕

県立特別支援学校において、障がいのある児童・生徒を有する父母等が、こどもの健やかな成長のために、障がい児(者)の心理や行動について理解を深めたり、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得したりするほか、県民を対象に特別支援学校の有する専門性を生かした公開講座を実施し、障がいに関する理解促進を図るための取組を行う。

〔事業内容〕

○場 所：県立特別支援学校(20校)

○開設時間：各4日間 10時間程度
公開講座を開設する場合は14時間程度

○対 象：障がいのある児童生徒の保護者、一般県民等

○学習内容：児童生徒の心理や行動、障がい者の就労、福祉、体育及びレクリエーション、特別支援学校が有する専門性と公益性の高い分野に関すること

障がい者の生涯学習支援事業 1,134 千円

〔事業目的及び概要〕

特別支援学校卒業生の自立と社会参加を支援することを目的として、集団学習や趣味の講座、障がい者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

○場所：県立特別支援学校(15校)

○時間：各3日間 8時間程度

○対象：障がいのある青年等

○内容：(1) 社会参加学習
(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障がい者の福祉)
(2) スポーツ体験交流

共生社会の実現に向けた障がい者の生涯学習支援事業 7,000 千円

〔事業目的及び概要〕

学校卒業後の障がい者の学びの場を拡充することを目的として、関係部署・機関・団体等が連携体制を構築し、障がいの有無にかかわらず共に生きる共生社会の実現に向けた社会全体の理解を促進するとともに、持続可能な学びの仕組みづくりを推進する事業である。

〔事業内容〕

(1) 連絡協議会(コンソーシアム)の開催

参画する機関がそれぞれ得意とする役割を担い、地域全体の障がい者の生涯学習や共生社会の実現に資する学びのシステムの構築に向けた具体的な連携に関する協議等を行う。

○構成：有識者、社会教育関係者、障がい福祉関係者など10名程度

○回数：年4回

- (2) 障がい者の生涯学習プログラムを実施する多様な主体(市町村、大学、民間)に対する支援
 大学及び公民館といった教育施設や社会福祉施設など、多様な実施主体において障がい者の生涯学習活動を実施している団体において、障がい者の生涯学習プログラムを実施してもらうとともに、相談支援等を行う。
- (3) 障がい者の学びを支援する人財の育成に資する研修の実施
 3地区(中南、三八、下北地区)において、各3回実施予定。
 ○第1回：障がい福祉関係者が、社会教育や生涯学習、福祉教育等について理解する。障がい福祉事業所のできる生涯学習について考える。
 ○第2回：社会教育関係者が、障がいや障がい者、合理的配慮等について理解する。障がい者の生涯学習の現状を知り、支援の必要性を学ぶ。
 ○第3回：社会教育及び障がい福祉関係者が、学校卒業後の障がい者の学びを拡充するためには双方の連携が必要であることを学ぶ。また、先進的な取組をしている団体や個人を講師として招き、意欲を喚起するとともに、具体的なノウハウを学ぶ。
- (4) 地域における関係団体、支援者、障がい者本人等が参加する共生社会コンファレンス(実践交流会)の実施
 障がい者の生涯学習活動関係者が集い、学びの場づくりに関する好事例や先進的な取組を共有し、障がい者の生涯学習活動に関する研究協議等を行う。
 ○日時：11～12月頃
 ○場所：未定
 ○対象：都道府県・市町村教育委員会生涯学習・社会教育担当職員、公民館・図書館職員、市町村障がい福祉担当課職員、福祉サービス事業所職員、障がい当事者、障がい者の学習支援実践者、大学関係者、保護者、教職員、企業、ボランティア・地域活動実践者等で関心のある方、障がい者の学びに関心のある方
 ○内容：ア 文部科学省障害者の生涯学習推進アドバイザーによる基調講演
 イ 学びの場づくりに関する好事例や先進的な取組等の実践発表
 ウ 関係者間の出会いの場の創出(トークセッションやグループ協議)
 エ 普及啓発(展示発表、障がいの有無にかかわらず体験活動等)

県総合社会教育センター

学習情報の収集・提供事業 10,946千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、一覧をインターネットにより県民へ提供するほか、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べるeラーニング教材の配信及び管理を行うとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
 4情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供
- (2) インターネットによるeラーニング学習教材の配信
 ア 元気青森人PowerUpコンテンツ
 イ あおもり学インターネット講座
 ウ あおもり子育てネット
- (3) サーバ・パソコン機器等維持管理
 学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備

視聴覚ライブラリー運営事業 635千円

〔事業目的及び概要〕

県内の視聴覚教育の振興発展に寄与するに当たり、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営し、映像資料の収集・保管、および活用を図る。

〔事業内容〕

- (1) 社会教育及び県民の学習活動のための視聴覚資料の提供

- (2) 視聴覚教材の購入
- (3) 視聴覚教材のデジタル化業務
- (4) 保管されている映像資料の点検と台帳管理

県立図書館

読書バリアフリー推進事業	1,668千円
--------------	---------

〔事業目的及び概要〕

さまざまな障がいのある方に図書館をより利用しやすい環境を提供するため、大活字本やデジタイズ図書等のアクセシブルな書籍の購入や読書バリアフリーのための機器・用具を整備する他、障がいなどの事由により、図書館への来館が困難な方に対して、宅配便による図書の搬送を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 読書バリアフリー推進に係るアクセシブルな書籍や機器・用具等の整備
- (2) 関係団体・機関への情報提供
- (3) 障がい者等配本サービス(アウトリーチサービス)

重点(4) 社会教育推進のための基盤整備

ア 社会教育推進体制の充実

県生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,084 千円

[事業目的及び概要]

生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律)の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制の整備を目的として、生涯学習推進本部等を運営する事業である。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議することを目的として、生涯学習審議会を運営する事業である。

[事業内容]

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 生涯学習審議会

ア 第17期生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)

○諮問：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について

○審議事項：1 公民館等の社会教育施設におけるこどもたちの継続的な地域学習の推進について

：2 こどもたちの主体的な地域活動の促進について

：3 地域に根付いた持続可能な取組にするための仕組みづくりについて

○会議等(予定)：第6回審議会(6月)、第7回審議会(7月)、教育委員会に中間報告(8月)

イ 第18期生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(R8/10/19～R10/10/18)

○諮問：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について

○審議事項：1 公民館等の社会教育施設におけるこどもたちの継続的な地域学習の推進について

：2 こどもたちの主体的な地域活動の促進について

：3 地域に根付いた持続可能な取組にするための仕組みづくりについて

○会議等(予定)：第1回審議会(10月)、第2回審議会(1月)、実地調査(2月～)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 705 千円

[事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う事業である。

[事業内容]

児童・生徒、一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

○調査テーマ：未定

○調査対象：未定

○顧問の委嘱：未定(調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。)

○報告書：関係機関に配布するほか、ホームページで公開

青森県社会教育委員の会議の運営 248 千円

[事業目的及び概要]

社会教育法第17条に基づき、県教育委員会に答申、建議を行うことを目的として、本県社会教育の

振興方策について審議及び調査研究を行う事業である。

【事業内容】

- (1) 第37期青森県社会教育委員の会議
 - 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
 - 任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)
 - 調査研究テーマ：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について
 - 会議等(予定)：第3回会議(5月)
- (2) 第38期青森県社会教育委員の会議
 - 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
 - 任期：2年(R8/10/19～R10/10/18)
 - 調査研究テーマ：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について
 - 会議等(予定)：第1回会議(11月)

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 250千円

【事業目的及び概要】

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

【事業内容】

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「令和8年度青森県の社会教育行政」の作成配布(160部作成予定)

重点(4) イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進

県総合社会教育センター

インフォメーションプラザありすの運営

【事業目的及び概要】

生涯学習に関する総合窓口として、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、逐次刊行物の閲覧サービス等の業務を行う。また、SDGsに関する啓発コーナーを設けるなど、県民のSDGsに対する理解を深めるよう働きかけを行う。

【事業内容】

- (1) 窓口対応
- (2) 視聴覚教材貸出サービス
- (3) ありす内ラーニングスペース及びロビー等の整備
- (4) 所内展示スペースの整備

県立図書館

県立図書館資料整備 67,031千円

【事業目的及び概要】

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。また、令和3年度からは多様な利用者の読書機会を確保するため、電子図書館システムを導入し、電子書籍を閲覧することができるサービスを提供している。

[事業内容]

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備	
図書館	60,821 千円
(うち電子書籍)	5,280 千円)
近代文学館	6,210 千円

重点(4) ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上

県生涯学習課

社会教育主事有資格者育成派遣事業 643 千円

[事業目的及び概要]

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校・義務教育学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

[事業内容]

- 派遣研修(予定)：弘前大学社会教育主事講習
- 研修期間(予定)：7/21(火)～8/19(水)

生涯学習専門講座派遣事業 244 千円

[事業目的及び概要]

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

[事業内容]

- 派遣先：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名：社会教育主事専門講座
- 派遣人数：1名

社会教育主事等一般研修 185 千円

[事業目的及び概要]

生涯学習審議会、総合社会教育センター及び教育事務所の社会教育担当者の資質向上と更なる連携及び情報の共有を図ることを目的として、県社会教育関係職員が一堂に会し、生涯学習・社会教育に係る学習や情報交換をする事業である。

[事業内容]

学習会を複数回実施し、情報交換や事業立案を通して、社会教育担当者の資質向上と連携及び情報の共有を図る。

県総合社会教育センター

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 1,257 千円

[事業目的及び概要]

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上とネットワーク形成を図るため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修及び地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得のための研修を実施する。

[事業内容]

(1) 県総合社会教育センターを会場とした研修

- ア 対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育担当職員及び公民館職員等(指定管理者も含む)
- イ 実施期間：4月～2月
- ウ 受講方法：会場受講及びアーカイブによる後日視聴(講義のみ)
- エ 開催回数：8回
- ※ 視聴覚教育に係る研修を含む。全8回のうち、1回は国や県の動向を伝える内容とする。

【社会教育の基本理念を学ぶ研修】

社会教育と生涯学習の目的や意義を学ぶ講座。地域社会で学びの場が求められる理由や社会教育の重要性について分かりやすく説明。新任職員や社会教育の基礎を学びたい方におすすめの2講座。

ア 開催日時	4/28(火) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「社会教育のきほんのき」 講師：弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英

ア 開催日時	2/19(金) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「社会教育がつなぐ地域づくり」 講師：弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英

【社会教育の多様なニーズへ対応するための研修】

社会教育が直面する多様化するニーズに対応するための専門的な知識や視点を学ぶ講座。地域社会や現場で求められる課題解決力を養い、実際の活動に役立つ具体的な方法を分かりやすく解説。現場での実践力を高めたい方や、社会教育の発展に寄与したい方におすすめの6講座。

ア 開催日時	6/5(金) 10:00～15:00
イ 会場	第10研修室
ウ 内容	【講義・演習】「効果的なチラシ作成のポイント」 講師：ディーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子

ア 開催日時	6/26(金) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「ゆるやかなつながりからはじめる地域づくりの実践」 講師：いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹

ア 開催日時	7/17(金) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「次代の地域を担う若者の育成」 講師：大正大学 地域創生学部 教授 東京大学 名誉教授 牧野 篤

ア 開催日時	11/4(水) 10:00～15:00
イ 会場	第10研修室
ウ 内容	【講義・演習】「生成AI活用アイデアと社会教育での実践方法」 講師：エイチピースタイリング 代表 高森 三樹

ア 開催日時	11/12(木) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「共に学び支えあう社会教育の実践」 講師：文教大学人間科学部 教授 青山 鉄兵

ア 開催日時	12/3(木) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「防災の基本理念と地域の役割」 講師：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子

(2) 市町村を会場地とした研修(外部講師による出前講座)

- ア 申込者：市町村教育委員会、公民館、地域学校協働活動及びコミュニティ・スクールに関わる団体、学校等
- イ 実施回数：10団体を上限とし、それ以上の依頼があった場合は、条件に基づき優先順位を付けて選定
- ウ テーマ

テーマ	内 容
1	「社会教育のきほんのき」 講師：弘前大学教育学部 准教授 越村 康英
2	「社会教育がつなぐ地域づくり」 講師：弘前大学教育学部 准教授 越村 康英
3	「効果的なチラシ作成のポイント」 講師：ディーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子
4	「ゆるやかなつながりからはじめる地域づくりの実践」 講師：いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹
5	「次代の地域を担う若者の育成」 講師：大正大学地域創生学部 教授 東京大学 名誉教授 牧野 篤
6	「生成AI活用アイデアと社会教育での実践方法」 講師：エイチピースタイリング 代表 高森 三樹
7	「共に学び支えあう社会教育の実践」 講師：文教大学人間科学部 教授 青山 鉄兵
8	「防災の基本理念と地域の役割」 講師：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子
9	「地域における家庭教育支援」 講師：八戸学院大学短期大学部こども教育学科 教授 差波 直樹
10	「地域学校協働活動の推進」 講師：秋田大学教育文化学部 非常勤講師 皆川 雅仁

(3) 市町村等の社会教育に関する取組への伴走型支援

- ア 申込者：市町村教育委員会、公民館、地域学校協働活動及びコミュニティ・スクールに関わる団体、学校等
- イ 実施期間：通年
- ウ 内 容：当センターが実施する事業等のノウハウや専門職としての知見及び経験に基づいた、指導・助言・相談対応等
- <例>

- ・事業の企画・立案についての相談
- ・講師選定に係る相談
- ・ファシリテーターに係る指導・助言
- ・研修会等への講師または運営支援者としての職員派遣

県立図書館

市町村立図書館等職員研修事業 280千円

〔事業目的及び概要〕

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的として、各市町村立図書館等職員及び学校図書館の業務を担当する職員に対し、研修を実施する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村立図書館等職員初任者研修 年1回 6/9(火)～6/10(水)
- (2) 市町村立図書館等職員基本研修 年1回 9/17(木)

図書館地区別研修事業 500 千円**〔事業目的及び概要〕**

図書館における司書等の力量を高めることを目的として、図書館法(昭和25年法律第118号)第7条の規定に基づき、情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を実施する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 期間 11月上旬～中旬の3～4日間を予定
- (2) 場所 県立図書館
- (3) 対象 北日本図書館関係職員(勤務経験が概ね3年以上の司書等)
- (4) 内容 基調講演、講義、演習

重点(4) エ 社会教育関係団体等の活動の支援**県生涯学習課****在学青少年育成費補助事業 359 千円****〔事業目的及び概要〕**

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔事業内容〕

- 実施場所：県内高等学校4校
(県立木造高等学校、県立五所川原農林高等学校、県立百石高等学校、県立大間高等学校)

3 令和8年度社会教育関係予算の概要

単位：千円

項	目	当初予算額	説 明
生涯学習課	社会教育振興費	1,371,625	
	職 員 費	1,046,186	生涯学習課、文化財保護課、埋蔵文化財調査センター(60人) 図書館(26人)、梵珠少年自然の家(9人)、総合社会教育センター(17人)
	生涯学習推進費	241,252	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業費 生涯学習推進基盤整備事業費 生涯学習・社会教育総合調査研究事業 総合社会教育センター指定管理料 種差少年自然の家指定管理料 県立少年自然の家老朽化対策検討事業費 種差少年支援の家設備更新事業費 共生社会の実現に向けた障がい者の生涯学習支援事業費
	指 導 推 進 費	73,186	社会教育委員費 管内指導並びに管外会議及び管外研修費 社会教育主事有資格者育成事業費 生涯学習・社会教育指導推進事業費 こどもの読書活動推進事業費 CSと地域学校協働活動の一体的推進事業費 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業費 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール運営事業費 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入事業費
	青少年教育費	7,792	障がい者の生涯学習支援事業費 いじめ防止キャンペーン推進事業費 在学青少年育成費補助(交付先 東京青森県人会)
	婦人家庭教育費	2,514	あおもり家庭教育支援総合事業費
	成人教育費	695	若者の社会参加促進事業費
図書館	図 書 館 費	380,349	
	運 営 管 理 費	302,597	維持管理費、コンピュータシステム運営費、施設設備改修工事費
	奉 仕 活 動 費	61,999	閲覧奉仕費、図書館資料整備費、貴重資料等電子化事業費 読書バリアフリー推進事業費
	協 力 活 動 費	5,828	図書館支援推進費
	近代文学館費	9,925	資料整備費、文学活動費
少年自然の家	少年自然の家費	23,586	
	梵珠少年自然の家費	23,586	管理運営費、青少年教育施設活動費
総合社会教育センター	総合社会教育センター費	33,070	
	運 営 管 理 費	8,349	運営費、運営協議会費、施設設備改修工事費
	研 修 事 業 費	24,721	人材育成事業費、教育活動支援事業費、市町村・団体支援事業費

4 附属機関の概要

(1) 青森県生涯学習審議会

①概要

- ・設置根拠 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律第10条1項、青森県生涯学習審議会設置条例
- ・設置年月日 平成4年4月1日
- ・担当事務 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律第10条の規定により、教育委員会又は知事の諮問に応じ、その権限に属させられた事項を調査審議するとともに、必要と認める事項を教育委員会又は知事に建議する。
- ・委員構成 人格識見共に優れた者及び公募による者
- ・委員定数 20人以内、2年及び任期

②生涯学習審議会のこれまでの答申等一覧(過去10期)

期	答 申 等 タ イ ト ル	日 付
第16期	障がい者の生涯学習の推進方策について(答申)	令和 6年 8月20日
第15期	青森県における新しい時代の生涯学習・社会教育の推進の在り方について(答申)	令和 4年10月 7日
第14期	人口減少下における地域コミュニティ再生のための生涯学習の推進の在り方について(答申)	令和 2年10月 2日
第13期	あおもりで若者が集い、生き生きと活躍できる持続可能な地域社会づくり	平成30年 8月 8日
第12期	ふるさとの良さ、あおもりの魅力を次代に伝えるための、学びと地域のつながりづくりの在り方について	平成28年 8月19日
第11期	学びと社会参加を通じた人材育成の方策について～「学びの種」を拾う～	平成26年 8月 7日
第10期	県が実施する生涯学習・社会教育施策に対する意見について	平成24年 8月 7日
第9期	学校・家庭・地域が一体となって教育に取り組む社会を構築するための方策について－学校と地域の連携のあり方を中心として－(提言)	平成22年 7月20日
第8期	若者のキャリア形成支援の方策について(提言)	平成20年 7月25日
第7期	育てよう 伝え合うところ －青少年のコミュニケーション能力の向上にむけて－(提言)	平成18年 7月28日

③第17期青森県生涯学習審議会委員一覧

任期：令和6年10月19日～令和8年10月18日

No.	氏 名	所 属 等	備考
1	島 守 詩 子	八戸市立第三中学校 校長	
2	千 葉 栄 美	県立青森東高等学校 校長	
3	吉 川 康 久	青森県教育支援プラットフォーム東青地区実行委員会 委員	副会長
4	小 野 淳 美	野辺地町教育委員会 教育長	
5	米 田 大 吉	特定非営利活動法人プラットフォームあおもり 理事長	
6	小 寺 将 太	一般社団法人tsumugu 代表理事	
7	岡 詩 子	一般社団法人もったいない研究所 代表理事	
8	岩 本 ヤヨエ	WOMEN'S VISION 代表	
9	米 沢 美 幸	青森県PTA連合会 副会長	

No.	氏 名	所 属 等	備考
10	小笠原 秀 樹	特定非営利活動法人あおもりラジオくらぶ 代表理事	
11	工 藤 貴 子	あおもり家庭教育アドバイザー	
12	越 村 康 英	弘前大学教育学部 准教授	会長
13	松 浦 淳	青森中央短期大学 客員研究員/非常勤講師	
14	高 砂 充希子	STUDIO MIKIX 代表	
15	山 崎 結 子	外ヶ浜町 町長	

令和8年4月1日現在

(2) 青森県社会教育委員

①概 要

- ・設置根拠 社会教育法第15条第1項 青森県社会教育委員設置条例
- ・設置年月日 昭和27年4月1日
- ・担 当 事 務 社会教育法第17条の規定により、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、次の職務を行う。
 - 1 社会教育に関する諸計画を立案すること
 - 2 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
 - 3 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
 また、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- ・委員構成 学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者
- ・委員定数 12人以内、2年
及び任期

②青森県社会教育委員の会議のこれまでの報告書等(過去10期)

期	答申・報告書等タイトル	日 付
第36期	「障がい者の生涯学習の推進方策について」	令和 6年 8月 調査研究
第35期	「地域全体で子どもを育む家庭教育支援の在り方について」	令和 4年10月 調査研究
第34期	「人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点としての社会教育施設の在り方」	令和 2年10月 調査研究
第33期	「人口減少下における地域コミュニティ形成のための行政と民間の新たな連携・協働の在り方に関する提言」	平成30年10月 調査研究報告書
第32期	「学びとつながりを生み出す家庭教育支援の在り方に関する提言」	平成28年10月 調査研究報告書
第31期	「各世代が共に参画する地域コミュニティづくりに関する提言」	平成26年10月 調査研究報告書
第30期	「時代の変化に対応した社会教育の在り方」	平成24年10月 調査研究報告書
第29期	「子どもの体験活動を支援する社会教育の在り方」	平成22年10月 調査研究報告書
第28期	「地域の教育力を高める公民館の在り方」	平成20年10月 調査研究報告書
第27期	「地域コミュニティにおける自治能力を高めるための学習の在り方」	平成18年10月 調査研究報告書

③第37期青森県社会教育委員名簿

任期：令和6年10月19日～令和8年10月18日

No.	氏名	所属等	備考
1	島 守 詩 子	八戸市立第三中学校 校長	
2	吉 川 康 久	青森県教育支援プラットフォーム 東青地区実行委員会 委員	副議長
3	岡 詩 子	一般社団法人もったいない研究所 代表理事	
4	岩 本 ヤヨエ	WOMEN'S VISION 代表	
5	越 村 康 英	弘前大学教育学部 准教授	議長
6	工 藤 貴 子	あおもり家庭教育アドバイザー	
7	小笠原 秀 樹	特定非営利活動法人あおもりラジオくらぶ 代表理事	
8	松 浦 淳	青森中央短期大学 客員研究員/非常勤講師	

令和8年4月1日現在

(3) 青森県立図書館協議会

①概 要

- ・設置根拠 図書館法第14条第1項、青森県立図書館協議会設置条例
- ・設置年月日 昭和27年9月2日
- ・担当事務 図書館法の規定により、県立図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、県立図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。
- ・委員構成 学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者
- ・委員定数 10人、2年
及び任期

②青森県立図書館協議会委員名簿

任期：令和6年5月13日～令和8年5月12日

No.	氏名	所属等	備考
1	安 田 奈津子	弘前市立東小学校 校長	
2	竹 浪 廣 美	県立五所川原高等学校 教諭	
3	今 井 邦 子	平川市読書推進運動協議会 会員	
4	須 藤 紀 子	五所川原市教育委員会図書館 次長	
5	伊 藤 友 子	公募委員	
6	小 泉 敦	公募委員	
7	浜 田 祐 子	おいらせ町家庭教育支援チーム・しるくはあと 代表	
8	秋 元 宏 宣	(株)東奥日報社編集局 生活文化部長兼編集委員	
9	澤 田 尚	五戸町教育委員会 教育長	
10	本 間 維	青森中央短期大学食物栄養学科 准教授	

令和8年4月1日現在

5 令和8年度県社会教育関係職員

(1) 県教育庁生涯学習課事務分掌

〒030-8540 青森市長島一丁目1番1号 代表電話 017-722-1111 FAX 017-734-8272

課長 清川喜之 (内線 3130)

学校地域
連携推進監 三浦博明 (内線 3131)
課長代理

- 1 生涯学習の振興のための重要な施策に関する企画及び調整
- 2 学校、家庭及び地域社会の連携による教育の推進に関する企画・調整及び指導、助言並びに調査及び研究
- 3 特に命ぜられた事務

総務グループ(直通 017-734-9887)

グループマネージャー 蛭名友実

事務分掌	主担当者	副担当者
1 グループ総括 2 少年自然の家老朽化対策に関すること	グループマネージャー 総括主幹 蛭名友実 内線 3132	立崎
3 行財政改革 4 指定管理に関すること(種差少年自然の家) 5 県立図書館、総合社会教育センター、少年自然の家の施設設備に関すること 6 少年自然の家老朽化対策に関すること(検討会議以外)	サブマネージャー 主幹 立崎衆也 内線 3133	木村山 下山
7 予算・決算、監査 8 政策点検 9 市町村社会教育施設の整備等に関すること 10 広報広聴に関すること 11 災害復旧交付金に関すること 12 指定管理に関すること(総合社会教育センター)	主事 木村洗子 内線 3133	立崎山 下山
13 中学校卒業程度認定試験及び高等学校卒業程度認定試験に関すること 14 情報公開・個人情報に関すること 15 情報セキュリティに関すること 16 文書管理に関すること 17 生涯学習課ホームページの管理 18 庶務・経理	主事 下山翔也 内線 3134	立崎村 木村

事務分掌	主担当者	副担当者
1 グループ総括	グループマネージャー 副参事 三 上 崇 裕 内線 3135	今
2 社会教育行政の方針と重点 3 県生涯学習・社会教育担当者会議 4 市町村教育委員会生涯学習・社会教育主管課長会議 5 北海道・東北ブロック生涯学習・社会教育主管課長会議、 全国生涯学習・社会教育主管部課長会議 6 生涯学習・社会教育関係の年間行事予定の調整 7 共生社会の実現に向けた障がい者の生涯学習支援事 (総括、コンソーシアム、コンファレンス) 8 障害者の生涯学習支援活動に係る文科大臣表彰 9 特別支援学校における障がいに関する理解促進事業 10 障がい者の生涯学習支援事業	サブマネージャー 社会教育主事 今 敦 子 内線 3138	高 館 田 子 工藤航
11 青森県生涯学習審議会 12 青森県社会教育委員の会議 13 ふるさと青森を愛する人づくり推進事業 14 社会教育主事の育成に関すること 15 国社研等の研修に関すること 16 全国社会教育主事の会 17 総合社会教育センター事業に関すること 18 県社会教育主事等合同学習会	社会教育主事 高 館 秀 典 内線 3136	三 上 今 田 子 工藤航
19 こどもの読書活動推進事業 20 子供の読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 21 県立図書館に関すること 22 市町村立図書館及び司書一般に関すること 23 読書バリアフリーに関すること 24 高等教育機関・民間教育事業者との連携 25 青森県の社会教育行政の刊行 26 視聴覚教育・ICT教育、視聴覚教育・情報教育功労者 (文部科学大臣)表彰	指導主事 田 子 利 知 内線 3138	今 高 館 須 藤
27 青森県社会教育委員連絡協議会(総括、会議、大会) 28 共生社会の実現に向けた障がい者の生涯学習支援事業 (研修、実践委託) 29 公民館に関すること 30 優良公民館表彰 31 生涯学習・社会教育総合調査研究事業 32 市町村の社会教育に関する現状調査	指導主事 工 藤 航 内線 3136	今 高 館 田 子 須 藤
33 いじめ防止キャンペーン推進事業 34 社会教育功労者表彰、県褒賞・叙勲等 35 ボランティア活動に関すること 36 生涯学習関連事業調査 37 成人の日等の記念行事に関する調査 38 研修受講情報の登録 39 青森県社会教育委員連絡協議会(経理・社教情報関係) 40 企画振興Gに関する経理事務	主 事 須 藤 舞 琴 内線 3137	三 上 今 高 館 田 子 工藤航

社会教育関係職員

事務分掌	主担当者	副担当者
1 グループ総括	グループマネージャー 主任社会教育主事 田 中 雅 人 内線 3139	橋 本
2 若者の社会参加促進事業(自然体験・交流塾) 3 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 4 青少年教育施設に関すること(指定管理者定期指導等(指導課分)、岩手山青少年交流の家関係)、こども・青年の体験活動に関すること、青年団 5 県立自然の家の利用促進について、施設更新関係(総務G) 6 優良PTA文部科学大臣表彰	サブマネージャー 社会教育主事 橋 本 卓 内線 3142	工藤慎 宮本 成 田
7 あおもり家庭教育支援総合事業 (推進協議会、親楽プログラム周知、フォーラム) 8 あおもり家庭教育支援総合事業 (委託事業【読書アドバイザーの養成】) 9 PTA団体の指導・助言(県P連) 10 優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰 11 ふるさと青森を愛する人づくり推進事業(取組1・ワークショップ【一部地区】、取組2・交流会【一部地区】) 12 「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文科大臣表彰	社会教育主事 工 藤 慎 也 内線 3141	橋 本 宮 本 成 藤 田 原
13 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について 14 CSと地域学校協働活動の一体的推進事業(市町村担当者連絡会議、支援員等研修会、県立学校への推進員配置、国庫補助事業を除く。) 15 文科省コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査、CSマイスター派遣事業 他 16 PTA団体の指導・助言(高P連) 17 社会教育関係団体(県子連、ボーイスカウト)	指導主事 宮 本 貴 文 内線 3142	工藤慎 成 田
18 CSと地域学校協働活動の一体的推進事業(県立学校への地域学校協働活動推進員配置) 19 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入事業 20 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール運営事業 21 PTA団体の指導・助言(特P連) 22 社会教育関係団体(ガールスカウト) 23 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰	指導主事 成 田 邦 彦 内線 3140	橋 本 宮 本 藤 原
24 CSと地域学校協働活動の一体的推進事業(市町村担当者連絡会議、放課後児童対策に係る支援員等研修会) 25 CSと地域学校協働活動の一体的推進事業(学校・家庭・地域連携推進事業費補助【国庫補助】) 26 あおもり家庭教育支援総合事業(委託事業【多世代交流・参加型研修会】) 27 女性団体に対する指導・助言(地婦連) 28 各種団体等の助成に関すること(ゆめ基金、ニッセイ、カメイ等) 29 消費者教育・高齢者教育に関すること 30 男女共同参画学習に関すること 31 在学青少年育成費補助に関すること 32 後援・共催に関すること 33 経理関係	主 事 藤 原 悠 平 内線 3140	橋 本 工藤慎 宮本 成 田

(2) 教育事務所及び県立社会教育施設の社会教育関係職員一覧

東青教育事務所

〒038-0031 青森市大字三内字丸山198-4
TEL 017-764-0784 FAX 017-764-6727

所長	佐藤 真理
次長	葛西 富生
総括主幹 (総務課長事務取扱)	竹内 奈津美
教育課長	高橋 圭
主任社会教育主事 (主任指導主事兼務)	花田 一仁
社会教育主事兼指導主事	木村 俊秀

西北教育事務所

〒037-0046 五所川原市栄町10
TEL 0173-35-2170 FAX 0173-33-3663

所長	高橋 秀樹
次長	竹内 明人
総務課長	高松 栄
教育課長	佐々木 謙一
社会教育主事兼指導主事	相馬 智子
指導主事	山内 智仁

中南教育事務所

〒036-8345 弘前市蔵主町4
TEL 0172-32-1137 FAX 0172-36-6584

所長	岡村 重勝
次長	棟方 仁人
総括主幹 (総務課長事務取扱)	成田 育子
教育課長	秋谷 啓児
社会教育主事兼指導主事	鈴木 敏浩
指導主事	小林 和史

上北教育事務所

〒039-2593 上北郡七戸町字蛇坂55-1
TEL 0176-62-2128 FAX 0176-62-2130

所長	今泉 武寿
次長	中村 光博
総括主幹 (総務課長事務取扱)	藤田 純也
教育課長	天間 朋昭
社会教育主事兼指導主事	見友 健二
社会教育主事兼指導主事	工藤 由紀

下北教育事務所

〒035-0073 むつ市中央1丁目1-8
TEL 0175-22-1351 FAX 0175-23-8609

所長	櫻井 裕輝
次長	中村 邦夫
総括主幹 (総務課長事務取扱)	蝦名 忍
教育課長	杉原 憲一郎
社会教育主事兼指導主事	佐藤 智義
指導主事	南谷 保子

三八教育事務所

〒039-1101 八戸市尻内町字鴨田7
TEL 0178-27-4521 FAX 0178-27-2847

所長	西塚 努
次長	武内 慎太郎
総括主幹 (総務課長事務取扱)	槻ノ木 沢和朗
教育課長	久保 慶喜
社会教育主事兼指導主事	富樫 克輝
社会教育主事兼指導主事	林 可人

青森県立図書館

〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7

TEL 017-739-4211 FAX 017-739-8353

館長 (近代文学館長事務取扱)	早野英明
副館長 (企画支援課長事務取扱)	松谷泰英
奉仕課長	葛西奈保美
近代文学館室長	竹浪直人

青森県立郷土館

〒030-0802 青森市本町2丁目8-14

TEL 017-777-1585 FAX 017-777-1588

館長	小関英規
副館長	島口天

青森県立梵珠少年自然の家

〒037-0611 五所川原市神山字殊ノ峰117-602

TEL 0173-29-3303 FAX 0173-29-3306

所長	飯田貴志
総務課長	川村祐子
研修課長	對馬明
社会教育主事 (副課長)	古川浩二
社会教育主事	佐藤純子
社会教育主事	今井陽子
社会教育主事	鶴若匠

青森県総合社会教育センター

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7

TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279

所長	山下伸一
副所長	印部香
総務課長	崎野撰
育成研修課長	新山隆男
総括主幹専門員 (副課長)	佐藤久常
社会教育主事	平沢和哉
指導主事	六角健太
社会教育主事	眞嶋朗晋
主事	戸舘結
主事	加藤禄子
副参事 (教育活動支援課長事務取扱)	川嶋和代
社会教育主事 (副課長)	佐々木祥子
社会教育主事	荒木関文俊
社会教育主事	中田由佳
社会教育主事	橋本政孝

青森県立種差少年自然の家

〒031-0841 八戸市鮫町膳並平2-26

TEL 0178-38-2131 FAX 0178-38-2727

ホームページ「あおもりの生涯学習—楽しむ 高める 生かす—」のご案内

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shogai/aomorimanabi-e_shogai.html

県教育庁生涯学習課では、生涯学習・社会教育に関するホームページを開設しています。主な内容は以下のとおりです。

タイトル	内 容
お知らせ	生涯学習課が主催する、または関わる研修会や大会などの催しやコンクールを紹介しています。
社会教育行政の方針と重点	当該年度の社会教育の方針と重点を紹介しています。
事業内容	生涯学習課及び所管施設の事業を紹介しています。
附属機関	生涯学習課所管の附属機関について紹介しています。
文部科学大臣表彰について(生涯学習・社会教育関係)	生涯学習・社会教育関係の各文部科学大臣表彰について、趣旨や被表彰団体・活動等を紹介しています。
各種調査・公募等	生涯学習課が実施する調査や公募などについて掲載しています。
社会教育施設紹介	生涯学習課が所管する県立社会教育施設を紹介しています。それぞれの施設のHPにリンクしています。
刊行物	生涯学習課が刊行した出版物を掲載しています。
ありすネット(青森県学習情報提供システム)	県内の学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材等の学習情報が検索できます。



現在の位置：ホーム > 組織でさがす > 教育委員会 > 生涯学習課 > あおもりの生涯学習—楽しむ 高める 生かす—

関連分野：[生涯学習](#) [イベント](#) [公募・募集](#)

更新日付：2026年3月31日 生涯学習課

あおもりの生涯学習—楽しむ 高める 生かす—



できることから始めよう
『あおもり家庭教育10か条』（一部改訂）



令和7年度あおもりの中学生・高校生による
『大切なあなたへ薦める青春の一冊』優秀作品集

IV 令和7年度の実績

1 令和7年度事業一覧

重 点	令和7年度事業一覧	所管	掲載ページ
(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成 ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進	地域と学校とのパートナーシップ強化事業	《地域・企画》	P. 46
	学校・家庭・地域連携協働推進事業	《地域》	P. 49
	特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業	《地域》	P. 51
	高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業	《地域》	P. 51
イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業	《企画・地域》	P. 52
	いじめ防止キャンペーン推進事業	《企画》	P. 56
	青森と自分の未来を“カタル”！「キャリサポ」事業	《社セ》	P. 57
	高校生スキルアッププログラム推進事業	《社セ》	P. 58
	地域に根ざしたキャリア教育推進事業	《社セ》	P. 59
ウ こどもの読書活動の充実	こどもの読書活動推進事業	《企画》	P. 60
	こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業	《図書》	P. 61
エ 家庭教育支援体制の充実	あおもり家庭教育支援総合事業	《地域》	P. 62
	家庭教育支援動画等制作普及事業	《社セ》	P. 64
	家庭教育相談事業	《社セ》	P. 64
	あおもり家庭教育力向上事業	《社セ》	P. 65
オ こどもの体験活動の推進	県立梵珠少年自然の家主催事業	《梵珠》	P. 67
	県立種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、こどもの祭典）	《種差（指定）》	P. 70
	自然体験活動支援事業	《種差（指定）》	P. 72
	在学少年宿泊指導者研修	《種差（指定）》	P. 73
	親子で学ぶ防災キャンプ事業	《種差（指定）》	P. 73
(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成 ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成	パワフルAOMORI！創造塾	《社セ》	P. 74
	社会教育プレ団体サポート事業	《社セ》	P. 75
イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成	若者の社会参加促進事業	《地域》	P. 75
	青森で生きる未来人財育成事業（高校生地域活動促進事業）	《社セ》	P. 76
ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援			

(3) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進	あおもり県民カレッジ運営業務	《社セ(指定)》	P. 78
ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進	近代文学館 特別展開催事業	《図書》	P. 80
	近代文学館 企画展開催事業	《図書》	P. 80
イ 県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進	ボランティア担当職員研修講座	《社セ》	P. 81
ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業	《企画》	P. 81
	障がい者の生涯学習支援事業	《企画》	P. 83
	学習情報の収集・提供事業	《社セ》	P. 84
	青森県視聴覚ライブラリー運営事業	《社セ》	P. 85
	読書バリアフリー推進事業	《図書》	P. 85
	アウトリーチサービス推進事業	《図書》	P. 85
	(4) 社会教育推進のための基盤整備	生涯学習推進基盤整備事業（生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会）	《企画》
ア 社会教育推進体制の充実	生涯学習・社会教育総合調査研究事業	《企画》	P. 86
	青森県社会教育委員の会議の運営	《企画》	P. 87
	市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成	《企画》	P. 87
イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進	インフォメーションプラザありすの運営	《社セ(指定)》	P. 87
	県立図書館資料整備	《図書》	P. 88
ウ 社会教育関係職員等の養成と資質の向上	社会教育主事有資格者育成派遣事業	《企画》	P. 88
	生涯学習専門講座派遣事業	《企画》	P. 89
	社会教育主事等一般研修	《企画》	P. 89
	生涯学習・社会教育関係職員研修講座	《社セ》	P. 89
	市町村立図書館等職員研修事業	《図書》	P. 93
エ 社会教育関係団体等の活動の支援	在学青少年育成費補助事業	《地域》	P. 94

【所管等凡例】

《企画》生涯学習課企画振興グループ 《地域》生涯学習課地域連携推進グループ 《社セ》県総合社会教育センター

《図書》県立図書館

《梵珠》県立梵珠少年自然の家

《社セ(指定)》県総合社会教育センター指定管理者事業 《種差(指定)》県立種差少年自然の家指定管理者事業

2 令和7年度事業の実績

重点(1)学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成

ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

県生涯学習課

地域と学校とのパートナーシップ強化事業 4,458千円

【事業目的及び概要】

これまでの取組を通じて形成されてきた人財や地域の活動団体等とのつながりを活かし、学校と地域のネットワークをより着実なものとして、地域学校協働活動の推進を図ることを目的として、学校と地域が互いの理解を深め、連携・協働を図りやすい環境の整備や、地域学校協働活動推進員等によるコーディネート機能の強化を促進し、地域全体でこどもたちの成長を支えていく体制を整備した。

【事業内容】

(1) 地域と学校の交流会

「学校が望む地域との連携・協働」をテーマに、地域学校協働活動の先進事例等について学び、それぞれの取組などを情報交換して、学校との連携の在り方を模索するとともに、学校関係者と、学校への協力を申し出ている企業や学校との連携を希望する地域活動者、町内会関係者等が一堂に会して交流を深め、互いの理解を促進した。

ア 地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会

○講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき

○講義：テーマ「私たちにできる教育支援活動～地域学校協働活動の推進～」

○情報交換：テーマ「私たちにできる教育支援活動」

・企業等による教育支援活動の紹介

発表者：〈西北地区〉特別養護老人ホーム桑寿園 生活相談員 伊藤 伸哉

〈下北地区〉山内土木株式会社 管理部 二本柳 郁也

・ワークショップ「参加者同士で、これまでやってきた(やってみたい)教育支援活動について」

○日時・会場・参加者数

〈西北地区〉7/29(火) つがる市生涯学習交流センター「松の館」 25名参加

〈下北地区〉7/30(水) 下北文化会館 中止

イ 学校と地域のネットワークづくり

○講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき

○情報交換：テーマ「みんなで育む地域のこどもたち」

○日時・会場・参加者数

〈下北地区〉9/30(火) 下北文化会館 25名参加

〈西北地区〉10/1(水) つがる市生涯学習交流センター「松の館」 29名参加

(2) 市町村地域学校協働活動支援

ア 地域学校協働活動研修

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進についての理解を深めるため、教育委員会担当者や教職員等を対象とし、文部科学省の動向、県内外の先進事例等を学ぶ研修会を開催した。

地区	期 日	場 所	参加者数
東青	7/29(火)	県総合社会教育センター	44名(6名)
西北	8/18(月)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	43名(1名)
中南	7/4(金)	弘前市立中央公民館相馬館長慶閣	43名(7名)
上北	7/28(月)	東北町北総合運動公園トレーニングセンター	52名(2名)
下北	8/19(火)	むつ市中央公民館	19名(0名)
三八	9/2(火)	ハートフルプラザ・はしかみ	45名(9名)

※参加者数の()は、オンラインによる参加者数(内数)

○対象：市町村教育委員会職員、指導主事、社会教育主事、社会教育士、小・中・義務教育学校・

県立学校教職員、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員等

- 講師：ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之(CSマイスター)
 一般社団法人 S. PLACE 代表理事 井上 尚子(CSマイスター)
 明星大学教育学部教育学科 特任教授 朝倉 美由紀(CSマイスター)

イ 市町村地域学校協働活動相談支援

安定的な地域学校協働活動推進のために、市町村の本部整備や推進員配置、これらの有効な活用について、当課職員や統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員が相談対応するほか、先行市町村等との仲介をするなどして、課題解決のためのサポートを行った。

期日	研修会名等	主催	主な対象
5/23 (金)	管内社会教育関係課長・公民館長及び担当者会議	西北教育事務所	生涯学習・社会教育関係課長、公民館長等
6/11 (水)	十和田市教頭会実務研修会	十和田市教頭会	十和田市教頭会会員(小・中学校)
6/27 (金)	五所川原市地域学校協働活動推進員研修会	五所川原市教育委員会	五所川原市地域学校協働活動推進員
7/25 (金)	弘前市立裾野小学校現職教育	弘前市立裾野小学校	裾野小学校職員・学校運営協議会委員等
9/22 (月)	風間浦村におけるCS導入に向けての説明	風間浦村教育委員会 県教育委員会	村教育委員会職員
9/26 (金)	地域と学校との連携による防災学習	むつ市教育委員会	大畑中学校全校生徒
10/23 (木)	平川市地域学校協働活動研修会	平川市教育委員会	平川市立小・中学校職員、地域学校協働活動推進員
11/20 (木)	第2回新郷村小中学校学力向上連帯事業協議会	新郷村教育委員会	新郷小・新郷中学校教職員
2/9 (月)	弘前市コミュニティ・スクール関係者研修会	弘前市教育委員会	学校運営協議会委員、地域コーディネーター等

ウ CSマイスター派遣事業(文部科学省) プッシュ型派遣への対応

文部科学省の事業により、野辺地町、東北町、新郷村の3町村と、県立青森中央高等学校、県立木造高等学校、県立八戸商業高等学校の3校を対象とした研修会にCSマイスターを派遣した。

○研修会の概要

6/16(月) 県立青森中央高等学校研修会

講師：高野 睦

対象：教職員

内容：コミュニティ・スクールの概要(制度、実施状況等)紹介と熟議体験、質疑応答等

8/20(水) 野辺地町教育委員会主催研修会

講師：森 万喜子

対象：教育委員会担当者、小・中学校関係者

内容：コミュニティ・スクールの概要(必要性の背景、活用法等)紹介と熟議体験、質疑応答等

9/ 1(月) 東北町教育委員会主催研修会

講師：森 万喜子

対象：教育委員会担当者、小・中学校関係者

内容：コミュニティ・スクールの概要(必要性の背景、活用法等)紹介と熟議体験、質疑応答等

9/11(木) 新郷村教育委員会主催研修会

講師：高野 睦

対象：村長部局職員、教育委員会担当者、小・中学校管理職

内容：コミュニティ・スクールの概要(制度、実施状況、導入に向けての準備等)紹介と熟議体験、質疑応答等

9/24(水) 県立木造高等学校研修会

講師：高野 睦

対象：教職員

内容：コミュニティ・スクールの概要(制度、実施状況等)紹介と熟議体験、質疑応答等

11/19(水) 県立八戸商業高等学校研修会

講師：森 万喜子

対象：教職員

内容：コミュニティ・スクールの概要(必要性の背景、活用法等)紹介と熟議体験、質疑応答等

(3) モデル県立学校への地域学校協働活動推進員配置

学校運営協議会を設置している県立学校のうち3校にモデル校として推進員を配置し、県立学校におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進と、教職員の働き方改革への効果等について、検証を行う。

○モデル校：県立黒石高等学校、県立森田養護学校、県立八戸高等支援学校
(コミュニティ・スクール導入済みの県立学校より3校)

○成果報告会の概要

・期日：7/3(木)

・対象、実施方法：地域学校協働活動推進員配置モデル校(教職員、推進員)・・・会場参集
上記以外の県立学校関係教職員・・・オンライン参加
(報告会終了後、YouTubeにてアーカイブ配信を行った。)

・場所：青森県庁東棟5階538会議室(参集の対象者のみ)

・助言者：岡山県青少年教育センター関谷学校所長 香山 真一(CSマイスター)

・内容：モデル校からの実践報告、助言者による助言

・参加者数：会場参集6名(モデル校)、オンライン参加40名(モデル校以外)

(4) 県立高等学校CS導入促進

県立高等学校教職員を対象とした研修会を開催し、体制の構築や先進事例等について学び、コミュニティ・スクール導入に向けて理解促進を図る。

○期日：11/25(火)

○場所：県総合社会教育センター

○対象：県立学校教職員(管理職、地域連携を担当する教員等)

○講師：青少年と家族の未来研究所 代表 増渕 広美(元CSマイスター)

○参加者数：31名

[成果]

- ・参加者が、地域と学校の連携の在り方や地域学校協働活動について学び、教育支援活動への理解を深める機会と場を提供することができた。また、地域活動者や企業関係者、町内関係者、学校関係者等が意見交換を行い、交流を図ることができた。
- ・地域学校協働活動研修では、県内6地区で計246名が参加した。今年度は地域学校協働活動推進員や学校運営協議会委員、教育委員会担当者の参加が増えた。参加者は、文部科学省の動向や県内外の好事例、それぞれの立場の役割やコミュニティ・スクール等について理解を深めることができた。
- ・モデル県立学校へ地域学校協働活動推進員を配置したことにより、教育活動の充実と教員の働き方改革に効果があることが認められた。

[課題]

- ・地域、企業、学校それぞれの関係者の参加を増やし、参加者同士のつながりを広く構築することにより、互いの連携・協働が図られるよう、事業の趣旨がより伝わる周知の方法を工夫する必要がある。
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する理解度は、個人によって大きな差が見られることから、教員だけではなく、指導主事や社会教育主事等へも積極的に地域学校協働活動研修への参加を働きかけ、理解を深めていく必要がある。
- ・県立学校における地域学校協働活動推進員が未配置の地区がある。県域全体でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していくために、推進員の配置拡大と活動の充実が必要である。

学校・家庭・地域連携協働推進事業 41,529 千円

1 地域学校協働活動推進事業(県事業) 2,529 千円

【事業目的及び概要】

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することを目的とし、継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

【事業内容】

(1) 会議の開催

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進及び放課後児童対策の在り方を検討するとともに、市町村担当者を対象とした連絡会議を開催し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進及び放課後児童対策の推進を図った。

ア 学校・家庭・地域連携推進委員会

○期日：2月中旬(大雪のため書面開催)

○委員

No.	氏名	所属等	備考
1	松浦 淳	青森中央短期大学幼児保育学科 非常勤講師	委員長
2	若松 大輔	弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻 助教	
3	舘 千春	五戸町立切谷内小学校 校長	
4	今井 一仁	五所川原市立五所川原第二中学校 校長	
5	棟方 丈博	県PTA連合会 会長	
6	工藤知久子	青森市立浦町中学校区学校運営協議会 CSディレクター	
7	春藤 千秋	むつ市教育委員会事務局生涯学習課 社会教育指導員	
8	木村小百合	県立森田養護学校 地域学校協働活動推進員	
9	工藤 清行	県立黒石高等学校 地域学校協働活動推進員	
10	神林 宏喜	県立八戸高等支援学校 地域学校協働活動推進員	
11	工藤 瑞季	中泊町教育委員会教育課 主査	
12	野崎 広典	おいらせ町教育委員会社会教育・体育課 主幹	
13	工藤 和也	藤崎町住民課子育て支援係 係長	
14	佐々木史子	平内町こみなと放課後児童クラブ 主任児童指導員	
15	木村 未来	五戸町なかよしクラブ 支援員	

イ 放課後児童対策に係る市町村担当者連絡会議

○期日：6/18(水)

○場所：県総合社会教育センター第1研修室及び第5研修室

○対象：放課後児童対策に係る市町村担当者(社会教育主管課及び福祉部局)

○参加者数：59名

(2) 研修の実施

ア 地域学校協働活動推進のための研修【主管：県総合社会教育センター】

○目的：地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図る。

○期日：6/6(金)

○場所：県総合社会教育センター 第1研修室

○参加者数：35名

○内容：講義・演習 「シン・社会教育で、地域と学校の持続可能&幸せな未来をつくろう」

講師 岩手県生涯学習振興協会 事務局長 佐々木 勉

イ 放課後児童対策に係る支援員等研修会【主管：各教育事務所】

○目的：放課後児童対策の事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。

○期日：前後期各1日

地区	前期	後期
東青	6/10(火)	9/10(水)
西北	5/30(金)	10/3(金)
中南	7/11(金)	9/22(月)
上北	6/9(月)	10/29(水)
下北	6/20(金)	10/9(木)
三八	6/3(火)	10/9(木)

○対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動リーダー、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

(3) 統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員の配置

県内の地域学校協働活動を推進するため、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネーターアドバイザー)を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供等を行った。

<主な活動実績>

○情報提供等

- ・十和田市教頭会実務研修会(6/11(水))
 - ・五所川原市地域学校協働活動推進員研修会(6/27(金))
 - ・弘前市立裾野小学校現職教育(7/25(金))
 - ・平川市地域学校協働活動研修会(10/23(木))
 - ・弘前市コミュニティ・スクール関係者研修会(2/9(月))
- ※「地域と学校とのパートナーシップ強化事業」に記載したもののうち、主となる講師等を務めたものを転記。

○情報発信「みんながつながる 地域学校協働活動便り」発行

第18号(6/25(水))、第19号(10/24(金))、第20号(11/26(水))、第21号(1/5(月))、第22号(3/18(水))

・市町村教育委員会、県立学校等へ配布

2 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助 39,000千円

[事業目的及び概要]

学校・家庭・地域が連携・協働して、自立的・継続的にこどもを取り巻く課題を解決できる地域社会を目指すため、市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費について、県が補助を行う事業である。

[事業内容]

地域学校協働活動(放課後子供教室を含む。)の取組を行う市町村(中核市を除く。)に補助金を交付する。

【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

交付先 19市町村、地域学校協働本部 29本部、放課後子供教室 72教室

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町 弘前市
平川市 大鰐町 十和田市 三沢市 おいらせ町 むつ市 風間浦村 佐井村 三戸町
五戸町

[成果]

- ・地域学校協働活動に携わる人や、放課後児童対策に係る支援員等の資質向上のほか、関係者同士の繋がりを構築することができた。
- ・今年度も複数の自治体から、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員に講師依頼があった。自治体の現状やニーズに合った情報提供を行うことができ、自治体担当者や参加者の地域学校協働活動に対する理解が深まった。

- ・各市町村におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進が促された。

【課題】

- ・国の放課後児童対策パッケージ等に対して、引き続き、こども家庭部と連携しながら、市町村における課題解決と円滑な取組促進が図られるように支援していく必要がある。
- ・参加者の高い満足度を維持できるよう、日程調整や研修内容に配慮する必要がある。
- ・安定的な地域学校協働活動推進のために、研修会での講師、市町村教育委員会の担当者及び地域学校協働活動推進員への情報提供や指導・助言などを通じたサポートを今後も継続していく必要がある。

特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業 3,622千円

【事業目的及び概要】

県内全ての県立特別支援学校に設置されている学校運営協議会制度について、その仕組みを生かした学校と地域の連携・協働体制の構築を目指す事業である。

【事業内容】

○導入校：県立特別支援学校全20校

(1) 各校における学校運営協議会の実施

○学校運営協議会委員を10名以内で任命

○年4回程度の実施

○場所、日時は各学校で設定

○年度末に学校運営協議会活動状況報告書を提出

(2) コミュニティ・スクール連絡会議(特別支援学校)の実施

○対象：県立特別支援学校関係教職員

○期日：9/9(火)

○実施方法：オンライン

○内容：生涯学習課からの情報提供、各校の取組に係る情報提供(事例紹介、質疑応答)、運営上の課題等に係る意見交換

【成果】

- ・当課にコミュニティ・スクール業務が移管されたことに伴い、高等学校の事業費の単価等と整理を行った。そのことから、各学校が多様な委員を任命し、学校運営協議会も年4回程度実施できるように体制を整えることができた。
- ・コミュニティ・スクール連絡会議(特別支援学校)を実施することにより、各学校の取組の工夫や課題等の実情を共有することができた。

【課題】

- ・学校運営協議会が形骸化しないように、研修会や連絡会議の実施や協議会への視察等を継続して行い、伴走支援を行う必要がある。
- ・法改正により、令和8年度から、各校の校長が毎年度、学校運営協議会の承認を得ることとなっている学校運営に関する基本的な方針の内容に、業務量管理・健康確保措置の実施に関する事項を加えることとなる。その具体的な実施方法等について、他県の例などの情報を集め、各校へ情報提供をし、助言する必要がある。

高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業 3,433千円

【事業目的及び概要】

全国的に拡充している県立高等学校へのコミュニティ・スクールの導入について、その実施モデル校での取組効果等を踏まえ、学校運営協議会制度の仕組みを生かした学校と地域の連携・協働体制の構築を目指す事業である。

【事業内容】

○導入校：県立高等学校(22校)

- ・既導入校：青森西、弘前、弘前南、鱈ヶ沢、黒石、百石、大湊、大間、十和田工業、八戸水産、三沢商業、八戸中央、尾上総合高等学校(13校)

- ・新規導入校：青森北、八戸、八戸東、八戸西、野辺地、六ヶ所、三戸、名久井農業、北斗高等学校(9校)

- (1) 各校における学校運営協議会の実施
 ○学校運営協議会委員を10名以内で任命
 ○年4回程度の実施
 ○場所、日時は各学校で設定
 ○年度末に学校運営協議会活動状況報告書を提出
- (2) コミュニティ・スクール連絡会議(高等学校)の実施
 ○対象 : コミュニティ・スクール導入校(県立高等学校)関係教職員
 ○期日 : 9/9(火)
 ○実施方法 : オンライン
 ○内容 : 生涯学習課からの情報提供、各校の取組に係る情報提供(事例紹介、質疑応答)、運営上の課題等に係る意見交換

[成果]

- ・当課にコミュニティ・スクール業務が移管されたことに伴い、特別支援学校の事業費の単価等と整理を行った。そのことから、各学校が多様な委員を任命し、学校運営協議会も年4回程度実施できるように体制を整えることができた。
- ・コミュニティ・スクール連絡会議(高等学校)を実施することにより、各学校の取組の工夫や課題等の実情を共有することができた。

[課題]

- ・学校運営協議会が形骸化しないように、研修会や連絡会議の実施や協議会への視察等を継続して行い、伴走支援を行う必要がある。
- ・法改正により、令和8年度から、各校の校長が毎年度、学校運営協議会の承認を得ることとなっている学校運営に関する基本的な方針の内容に、業務量管理・健康確保措置の実施に関する事項を加えることとなる。その具体的な実施方法等について、他県の例などの情報を集め、各校へ情報提供をし、助言する必要がある。

重点(1) イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,759千円

[事業目的及び概要]

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施した。

[事業内容]

- (1) 社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【2地区 主管:中南教育事務所・三八教育事務所】
 社会教育主事等が中心となり、首長部局、NPO法人、地域づくり団体等とともに、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画・実践した。
- ア 中南地区(西目屋村)
- ＜地域課題解決スタートアップ研修会＞
 ○期日：7/30(水) ○会場：西目屋村中央公民館 ○参加者数：15名
 ○内容：事業説明、ワークショップ形式による協議
- ＜第1回実行委員会＞
 ○期日：9/4(木) ○会場：西目屋村中央公民館 ○参加者数：11名
 ○内容：委員長、副委員長の決定、活動内容・計画についての話し合い
- ＜第2回実行委員会＞
 ○期日：2/26(木) ○会場：西目屋村中央公民館 ○参加者数：11名
 ○内容：事業の振り返り及び今後の活動等についての話し合い
- ＜事業の実践＞
 イベント「スポーツをすくこどもの体づくり」の開催
 ○期日：12/21(日) ○会場：西目屋小学校体育館 ○参加者数：21名

○内容：小学生とその主たる保護者を対象として、栄養学や体づくりに関する講演及び体組成計測やメディカルチェック等の体験活動を実施した。

<地域課題解決フォローアップ研修会>

○期日：2/26(木) ○会場：西目屋村中央公民館 ○参加者数：26名

○内容：中南地区実行委員会による実践発表及び質疑応答、意見交換

イ 三八地区(三戸町)

<地域課題解決スタートアップ研修会>

○期日：8/6(水) ○会場：三戸町中央公民館 ○参加者数：21名

○内容：事業説明、ワークショップ形式による協議

<第1回実行委員会>

○期日：9/16(火) ○会場：県立三戸高等学校 ○参加者数：12名

○内容：実行委員長、副委員長の決定、活動内容及び計画について

<第2回実行委員会>

○期日：9/30(火) ○会場：県立三戸高等学校 ○参加者数：12名

○内容：本イベントについての打合せ・準備

<第3回実行委員会>

○期日：10/10(金) ○会場：県立三戸高等学校 ○参加者数：12名

○内容：本イベントについての打合せ・準備

<事業の実践>

「三戸ゆるみらいトーク」の開催

○期日：10/11(土) ○会場：国史跡三戸城跡・城山公園 ○参加者数：28名

○内容：三戸高校、小中一貫三戸学園、近隣高校の生徒及び地域の大人を対象として、交流活動(レクリエーションやデイキャンプ体験)、たき火トーク等を実施した。

<地域課題解決フォローアップ研修会>

○期日：2/27(金) ○会場：三戸町中央公民館 ○参加者数：31名

○内容：三八地区実行委員会による実践発表及び質疑・情報交換を行った。

[成果]

- ・実行委員会立上げから事業の企画・準備・運営を行う中で、多様な主体とのつながりが生まれ、地域づくりに関係する人財同士のネットワークが広がった。
- ・地域課題を解決するための方策を、地域の企業、大学、病院等と連携し専門的な知識を基に事業の実践を行うことができ、地域にある資源を活用しつながりを作り出すことができた。(中南地区)
- ・高校生が中心となって企画・運営を行うことができ、実践的な経験を通じて若者の人材育成を図ることができた。また、SNSを活用した情報発信により取組をPRすることができた。三戸町の社会教育主事が地域の多様な人材と関わり、事業の企画・実践を支援することで資質・能力の向上につながった。(三八地区)

[課題]

- ・本イベントへの集客を増やすために、開催日時や周知方法等を工夫していくことが必要である。
- ・スタートアップ研修会やフォローアップ研修会において、主たる事業実施自治体以外からの参加者が少なかった。域内の市町村への周知活動を工夫する必要がある。

(2) キャリア教育の推進【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

<事業内容及び結果>

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、関係者同士による意見・情報交換を行った。

<東青地区>

期日	場所	内容
11/17(月)	青森市立北小学校	参加企業 4 社
11/19(水)	青森市立浪打中学校	参加企業 8 社
11/28(金)	青森市立新城中央小学校	参加企業 10 社
12/1(月)	青森市立大野小学校	参加企業 7 社
12/4(木)	青森市立古川中学校	参加企業 5 社
12/10(水)	青森市立浦町小学校	参加企業 10 社
12/16(火)	青森市立金沢小学校	参加企業 8 社

<西北地区>

○期日：10/29(水)

○場所：中泊町立中里中学校

○内容：職業講話終了後、企業の取り組み、学校から期待すること、実行委員会の取り組み方、職業講話におけるこどもたちへの関わり方等について、企業・学校・実行委員会の出席メンバーで意見交換を行った。

<中南地区>

○期日：8/21(木)

○場所：アートホテル弘前シティ

○内容：地区内高等学校卒業予定者の地元就労について、情報交換を通して、早期から健全な職業観・勤労観の育成についての取組を協議し、地元就労促進に役立てる機会とすることを目的として講演会を実施した。

○講師：和電工業株式会社 代表取締役社長 藤田 あつ志

<上北地区>

○期日：1/27(火)

○場所：十和田市商工会館

○内容：十和田地区雇用対策協議会と共催で開催し、「若者の地元定着に向けて考察～企業・地域ができる事・すべき事」をテーマに講演とワークショップを実施した。

○講師：特定非営利活動法人プラットフォームあおもり 理事長 米田 大吉

<下北地区>

○期日：7/7(月)

○場所：むつグランドホテル

○内容：むつ商工会議所と連携して、「むつ下北地区高卒者雇用対策協議会」の第2部として実施し、「むつ下北の可能性～地域おこし協力隊の経験から」をテーマに講演会を実施した。

○講師：むつ市集落支援員 小池 拓也

<三八地区>

期日	場所	内容
10/23(木), 12/4(木), 12/16(火), 1/16(金), 1/28(水), 2/12(木)	八戸市立小中野中学校 (全6回)	参加企業 6 社

イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各実行委員会とも関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業の新規開拓を行った。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業について、さらなる活用を促進するために、登録企業の周知を学校等に対して行い、企業による教育支援活動の一層の充実を図った。

ウ キャリア教育推進のためのコーディネート業務

学校からの要望に応じて、地元企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)に係るコーディネートを行った。

< 東青地区 >

期日	学校名	内容
11/17(月)	青森市立北小学校	職業講話
11/19(水)	青森市立浪打中学校	職業講話
11/28(金)	青森市立新城中央小学校	職業講話
12/1(月)	青森市立大野小学校	職業講話
12/4(木)	青森市立古川中学校	職業講話
12/10(水)	青森市立浦町小学校	職業講話
12/16(火)	青森市立金沢小学校	職業講話

< 西北地区 >

期日	学校名	内容
10/29(水)	中泊町立中里中学校	職業講話

< 中南地区 >

期日	学校名	内容
7/2(水)～7/3(木)	弘前市立第四中学校	職場体験
7/3(木)～7/4(金)	弘前市立北辰中学校	職場体験
8/28(木)～8/29(金)	大鰐町立大鰐中学校	職場体験
10/23(木)～10/24(金)	弘前市立第三中学校	職場体験
2/5(木)	県立尾上総合高等学校	職業講話

< 上北地区 >

期日	学校名	内容
7/3(木)	おいらせ町立下田中学校	職業講話
7/10(木)	県立七戸高等学校	ビジネスマナー講習会
11/6(水)	六戸町立義務教育学校六戸学園	職業講話
11/11(火)	おいらせ町立甲洋小学校	職業講話
11/13(木)	三沢市立第一中学校	職業講話
11/21(金)	七戸町立天間林小学校	職業講話
11/25(火)	十和田市立西小学校	職業講話
12/5(金)	七戸町立城南小学校	職業講話
12/12(金)	十和田市立藤坂小学校	職業講話
12/16(火)	野辺地町立野辺地小学校	職業講話
2/2(月)	十和田市立北園小学校	職業講話
2/16(月)	十和田市立四和小学校	職業講話

< 下北地区 >

期日	学校名	内容
7/1(火)	むつ市立第一田名部小学校	職業講話
9/16(火)	大間町立大間小学校	職業講話
9/25(木)	むつ市立苫生小学校	職業講話
10/31(金)	むつ市立大平小学校	職業講話
11/25(火)	東通村立東通小学校	職業講話
11/27(木)	むつ市立大畑小学校	職業講話
12/15(月)	むつ市立奥内小学校	職業講話

< 三八地区 >

期日	学校名	内容
10/23(木), 12/4(木), 12/16(火), 1/16(金), 1/28(水), 2/12(木)	八戸市立小中野中学校 (全6回)	職業講話
2/2(月), 2/3(火), 2/9(月), 2/10(火), 2/12(木), 2/13(金), 2/20(金)	八戸市立小中野中学校 (全7回)	職業講話

[成果]

- ・地域内の学校、企業、NPOなどの関係者が互いに信頼関係を構築し情報共有を進めることで連携を強化し、企業の教育支援活動参画が促進され、学校は教育支援プログラムの活用で活動が充実した。さらに、会議等を通じ課題解決の提案が進み、関係者の満足度向上が図られた。

[課題]

- ・事業が始まって年数が経過したことで、青森県教育支援プラットフォーム(「我が社は学校教育サポーター」を含む。)の行う取組が地域内に定着し、地域の教育活動に一定の成果をもたらしているが、地区内活動に濃淡がある。今後、地域における新たな教育課題解決に向けた教育支援体制整備や地区内活動の濃淡解消を視野に入れていく必要がある。

いじめ防止キャンペーン推進事業 5,686千円

[事業目的及び概要]

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品を広告動画を通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

[事業内容]

(1) いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品、審査員特別賞4作品を選定した。

○募集期間：6/9(月)～8/29(金)

○応募数：6,178作品(小学校3,795作品、中学校2,149作品、高等学校172作品、特別支援学校58作品、一般4作品)

○受賞作品

優秀賞	気づいてる？ 相手に向けたの 言刃だよ	県立青森西高等学校 1年 平山 緋裳斗
	やさしさが 広がる教室 いじめゼロ	弘前市立第三中学校 3年 原子 駿哉
	見逃すな 助けを求め 小さな声	むつ市立大平中学校 2年 板垣 那海
	あなたが楽しいその「いじり」	階上町立道仏小学校 6年 瀨谷 怜央
	「いじめ」につながる第一歩	十和田市立西小学校 3年 杉山 采方子
	さしのべた そのてはきっと すくいので	つがる市立稲垣小学校 4年 千葉 莉桜
審査員特別賞	一人でも 味方がいれば 変わる明日	県立青森工業高等学校 3年 外山 泰成
	「大丈夫」 隠した気持ち 見逃すな	県立五所川原高等学校 2年 石岡 楓月
	どうしたの？ すこしのへんかに きづくぼく	県立七戸養護学校 小学部3年 浦田 吟
	だいじょうぶ？ みんなでまもる おともだち	青森市立新城小学校 1年 野村 和叶

(2) Web 広告

ア 令和6年度制作「いじめ防止キャンペーン動画」をYouTube、Instagram、TikTokにてWeb広告配信(5/1～5/15、7/16～8/31、12/16～1/31)

イ 令和7年度いじめ防止標語コンクール優秀賞作品を活用した動画を制作し、YouTube、Instagram、TikTok、TVerにてWeb広告配信(3/1～3/15)

ウ 令和7年度いじめ防止標語コンクール優秀賞作品を活用した動画を制作し、ファミリーマートのデジタルサイネージにて広告配信(3/3～3/16)

[成果]

- ・小学校、中学校、高校、特別支援学校の児童生徒に加え、一般県民からも応募があり、合計6,178件の標語が集まった。これにより、幅広い層へのいじめ防止意識啓発が進んだ。
- ・教育活動内で標語作成が活用されたことから、学校全体でいじめ問題に対する意識向上を図る機会となった。
- ・YouTube、Instagram、TikTokといった多様な媒体に加え、今年度は新しくTVerを活用し、若い世代を含む幅広い層にいじめ防止のメッセージを届けることができた。
- ・地域住民が利用する店舗での広告配信により、地域内でもいじめ防止への関心を広める機会が生まれた。

[課題]

- ・いじめ防止に向けた取組は、単発的な啓発活動に留まることなく、継続して意識啓発を行う必要がある。
- ・成果や効果を適切に検証し、次年度以降の事業運営に反映させる仕組みが必要である。
- ・本事業において制作した動画の活用に関して、さらに周知していく必要がある。
- ・啓発活動が目的どおりに効果を発揮しているかどうかについて、客観的かつ定量的に把握することができていない。

県総合社会教育センター

青森と自分の未来を“カタル”！「キャリアサポ」事業 1,305千円

[事業目的及び概要]

ふるさとに誇りをもち、主体的に行動できる若者を育成するため、研修によって、一定のスキルを身につけた大学生が高校生等と将来について語り合うワークショップを開催し双方のキャリア形成を図る事業である。

[事業内容]

(1) 大学生への研修会等の開催

研修名		概要等	参加大学生(回数)
基礎研修	基本研修	コミュニケーション、コーチング、ファシリテーション、青森の魅力に関する事項を学ぶ研修	122名(年間4回)
	ワークショップ演習	演習を通じ、気持ちや考えを引き出すための方法についての研修	
合同リハーサル研修		ワークショップ運営の一連の流れを確認し、企画のポイントなどを確認する研修(ワークショップ開催前に実施校ごとに行う)	165名(年間6回)
応用研修		ワークショップの企画・運営に必要なマネジメント力や運営ノウハウを学ぶ研修	16名(年間2回)
企画運営会議		企画運営委員(大学生の代表者)による、ワークショップの企画内容や運営についての意見交換	14名(年間4回)

(2) ワークショップの開催

ア 高校生対象ワークショップ

(ア)時期：夏季・・・8月下旬～9月下旬、冬季・・・1月下旬～3月下旬

(イ)対象：青森県内の高等学校7校

	月/日(曜)	実施校名	学年/人数	参加大学生
1	8/27(水)	県立大湊高等学校	1・2年生/198名	50
2	8/29(金)	県立五所川原工科高等学校	2年生 / 67名	25
3	9/ 5(金)	県立弘前南高等学校	1年生 / 187名	59

4	9/ 8(月)	柴田学園高等学校	1年生 /147名	48
5	9/10(水)	県立六ヶ所高等学校	1・2年生 / 64名	27
6	9/12(金)	県立黒石高等学校	1年生 /133名	39
7	2/20(金)	八戸工業大学第二高等学校	1年生 /164名	50

イ 中学生対象ワークショップ

(ア)時期：夏季・・・8月下旬～9月下旬

(イ)対象：中南、西北、三八の各教育事務所から推薦を受けた中学校3校

	月/日(曜)	実施校名	学年/人数	参加大学生
1	9/ 3(水)	藤崎町立藤崎中学校	3年生 / 60名	24
2	9/19(金)	五所川原市立五所川原第二中学校	1～3年生 / 50名	18
3	9/22(月)	階上町立道仏中学校	1～3年生 / 41名	18

[成果]

- ・ワークショップにおいてチーフを担当する企画運営委員の大学生に対し、前年度受講した応用研修の内容を振り返り、高校生等との関わり方やワークショップを行う学校の生徒の実情などについて正しく把握する機会を設けたことにより、ワークショップを担当する運営委員が「自分の思い」ではなく、各校における生徒の実情を鑑みながらワークシート等を作成することができた。
- ・参加した生徒の回答内容を確認すると、高校生等が大学生と語り合いながらワークショップに意欲的に参加するような記載内容が多くみられ、それぞれのキャリア形成の一助となった。
- ・中学校対象ワークショップは2年間のパイロット期間を経て、今後の在り方について方向性を得ることができた。

[課題]

- ・ワークショップにおいてチーフを担当する企画運営委員の中で、教育学部(教職課程履修者含む)の大学生と、その他の大学生とで、ワークショップを行う学校の生徒の実情の把握やワークショップの内容について差が見られることがあったため、学校によって内容に差が出ないようにする必要がある。
- ・県内6大学(弘前大、県立保健大、公立大、柴田大、青森大、明の星短大)から大学生が参加しているが、研修やワークショップの日程を組むにあたり、週休日や長期休業中に集中講義が組まれることが多くなったため、研修参加人数やワークショップの回数、また日程調整を再度見直したり、工夫したりする必要がある。

高校生スキルアッププログラム推進事業 288千円

[事業目的及び概要]

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

[事業内容]

- (1) 高校生スキルアッププログラム(スキルアップ認定証・奨励証の交付)の運営
 - ・参加校数 22校(参加人数 2,806名)
 - ・認定証 56件
 - ・奨励証 54件
- (2) 担当者説明会の実施
 - ・5/12(月)：オンライン開催
- (3) 評価サービス
 - ・計 110件の評価を実施
- (4) 県民カレッジとの連携
 - ・県民カレッジ新規入学者数 746名

[成果]

- ・認定証と奨励証の交付者数が、目標としていた100件を超えることができた。
- ・学校外学修情報の提供(高校生スキルアップNEWS)が34件となり、昨年度の件数を上回ることができた。

[課題]

- ・生徒が多様な社会活動に取り組み、知識や経験の幅をより広げられるよう、さらに多くの分野や地域をカバーできるような学校外学修情報の提供を継続する必要がある。
- ・申請に伴う作業負担を軽減するため、生徒や高校担当者にとってわかりやすく使いやすい内容となるよう、マニュアルや申請様式等の改善に引き続き取り組む必要がある。

地域に根ざしたキャリア教育推進事業 580 千円

[事業目的及び概要]

企業・NPO・各種団体・地域住民等の関係者が、学校において行われるキャリア教育について相互に理解を深め、地域の子どもたちに郷土への愛着と誇りを持たせることを目的として、地域に根ざしたキャリア教育が推進されるための環境整備を進める事業である。

[事業内容]

(1) 地域と学校をつなぐキャリア教育研修会

ア 期日・場所：東青地区 9/4(木) 外ヶ浜町立蟹田中学校
上北地区 11/5(水) 十和田市立大深内中学校

イ 対象：企業・NPO・各種団体・地域住民(P T A含む)、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等

※学校関係者(市町村教育委員会、近隣学校の教職員等)も参加可

ウ 参加者：東青地区 14名 上北地区 14名

(2) 地域に根ざしたキャリア教育推進フォーラム

ア 期日：10/24(金)

イ 場所：県総合社会教育センター

ウ 対象：企業・NPO・各種団体・地域住民(P T A含む)、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等

エ 内容：開会(あおもりキャリア教育応援企業の表彰式あり)、講演、閉会行事、意見交換会

オ 講師：大正大学 地域創生学部 教授 牧野 篤

カ 参加者：74名

(3) 「我が社は学校教育サポーター」の運営全般

ア 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営

(ア)登録企業から報告された令和6年度実績集計結果(令和8年2月調査まとめ)

出前授業：1,466件、職場見学827件、職場体験・インターンシップ992件、
その他：298件

(イ)登録企業数：707社(令和8年3月現在)

イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録 11社

ウ 学校からの依頼に対する仲介 21件

[成果]

- ・研修会、フォーラムにおいては、講義や意見交換を通じて、キャリア教育の意義や役割についての理解が深まった。
- ・キャリア教育支援に携わっている企業や地域住民の思いを共有することにより、多くの参加者が自分ごととしてキャリア教育推進のための関わり方について考える機会となった。
- ・県内の児童生徒に各企業の魅力を伝えるとともに、将来を見据えた人財の確保を目的として、「我が社は学校教育サポーター」に登録し、キャリア教育支援に協力したいという新規登録企業が増えた。

[課題]

- ・研修会の効果的な実施方法について、課題を認識、共有し、協働体制を実現する研修の形を検討する必要がある。
- ・「我が社は学校教育サポーター」においては、令和5年度に、企業等自身がいつでも登録情報を変更できる新システムを構築したが、情報の更新に当たり、事務局からの依頼が必要になる場合も多く、新システムの運用について引き続き周知する必要がある。

重点(1) ウ こどもの読書活動の充実

県生涯学習課

こどもの読書活動推進事業 3,102 千円

〔事業目的及び概要〕

「青森県こども読書活動推進計画(第五次)」に基づき、「読書で広がる あおもりっこの未来」というキャッチフレーズの下、読書に親しみ、自主的に読書活動をするこどもたちを育てるため、不読率の低減、多様なこどもたちの読書機会の確保、デジタル社会に対応した読書環境の整備、こどもの視点に立った読書活動の推進に取り組む事業である。

〔事業内容〕

(1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

中学生・高校生の読書意欲の向上を図り、自主的な読書活動を促すため、県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい一冊の本の紹介文を募集し、優秀作品を表彰した。

また、優秀作品集(紹介文集)を 32,000 部、優秀作品周知ポスターを 360 部作成し、中学校・義務教育学校、高等学校(特別支援学校中学部及び高等部を含む)、図書館等に配布した。

○募集期間：7/1(火)～9/11(木)

○応募数：3,637 点(中学生の部：35 校 1,133 点、高校生の部：27 校 2,504 点)

○優秀作品受賞者一覧

<中学生の部>

最優秀賞	八戸市立第二中学校 3年 加藤 優弥 「のび太」という生きかた (横山 泰行/著)
優秀賞	県立三本木高等学校附属中学校 3年 濱田 一花 赤毛のアン (モンゴメリ/著) むつ市立川内中学校 3年 福永 凷 鷹木信悟自伝 我道驀進 (鷹木 信悟/著) 階上町立道仏中学校 3年 村田 康汰郎 夏にいなくなる私と、17歳の君(いぬじゅん/著) 八戸市立第二中学校 3年 明戸 春樹 夢をかなえるゾウ1 (水野 敬也/著) 八戸市立下長中学校 2年 梅津 歩実 僕は上手にしゃべれない (椎野 直弥/著)

<高校生の部>

最優秀賞	県立青森工業高等学校 1年 小笠原 向春 ナミヤ雑貨店の奇蹟(東野 圭吾/著)
優秀賞	県立青森西高等学校 2年 熊沢 心桜 幸服論 人生は服で簡単に変えられる (MB/著) 県立五所川原農林高等学校 1年 山口 瑛蓮 死にたいけどトッポッキは食べたい (ペク・セヒ/著、山口 ミル/訳) 県立五所川原農林高等学校 1年 竹浪 望伶 津軽 (太宰 治/著) 県立七戸高等学校 3年 伊藤 詩愛 また、同じ夢を見ていた (住野 よる/著) 県立大湊高等学校 3年 太田 愛桜 か「」く「」し「」ご「」と「」 (住野 よる/著)

(2) こどもの読書活動推進大会の開催

広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、こどもの読書活動推進大会を開催した。

○日時：12/13(土) 13:00～16:00

○場所：HOCコネクト(八戸市)

○参加者数：110名

○内容

ア 表彰式

令和7年度あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』表彰式

①中学生の部の最優秀賞(1作品)及び優秀賞(5作品)受賞者の表彰

②高校生の部の最優秀賞(1作品)及び優秀賞(5作品)受賞者の表彰

イ 受賞者の本の紹介文説明

令和7年度あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』中学生及び高校生の最優秀賞及び優秀賞受賞者の紹介文説明、書籍編集者からのアドバイス

助言者 篠原 一朗(株式会社水鈴社代表取締役)

ウ 講演

演題『本が開いてくれるもの』

講師 瀬尾 まいこ(小説家)、進行 境 香織(フリーアナウンサー)

(3) 青森県こども読書活動推進計画

青森県こども読書活動推進計画(第五次)周知のためのチラシを作成するとともに、こどもの読書活動推進計画の未策定・未改定市町村について、計画策定・改定に向けた準備を行った。関係各所へ周知チラシを送付したほか、県教育委員会主催の各種イベントでチラシを配布することで、計画の周知を行った。

(4) 啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」第7版の増刷・提供

啓発小冊子第7版は、16団体合計2,399冊の提供を行い、市町村ブックスタート事業等に活用していただいたほか、親子ふれあい読書アドバイザー研修会やこどもの読書活動推進大会等でも配布・活用された。

[成果]

- ・「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」は、中学生の部・高校生の部ともに例年に近い応募があった。各校の担当教員からは「同世代の人の声を知らせ合うことで図書への関心が高まる取り組みで、今後も続けていってほしい」「生徒が本を読むきっかけにもなっている」などの好意的な意見が多く寄せられた。
- ・こどもの読書活動推進大会は、小説家による講演のほか、新たな取組として、あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」受賞者の本の紹介文説明において、書籍編集者からの助言を取り入れた。参加者からは「紹介文に対する助言、トークを新しい試みとして入れたのはとてもよかった」などの意見があった。
- ・啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」については第7版を発行し、16の団体等に合計2,399冊の提供を行い市町村ブックスタート事業等で活用していただいた。

[課題]

- ・参加校からは好意的な意見を得ている一方で、参加校・作品数は横ばいとなっており、より広く中学校・高校の生徒・教員に対して周知する工夫が必要である。また、本事業を活用した中高生の不読率改善につながる取組を検討する必要がある。
- ・周知方法の工夫など大会の認知度の向上、大会内容の工夫・改善など、特に中高生の参加者増加を図るための方策を検討したい。
- ・「青森県こども読書活動推進計画(第五次)」の基本方針(不読率の低減等)に対応した取組をより一層進める必要がある。文部科学省による「市町村における子供読書活動推進計画の策定状況に関する調査」が本年度実施されたので、未策定・未改定市町村との連絡を密にし、策定率向上に向けて取り組む必要がある。

県立図書館

こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

[事業目的及び概要]

こどもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

[事業内容]

- (1) 市町村内巡回図書セット貸出サービス
「朝の読書」活動や読み聞かせ等に使える図書をセットにし、市町村立図書館等を経由して、小・中学校、義務教育学校、幼稚園・保育所等に貸出する。
- (2) 学習支援セット貸出サービス
調べ学習等に使える図書を32のテーマごとにセットにし、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に貸出する。
- (3) ミニセット貸出サービス
全国的なイベント等に対応した展示に使える図書をセットにし、市町村立図書館等(一部、高等学校・特別支援学校を含む。)に貸出する。

[成果]

図書セット内容		利用対象	配本先数	配本冊数
市町村内巡回図書 セット	小学校	低学年	81	2,600
		中学年	80	2,600
		高学年	79	2,600
	中学校	中学校	22	960
	読み聞かせ絵本 (児童書等)	幼稚園・保育所等	98	2,700
	大型絵本	幼稚園・保育所等	124	575
学習支援セット		小・中・高・特別 支援学校、市町村 立図書館等	11	895
ミニセット		市町村立図書館 等(一部、高校・ 特別支援学校を 含む。)	56	1,539

・各種図書セットの内容更新を図るなどしながら、一層利用してもらえるよう、会議や通知等により周知を図るとともに、貸出希望時期等が重なる場合は調整するなどして、より多くの市町村立図書館等や学校が利用できるようにしている。

[課題]

・引き続き各種図書セットの内容を一定数更新を図るとともに、図書セット利用時に提出される貸出事業実施報告書やアンケート等によりニーズを把握し、より利用しやすい読書環境づくり、市町村立図書館等や学校への支援を継続的に行い、利用促進、読書活動の推進につなげていく必要がある。

重点(1) エ 家庭教育支援体制の充実

県生涯学習課

あおもり家庭教育支援総合事業 2,514千円

[事業目的及び概要]

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育ができることを目的として、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

[事業内容]

- (1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催
今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業(学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等)について協議した。
 - 委員構成：有識者、家庭教育支援者など 10名
 - 開催回数：年3回(第2回は書面開催)

(2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の周知

家庭教育の学習を推進するため、「あおもり家庭教育アドバイザー」が活用する家庭教育の学習テキストを作成する。また、「あおもり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを関係各所(1,243箇所)へ配布した。

(3) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催

会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる方々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、市町村職員及び家庭教育支援関係者等のつながりを深める研修会を県内2地区で開催した。

地区	期日	場所	参加者数	内容
中南	9/4(木)	弘前市民会館	31名	講義・演習 「ペアレントトレーニングで学ぶ親と子の幸せなかかわり方」 講師 郡山家庭教育を支援する会 圓谷 円
下北	9/5(金)	むつ市立図書館	12名	

(4) あおもり家庭教育応援フォーラムの開催

地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行った。

○期日：10/26(日)

○場所：アピオあおもり

○参加者数：会場参加56名、オンライン参加8名、オンデマンド申込42名

○講演：「すべての子どもに体験の機会を～体験格差の課題と解消に向けた取り組み～」

講師：(公社)チャンス・フォー・チルドレン 代表理事 今井 悠介

○パネルディスカッション：「地域の体験活動が支える家庭教育」

パネラー：(公社)チャンス・フォー・チルドレン 代表理事 今井 悠介

青森県PTA連合会 会長 棟方 丈博

五戸町家庭教育応援隊 代表 小宮 香

(一社)ミライク 代表理事 下山 翔大

モデレーター：教育ライター/(株)レゾンクリエイト 執行役員 佐藤 智

(5) 地域の家庭支援を目指した多世代交流・参加型研修会

地域の子どもからシニアまでの多世代を対象とした、気軽に参加・交流できる生涯スポーツ的なレクリエーション体験等を通じ、地域の家庭支援の土台となる全世代の健康増進や交流・活性化に寄与する研修会を県内2地区で開催した。

地区	期日	場所	参加者数	内容
東青	10/25(土)	青森市立杉高児童館	45名	ユニカール
上北	11/15(土)	七戸中央公民館	45名	スカットボール

(6) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成

県読書団体連絡協議会への委託により、読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成と、読み聞かせ実践者のスキルアップを図る研修会を県内5地区で開催し、合計111名が受講した。

地区	期日	場所	参加者数	講師
西北	11/12(水)	板柳町多目的ホール あぶる	16名	親子ふれあい読書アドバイザー 蛭名 智子
中南	10/ 2(木)	平川市文化センター	33名	ニコニコこども園園長 對馬 大輔
上北	9/28(日)	十和田市民図書館	31名	語りの会「こま草」 菊池 佳子、阿部智留恵ほか2名
下北	9/20(土)	むつ市立図書館	4名	親子ふれあい読書アドバイザー 秋田 敏博
三八	10/29(水)	八戸市総合福祉会館	27名	JPIC 読書アドバイザー、柴田学園大学 短期大学部認定絵本士養成講座講師 高嶋 敬子

[成果]

- ・家庭教育支援推進協議会では、家庭教育の今日的課題に対応するために、「あおり家庭教育 10 か条」の内容を協議し、一部改訂することができた。
- ・家庭教育応援フォーラムは、地域が一体となって家庭教育を支援する意義や必要性について理解を深める機会となった。特に、登壇者の好事例紹介は、家庭教育支援関係者にとって、今後の活動運営の参考となった。
- ・多世代交流の機会は減少傾向にあることから、貴重な機会となったほか、婦人会と児童館等の連携体制が新たに構築された。

[課題]

- ・研修会の実施時期や当日の日程、周知手段、メイン講師の選定等を検討しながら、より広く啓発する必要がある。
- ・各種研修会で新たに構築された参加者同士のつながりを維持できるよう、関係者へ働きかける必要がある。
- ・「あおり親楽プログラム」の積極的な活用につながる周知の工夫が必要である。

県総合社会教育センター

家庭教育支援動画等制作普及事業 3,635 千円

[事業目的及び概要]

子育てについて気軽に学べる機会を増やすため、子育てに対する不安や悩みを解決する糸口となる情報を発信し、周知を図ることにより、家庭教育を支援する。

[事業内容及び結果]

- (1) 家庭教育支援をPRするキャラクターデザイン等の制作
 - ア キャラクター名 シャメルン、もりのん
 - イ デザインパターン 基本パターン(3種類)、応用パターン(6種類)等
- (2) PR動画制作
 - キャラクターを使用した「あおり子育てネット」CM動画を制作
- (3) 生涯学習フェアにおけるブース展開
 - ア 開催日時 9/27(土)10:00~15:00
 - イ 内 容 フォトスポット、お絵かきバルーン、防災コーナー、VR体験、パネル展示、読み聞かせコーナー、クイズ等
- (4) 広報業務
 - ア CM放映
 - (ア) 放映期間 1/5(月)~2/28(土)
 - (イ) 本 数 20本
 - イ ノベルティ(ポケットティッシュ)の製作・送付
 - (ア) 制作数 12,000個
 - (イ) 送付先 県内小児科医院 41箇所
 - (ウ) その他 当センター主催講座や派遣等において配布

[成果]

- ・親しみやすいキャラクターが完成したことにより、家庭教育がより身近なものとして捉えやすくなり、新規の「あおり子育てネット」利用者が増えた。

[課題]

- ・生涯学習フェアにて家庭教育支援の普及に係るブースを設けたが、県内の大規模なイベントを重ねたことで来場者数が少なかった。開催日時や場所においては、様々な動向を鑑みて設定する必要がある。

家庭教育相談事業 681 千円

[事業目的及び概要]

子育て中の不安や悩みを軽減するため、乳幼児から高校生までの子をもつ保護者やその家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う。

[事業内容]

- (1) 対 象：乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族
- (2) 実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00～15:00
メール相談・24時間受付
- (3) 場 所：県総合社会教育センター電話相談室
- (4) 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などのこどもに対する悩みや家庭教育全般について
- (5) 相談体制：家庭教育相談員が対応
- (6) 相談件数：19件(電話相談16件、メール相談3件)

[成果]

- ・相談者の悩みに対し、寄り添いながら冷静に対応することができた。
- ・家庭教育関連の相談機関との情報交換を行ったことで、より連携しやすくなった。
- ・講師を招いて研修会を実施したことで、より専門的な知識を得ることができ、相談員の資質向上につながる研修会となった。

[課題]

- ・相談内容が複雑化・深刻化しているため、より相談員の資質向上の研修や専門機関への接続等が求められる。
- ・「あおもり子育てネット」の周知活動が必要である。

あおもり家庭教育力向上事業 729千円

[事業目的及び概要]

地域における家庭教育支援体制を整備するため、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催し、子育てを応援する人材を育成・活用する。

[事業内容及び結果]

- (1) あおもり家庭教育アドバイザー養成講座
 - ア 場所：県内2地区(西北地区/三八地区)
 - イ 定員：各30名
 - ウ 対象：家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、市町村の家庭教育担当者等
 - エ 内容：今日的な家庭教育支援の現状について、講義・演習形式で学ぶ。

回	期 日・地 区	内 容・講 師
1	6/12(木)・三八	オリエンテーション 講義「家庭教育支援者の役割・心構え」 特定非営利活動法人 十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子
	6/17(金)・西北	
2	7/10(木)・西北	講義「子どもの気持ちを理解するために」 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 差波 直樹 演習「あおもり親楽プログラムⅠ」 県総合社会教育センター 職 員
	7/16(水)・三八	
3	8/20(水)・三八	講義・演習 家庭教育支援チーム・子育て支援団体等見学 三八地区 特定非営利活動法人はちのへ未来ネット こどもはっち 代表 平間 恵美 西北地区 学校法人平田学園 認定こども園 育実幼稚園 理事長 平田 昌子
	8/27(水)・西北	
4	9/12(金)・西北	講義「気になる子どもの理解と対応」 青森県発達障がい者支援センターDoors センター長 分枝 篤史 演習「あおもり親楽プログラムⅡ」 県総合社会教育センター 職 員
	9/18(木)・三八	
5	10/15(水)・三八	講義「今、親が悩むこと～親子のコミュニケーション～」 岩手大学人文社会科学部 准教授 萩臺 美紀 演習「あおもり親楽プログラムⅢ」 県総合社会教育センター 職 員
	10/31(金)・西北	

7年度事業の実績

6	11/12(水)・三八	演習「あおもり親楽プログラムⅣ」 県総合社会教育センター 職員
	11/19(水)・西北	

実施地区	西北	三八
会場	つがる市生涯学習交流センター 松の館	八戸市総合教育センター
開催回数	全6回(6月～11月の月1回)	全6回(6月～11月の月1回)
受講者数	21名(のべ62名)	31名(のべ128名)
うち新規登録者数	9名	17名

(2) あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ研修

- ア 期日：9/28(日) 10:00～12:15
 イ 対象：あおもり家庭教育アドバイザー
 ウ 会場：県総合社会教育センター
 エ 内容：講義・演習

内容	講義 「青森県の家庭教育の現状と展望」 県総合社会教育センター教育活動支援課長
	演習Ⅰ あおもり親楽プログラムⅠ あおもり家庭教育アドバイザー
	演習Ⅱ あおもり親楽プログラムⅡ 県総合社会教育センター職員
受講者数	9名

(3) あおもり家庭教育アドバイザーの活用

- ア アドバイザー登録情報の管理
 イ アドバイザー派遣

派遣回数	14回
派遣のべ人数	のべ34名
主な派遣先	・青森県PTA研究大会西北五つ大会 ・蓬田村教育委員会(家庭教育学級) ・弘前市立船沢小学校 参観日(家庭教育学級) ・生涯学習フェア など

[成果]

- ・令和7年度の新規登録者数は26名であり、昨年度のおよそ2倍に増加した。
- ・アンケートから、講義内容についての満足度が高く、今後の活動に活かそうとする意識の醸成につながった。
- ・今年度派遣したアドバイザーの実人数は26人であり、そのうちの11人が初めての派遣となった。新たな人材の発掘につなげることができた。

[課題]

- ・より多くの家庭教育支援者へ講座案内が行き届くように、教育委員会の他、知事部局及び放課後児童クラブ等にも働きかけ、周知していく必要がある。
- ・アドバイザーの実践意欲を高めるために、登録後の活動の充実を図る必要がある。
- ・少人数から100人規模等の幅広い研修会への依頼があるため、よりアドバイザーの資質向上が求められる。

重点(1) 才 こどもの体験活動の充実

県立梵珠少年自然の家

県立梵珠少年自然の家主催事業 1,805 千円

(1) 看板事業

[事業目的及び概要]

小・中・義務教育学校の児童生徒の幅広い年代の「こども」を対象に、豊かな自然環境の中で行うキャンプ・野外炊事などの様々な自然体験活動を通して、基本的な生活習慣や仲間と協力しようとする態度を育てていく事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
9歳アドベンチャーキャンプ①～ひとりできるぞ～	7/12(土)～ 7/13(日)	小学 3年～4年、 義務教育学校 3年～4年の 児童	35名	野外活動(アドベンチャーゲームほか)、たき火体験(梵ファイヤー)野外炊事、思い出クラフト、館内シュラフ泊
夏のチャレンジキャンプ～山に！川に！真夏の挑戦2025～	8/7(木)～ 8/10(日)	小学5年～ 中学3年、 義務教育学校 5年～9年の 児童生徒	36名	野外活動(登山、ラフティング、梵ファイヤーほか)、施設見学(津軽ダムほか)、野外炊事、食材買い出し、思い出クラフト、館内泊
9歳アドベンチャーキャンプ②～ひとりできるぞ～	10/11(土)～ 10/12(日)	小学 3年～4年、 義務教育学校 3年～4年の 児童	36名	野外活動(アドベンチャーゲームほか)、たき火体験(梵ファイヤー)野外炊事、思い出クラフト、館内シュラフ泊
冬の3daysキャンプ～かまくら基地をつくって冬を楽しもう～	1/9(金)～ 1/11(日)	小学4年～ 中学2年、 義務教育学校 4年～8年の 児童生徒	30名	かまくら基地作り、野外活動(チューブそり、スノーシューハイク)、屋内活動(館内ビンゴゲーム)、炊事体験、思い出クラフト、館内泊
7歳わんぱくキャンプ～寒さに負けないぼんじゅキッズの冬遊び～	2/14(土)～ 2/15(日)	小学 1年～2年、 義務教育学校 1年～2年の 児童	24名	スノーランド作り・遊び、雪上ミニ運動会、炊事体験、思い出クラフト、館内泊

[成果]

- ・関係スタッフ(自然の家職員、ボランティアスタッフ、救護員、救護補助員)が連携し参加者の体調管理に当たったことで事故や怪我等もなく、天候等によるプログラムの変更はあったものの、概ね計画どおりの事業を実施することができた。
- ・昨年度の反省等を生かし、活動プログラムや内容などを見直した上で実施したことにより、参加者の満足度を高めることができた。

[課題]

- ・配慮が必要な参加者に対する共通理解が図れるように、職員やボランティアスタッフからの聞き取りを行い、ミーティング時に支援体制を確認する。
- ・9歳アドベンチャーキャンプについては、1泊2日の日程の中で困難な中にもある程度の達成感を得られるようなプログラム構成についても検討していく必要がある。

(2) 養成事業

[事業目的及び概要]

当施設利用団体の引率者や高校生・大学生などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー、講座等の開催を通して、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
施設利用団体事前打合せ研修	(全体会) 4/15(火) (個別研修会) 利用日の 14日前まで に実施	令和7年度 利用予定団 体の引率者	(全体会) 45名	(全体会) 講義、説明、活動プログラム体験 (野外活動、屋内活動、創作活動)
自然体験活動 ぼんじゅボランティア セミナー (1)入門(必修) (2)春を楽しむサン day (3)ファミリーS キャンプ (4)9歳アドベンチャーC① (5)ネイチャークラブ① (6)夏のチャレンジキャンプ (7)ネイチャークラブ② (8)9歳アドベンチャーC② (9)ぼんじゅフェスタ (10)ネイチャークラブ③ (11)クラフト day (12)ウィンタースクール (13)冬の3days キャンプ (14)ホワイト day (15)7歳わんぱくキャンプ (16)ふりかえり(任意)	実施日は各 事業を参照 (1) 5/10(土) (16)3/ 7(土)	高校生及び 大学生	(1) 60名 (2) 8名 (3) 5名 (4) 16名 (5) 4名 (6) 11名 (7) 4名 (8) 15名 (9) 16名 (10) 4名 (11) 6名 (12) 1名 (13)16名 (14) 8名 (15)13名 (16)24名	(1)の「ボランティア入門セミナー」は必修として受講した後、看板事業、親子事業、学習・生活習慣支援事業の全14事業の中から1つ以上を選択して受講する。なお、(16)の「ボランティアふりかえりセミナー」は任意参加とする。 セミナー受講者は、事業参加1日につき1単位を付与し、計7単位以上を取得した者は「マスターボランティア」、計30単位以上を取得した者は「レジェンドボランティア」として認定する。実践レポート提出にも1単位を付与する。 令和7年度 マスターボランティア 5名 レジェンドボランティア 1名
ぼんじゅ出前講座	通年実施 【各回即日】 ※直接指導は 11月～3月 のみ 通年、間接指 導に対応	小・中・義 務教育学 校、各種学 校、青少年 教育団体、 幼児施設等	2,750名	対象の団体が開催する各種行事(事業)において、直接指導又は間接指導を行う。 なお、派遣職員の旅費は無料とし、活動材料費や用具運搬費は団体の負担とする。

[成果]

- ・「施設利用団体事前打合せ研修」は、9割の参加者が研修会の内容に対し、満足した内容であったと回答しており、参加者は施設利用の仕方や活動プログラムについて理解を深め、日課表の作成や利用に関する手続き等を手順を追って理解することができた。
- ・「自然体験活動ぼんじゅボランティアセミナー」は、8割を超える登録学生が必修以外のセミナーに参加したことで、参加した学生は野外活動に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができた。
- ・「ぼんじゅ出前講座」では、親子レクやPTAが主催のイベント活動など、多くの人が参集する場面での利用が増えたことにより、昨年度並みの利用者数となった。

[課題]

・「自然体験活動ぼんじゅボランティアセミナー」では、登録者の学校での試験期間と事業日が重なることなどがあり、予定のボランティアスタッフ数に満たない事業もあったことから、別途、近隣の高等学校にボランティアを依頼するなど、対応策を検討しておく必要がある。

(3) 親子事業

[事業目的及び概要]

小・中・義務教育学校の児童生徒を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動などを通して、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

[事業内容]

事業名	期日	対象	参加者数	内容
春を楽しむサン day	4/26(土)	小・中・義務教育学校の児童生徒を含む保護者とその家族	77名 (21 家族)	野外活動(春の自然観察)、野外炊事(ホットサンド)、創作活動(ブンブンごま)
ファミリー スプリングキャンプ	5/24(土)～ 5/25(日)		66名 (20 家族)	テント設営、野外炊事(ダッチオープン・ホットサンドメーカー料理)、火起こし&たき火体験、野外活動(自然散策、ディスクゴルフ等)館内テント泊
自然体験 ぼんじゅフェスタ	10/26(日)		95名 (27 家族)	野外炊事体験(ダッチオープン、ホットサンド、南部せんべい焼き、棒パン焼きなど)、遊びリンピック、創作活動体験(本格リース作り、創作活動プログラム)、館内食体験、セルフカフェ
冬をいろどるクラフト day	12/6(土)		94名 (26 家族)	クラフト①「ミニ門松」、クラフト②「ぼんじゅ絵馬」、クラフト③「クリスマスきになる木」、クラフト④「バンブーランタン」から選択し、制作
冬を楽しむホワイトday	1/31(土)		41名 (10 家族)	野外活動①(ミニ雪灯籠作り、スノーシューハイキング、雪上ミニ運動会から選択)、館内食体験、野外活動②(チューブそり遊び、スノーランド遊びなど自由活動)

[成果]

- ・昨年度の反省等を生かし、活動プログラムや内容などを見直した上で実施したことにより、参加者の満足度を高めることができた。
- ・ボランティアスタッフが明るく親切に接してくれたことで、活動プログラムをとおして、親子の絆や仲間との交流を深める機会を提供することができた。

[課題]

- ・親子事業(5 事業)は、昨年度より参加者数が減少傾向だったため、リピーター参加者以外の新規参加者増に向けた周知活動について検討する。
- ・毎年リピートしてくれる参加者のためにも、新規のクラフトや活動プログラムの開発が必要不可欠である。

(4) 学習・生活習慣支援事業

[事業目的及び概要]

小・中・義務教育学校の児童生徒の「こども」を対象に、豊かな自然環境の中での体験活動を行いながら主体的に学んだり、規則正しい生活を送ったりする活動を通して、その後の学校・家庭生活に役立てていこうとする基礎的態度を育てていく事業である。

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
ぼんじゅネイチャー クラブ	① 7/26(土) ② 8/30(土) ③ 11/ 8(土)	小学 3年～6年、 義務教育学校 3年～6年の 児童	① 12名 ② 15名 ③ 12名	① 昆虫採集と観察 ② 水生生物の採集と観察 ③ 秋の自然観察、リース作り
ぼんじゅウィンター スクール	12/23(火)～ 12/25(木)	小学4年～ 中学2年、 義務教育学校 4年～8年の 児童生徒	15名	学習タイム、館内食、歯みがき タイム、自由研究(凝固点降下 実験、アイス作りなど)、野外 観察(フィールドワーク、雪の 結晶観察など)、リフレッシュ タイム、清掃活動、館内泊など

[成果]

- ・「ぼんじゅネイチャークラブ」は、参加者が直接、自然の中から学ぶ楽しさを実感できる事業内容を提供することを目的に、今年度は昨年度の年2回実施から3回に増やして実施したことで、参加者数が増加した。
- ・「ぼんじゅウィンタースクール」では、事業内容を見直し、野外観察や自由研究を取り入れたことが参加者からも好評であった。また、今年度も事業に対応する研修課職員をシフト制としたことにより、職員の負担軽減につなげることができた。

[課題]

- ・「ぼんじゅネイチャークラブ」は、参加者の参加意欲喚起のため、参加回数に応じた「ぼんじゅネイチャーマスター」(仮称)等の称号について検討する。
- ・実験要素のある内容が参加者から好評だったため、引き続き、調べ学習や野外観察等の活動も検討していく。

県立種差少年自然の家

県立種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、こどもの祭典) 1,793千円

[事業目的及び概要]

年長児・小・中・義務教育学校の児童生徒が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましいこどもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

〔事業内容〕

(1) 自然と遊ぼう

活動名	期 日	対 象	参加者数	内 容
たねさしワールド 「春を感じて」	5/11(日)	年長児・ 小・中・義 務教育学校 の児童生徒 とその保護 者	103名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」①②③④ ※4回開催	6/28(土)		129名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト、 磯遊び 他
	6/29(日)		133名	
	9/ 6(土)		124名	
	9/ 7(日)		98名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/19(日)	43名	秋の自然を楽しもう ・秋の森オリエンテーリング、 ニュースポーツ、松かさけん玉	
たねさしワールド 「冬の季節を感じ て」 ※2回開催	12/ 6(土)	53名	正月飾りをつくろう ・ミニ門松づくり	
	12/ 7(日)	65名		
たねさしワールド 「エンジョイ! 雪遊び」①② ※2回開催	1/31(土)	4歳以上の 幼保・小・ 中・義務教 育学校の児 童生徒とそ の保護者	119名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そりすべり、 南部せんべい焼き、たこ揚げ 他
	2/ 1(日)		117名	
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/21(土) ～22(日)	小・義務教 育学校 3年～4年	114名 (各日57名)	こどもだけでとまってみよう ・キャンドルスタンドづくり、夜のネイ チャーゲーム、ツリークライミング、 ラワンロケットづくり、ビンゴだ!ゲ ーム
	3/7(土) ～8(日)	小・義務教 育学校 1年～2年	118名 (各日59名)	

(2) こどもの祭典

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
おいでよ! サマーキャンプA	7/26(日) ～27(水)	小学5年～ 中学3年、 義務教育学 校5～9年	66名 (各日33名)	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・キャンプファイヤー ・海遊び(いかだ遊び、カニ釣り) ・火おこし体験
おいでよ! サマーキャンプB	8/9(土) ～10(日)		68名 (各日34名)	
わくわくどきどき ウインターキャン プ	12/24(水) ～26(金)		87名 (各日29名)	

〔成果〕

- ・「自然と遊ぼう」「こどもの祭典」の各事業において、前年度の参加者、職員、ボランティアのアンケートをもとに、活動プログラムや運営を見直して計画したので、種差の自然の中で年少児、大人、高齢者まで楽しめるものとなっている。
- ・特に、「エンジョイ!海遊び」「エンジョイ!雪遊び」の事業において、定員以上の応募があり、ふだん家庭ではできない活動に興味と関心をもっていることがうかがわれる。
- ・「こどもの祭典」の事業において、中学生やリピーターが多く参加したため、野外炊事等の各活動において、率先して班をまとめて実施しており、活気と協力関係が生まれ、交流の輪が深まった。

【課題】

- ・事業においては定員を下回るものもあり、このことは、学校関係等のイベントと重なっていること、活動内容に興味や関心がなかったことも考えられるので、開催予定日と活動内容を吟味することが必要である。
- ・「わくわくどきどき！ウインターキャンプ」では、クマの出没情報があったので、急きょ館内にテントを設置して安全確保をしたが、今後、熊等の有害動物の出没には十分留意し、安全確保に努めていきたい。
- ・「こども大作戦」の事業では、特別支援学級に入っている子、常備薬を服用している子、多動的な子などさまざまな子がおり、保護者との連絡を密にしながら、指導員や元養護教諭、ボランティアと情報共有をしながら活動を進めていかなければならない。

自然体験活動支援事業 126 千円

【事業目的及び概要】

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、こどもたちに自然体験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

【事業内容】

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10～3月	三八、上北管内の 小・中・義務教育 学校、児童館、公 民館、放課後児童 クラブ、青少年団 体や成人団体 等	181 団体 12,829名	・種差少年自然の家のプログラムの中 で出前対応可能なもの (せんべい焼き、フォトフレーム、ど んぐりアート、たねさし芝っこぞう、 たねさし万華鏡、ミニ門松 他)
自然体験活動 研修会	5/24(土) ～25(日)	幼保・小・中・義 務教育学校教員、 高校・大学生、児 童館など関係機関 の指導者、その他 自然体験活動に興 味のある方	48 名 (各日24名)	・レクリエーション ・砂鉄ストラップ ・ニュースポーツ ・ちょうちんづくり ・野外炊事 ・ランタンづくり ・避難、救助訓練 ・AED操作法

【成果】

- ・自然体験活動出前講座では、小学校を中心に保育園、幼稚園、特別支援学校、放課後児童クラブ、児童館、公民館など多岐にわたって依頼があり、団体数も増加している。
- ・主な活動プログラムでは、「せんべい焼き」「たねさしアロマアート」「たねさし万華鏡」「ミニしめ飾り」「ミニ門松」「ニュースポーツ」「昔遊び」など、各団体独自ではできない活動の依頼が多かった。
- ・自然体験活動研修会では、在学少年宿泊指導者研修に参加できなかった教員、中堅教諭資質向上研修の受講者の参加があり、学校や学級でも活用できる体験活動など、学びのある充実した研修会となった。

【課題】

- ・自然体験出前講座は、土・日曜日、祝日に集中することが多く、調整をすることが多かった。
- ・ニュースポーツや昔遊び、活動プログラムの教材等の貸出しが増えてきており、今後とも周知していきたい。
- ・自然体験活動研修会の参加者は学校関係者が多いので、保育士や幼稚園の教諭、大学生等に広く呼びかけていきたい。

在学少年宿泊指導者研修**[事業目的及び概要]**

種差少年自然の家を利用する小・中学校・義務教育学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

- 期日：4/24(木)～25(金)
- 場所：種差少年自然の家
- 対象：56名の参加

[事業内容]

- 講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方
- 実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法
- 演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

[成果]

- ・今年度参加者数は56名で、学校事情により部分参加となったところもあったが、それぞれの事情等をふまえて丁寧に対応することができた。
- ・海活動での「いかだ遊び」「磯遊び」、地震や津波等における海岸での避難場所と経路などの確認ができた。
- ・館内で活動している際の地震や火災等における「避難訓練」を通して、避難の仕方や経路などの確認ができた。

[課題]

- ・参加者から「校内事情から1日行事にしてほしい。」との願いがあるものの、宿泊学習はこどもの健康・安全に関わる重大なことなので、了承を得るようにしたい。
- ・同一利用校同士の擦り合わせ等に時間がかかるので、指導員を増やして対応したい。
- ・宿泊学習の担当者が参加しない場合が多いので、参加できるように学校側をお願いしていきたい。

親子で学ぶ防災キャンプ事業 138千円**[事業目的及び概要]**

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中・義務教育学校の児童生徒とその家族及び小・中・義務教育学校の教員を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

事業名	期日	対象	参加者数	内容
親子の絆 「防災キャンプ」	9/27(土) ～28(日)	小・義務教育学校3年生以上と保護者、防災に関心のある方	86名 (各日43名)	親子キャンプで防災力、減災力を身に付けよう ・避難所体験 ・非常食の炊事体験 ・AED講習 ・防災グッズ作り 他

[成果]

- ・防災講話として、根城指導員(防災士)が「もしも避難所で生活することになったら」の演題の中で、東日本大震災や日本列島で地震が頻発した動画等を提示したため、より防災に関する知識・理解が深まった。
- ・「火おこし」の体験は、こどもはもとより保護者も夢中に取り組み大変好評であった。
- ・参加者のアンケートに、「避難所のイメージが具体的に分かる活動があって良かった。」などの感想があり、好評だった。

[課題]

- ・3年生以上の参加をよびかけているものの、家族の中には小さいお子さんもいるので、全員で楽しめる活動ができるように工夫していきたい。
- ・本施設の職員が防災士の資格をもつことにより、活動内容が深まると思われる。
- ・高齢者のいる家族の参加をよびかけ、避難行動などの実体験をさせていきたい。

重点(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成

県総合社会教育センター

パワフルAOMORI! 創造塾 581 千円

〔事業目的及び概要〕

地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こし、地域を担う人財を育成するとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的として、講義・演習や企画・運営をする事業である。

〔事業内容〕

(1) 講座内容

回	期日	内容
1	7/19 (土)	【開講式、オリエンテーション】 【講義・演習】 「地域活動って何?～そして自分の出来ること～」 講師 NPO法人 ACTY 理事長 株式会社ACプロモート 代表取締役 町田 直子
2	8/23 (土)	【フィールドワーク・演習】 「もったいないから未来をつくる」 講師 一般社団法人もったいない研究所 代表理事 岡 詩子
3	9/27 (土)	【講義・演習】 「『ついやってしまう』地域活動のつくりかた」 講師 わかる事務所 代表 玉樹 真一郎 【交流会】 「パワフル交流会」
4	10/18 (土)	【フィールドワーク・演習】 「理想と現実のギャップを乗り越えて見えるもの、そしてその先にあるもの」 講師 町田 直子
5	11/8 (土)	【演習】 「アクションプラン発表会に向けて」 【講義・演習】 「好きな場所で暮らす～今の活動を生業にするためのヒント～」 講師 株式会社 and more 代表取締役 久慈 美穂
6	12/6 (土)	【発表】 「アクションプラン発表会」 講師 町田 直子 【閉講式】

(2) 場所

県総合社会教育センター、TSURUTA LABO(第2回講座)、種差海岸(第4回講座)

(3) 参加者

塾生 16 名

内訳：(年代別) 10代2名、20代4名、30代3名、40代5名、50代1名、60代1名

(地域別) 東青地域5名、西北地域4名、中南地域3名、上北地域2名、下北地域1名、
三八地域1名

(職種別) 公務員3名、会社員・自営業6名、学生4名、地域おこし協力隊2名、
その他(主婦等)1名

[成果]

- ・幅広い年代、各地域、様々な職種の参加によって、地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こし、人材相互のネットワーク形成を促進することができた。
- ・講義・演習に加え、地域活動実践者と交流したり、活動に参加したりするフィールドワーク(地域活動の現場訪問)を行うことによって、地域活動に多様な側面から関わる人財を育成することができた。

[課題]

- ・アクションプラン作成に向けて内省したり相談したりする時間が不足していたため、時間配分や事業設計を見直す必要がある。
- ・一方的な講義の時間が多く、塾生と講師で対話する時間が不足していたため、双方向から多様な意見や知識の共有を行う場の設定が必要である。

社会教育プレ団体サポート事業

[事業目的及び概要]

若者の自主的、主体的な社会参加活動を促進することを目的として、社会参加活動を行うに当たり、支援を要する若者主体の「社会教育プレ団体」として認定し、活動を支援することにより、団体の自立的、持続的活動につなげる事業である。

[事業内容]

(1)活動の支援

	事業内容	支援回数
ア	団体の認定	1 (学生団体 レスタ)
イ	青森県総合社会教育センター(以下「センターという。’)条例別表に掲げる施設を使用する場合の使用料の減免	1
ウ	団体が事業等を開催する場合の、当センターの協力名義の使用承認	2
エ	センター関連事業(生涯学習フェア等)における発表機会の提供	0
オ	センターの各種媒体による広報	0
カ	センター職員(社会教育主事等)による指導・助言	0
キ	センターが主宰する研修講座、事業等の情報提供	0
ク	認定団体による情報交換・交流会の開催	0

[成果]

- ・社会教育プレ団体として認定した団体について、当センターが支援した活動においては、滞りなく実施された。申請書類等の不備や提出日の遅れは見られたが、指導後は早急に提出された。

[課題]

- ・認定した団体が1団体と少なかったため、支援を要する若者主体の社会教育団体や人材の情報を収集しつつ、当事業参加へのアピールを強めていく必要がある。

重点(2) イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成

県生涯学習課

若者の社会参加促進事業 688 千円

[事業目的及び概要]

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、ボランティア・就労体験や自然体験活動を実施する事業である。

[事業内容]

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を、種差少年自然の家と

梵珠少年自然の家にて実施した。

(1) 自然体験・交流塾

ア 第1回【体験活動を通じた交流会】

- 期日：[梵珠会場] 7/5(土) 9名 [種差会場] 7/19(土) 30名
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：野外炊事、創作活動 等

イ 第2回【自然体験活動】

- 期日：[梵珠会場] 9/6(土) 開催中止 [種差会場] 9/20(土) 29名
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：自然体験活動、創作活動 等

ウ 第3回【ボランティア・就労体験】

- 期日：[梵珠会場] 1/24(土) 2名 [種差会場] 2/14(土) 20名
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：ボランティア・就労体験、創作活動 等

(2) 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

会場ごとに、第1回自然体験・交流塾開催前と第3回自然体験・交流塾終了後、支援団体等により参加者の情報共有をするとともに、成果と課題、活動内容等について話し合う。

【成果】

- ・参加者同士やボランティアとの交流を通じて、参加者の前向きな気持ちが引き出され、参加後に生活や進学や就労に良い変化につながった参加者が多かった。
- ・協力団体やボランティア、自然の家と適切に情報交換を行うことにより、本事業に対する理解や支援体制の強化が図られた。

【課題】

- ・本事業による支援が必要な県民に一人でも多く参加してもらうために、新規協力団体を開拓し、本事業の良さを直接周知していく必要がある。

県総合社会教育センター

青森で生きる未来人財育成事業(高校生地域活動促進事業) 657千円

【事業目的及び概要】

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的として、高校生を県内各地で行われる地域活動に派遣する事業である。

【事業内容及び結果】

(1) オンライン講座の実施

異年齢交流等の多様な体験活動実施のため、様々なボランティア活動について扱う講座を実施。なお、講義は事前収録し、オンライン配信する。

	内容・講師
1	テーマ：「ボランティア活動」 日本赤十字社青森県支部 事業推進課 主事 岩井 雄太郎
2	テーマ：「ボランティア活動の実際」 弘前大学人文社会科学部 教授 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター長 李 永俊

(2) 対面講座の実施

高校生同士のネットワーク形成や地域における実践活動の体験のため、当該地区及び近隣地区の高校生を対象に、県内3地区において講座を実施。2年で全6地区を一巡する。

	実施日時	場所	内容・講師	受講者数
1	7/13(日) 10:00~12:00	五所川原市 地域福祉セ ンター	テーマ：「子育て支援ボランティア」 Family cafe あづま〜る 代表 藤林 秀	11名
2	7/19(土) 10:00~12:00	弘前市運動 公園陸上競 技場	テーマ：「スポーツボランティア」 株式会社ブランデュー弘前 代表取締役 西澤 雄貴	7名

3	7/26(土) 10:00~12:00	コミュニティカ フェ ハピたのかふえ	テーマ:「地域とともにほぐくむボランティア活動」 十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子	8名
---	------------------------	--------------------------	--	----

(3) 地域活動への派遣

ア 対象: 市町村及びボランティア団体等

イ 内容: 多様な地域活動(学習支援、レクリエーション、イベント補助、異年齢交流等の体験活動等)

ウ ボランティア名簿登録者数及び主な派遣先

(令和7年度登録者の居住地)

[単位:名]

青森市	五所川原市	つがる市	鶴田町	弘前市	平川市	黒石市
15	6	2	1	10	1	1
十和田市	三沢市	六戸町	七戸町	むつ市	八戸市	五戸町
5	3	2	1	4	6	1
おいらせ町	岩手県二戸市	〔計 16 市町村〕				
1	1					

団体名	活動名及び活動内容	回数/人数
平川市教育委員会	平川市こっこつ教室/小中学生への学習支援	1/1
弘前市教育委員会 弘前市立中央公民館	外国人留学生から直接聞ける世界のおはなし/会場設営・撤去、運営補助	1/1
十和田市健康福祉部 生活福祉課	医療的ケア児交流会 とわだステップ/ステージ発表やブースの運営補助	1/1
NPO法人子どもネットワーク・すてっぷ	2025年すてっぷ子ども教室/小学生の活動支援	1/1
青森スポーツクリエイション株式会社	青森ワッツホームゲーム/会場設営・撤去、競技運営	3/4
株式会社ラインメール青森フットボールクラブ	ラインメール青森ホームゲーム/会場設営・撤去、競技運営	2/3
株式会社ブランデュー弘前	ブランデュー弘前ホームゲーム/会場設営・撤去、競技運営	1/1

[成果]

- ・ これまでは地域活動への派遣に係る条件として、講座の受講を位置付けていたが、条件を撤廃し、名簿への登録により、オンライン講座や対面講座の受講、地域活動への派遣のすべてを可能にしたことで、新規登録者数が前年度より14名増加した。
- ・ 対面講座の実施により、講義の受講と同時に実践活動を体験できる機会を提供できた。また、職員と受講者、及び受講者同士のつながりができ、その後の地域活動への参加につなげることができた。対面講座及び地域活動への参加者はのべ38名で、前年度より13名の増加につながった。

[課題]

- ・ 高校生の講座受講には保護者の送迎が必要となる場合も多いため、県が会場までの移動手段を手配する等、今後も検討が必要である。
- ・ 新たな地域活動受入団体が増えたものの、提供できる活動数や内容に地域差があったため、各市町村教育委員会やNPO活動支援担当課等との連携を深めるとともに、ネットワークの拡大を目指す必要がある。

重点(3) 人生 100 年時代の学び直しや生涯学習の推進

ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進

県総合社会教育センター

あおもり県民カレッジ運営業務

[事業目的及び概要]

あおもり県民カレッジは、県民一人一人の主体的な学習と社会参加の推進を目指す体系的・継続的な学習支援システムである。その趣旨を踏まえ、学生に対するきめ細かな対応及び連携機関との緊密な連携など適切な運営を行う。また、イベントの開催や情報誌による普及啓発を行うとともに、学習相談・学習情報提供、学習機会の提供、ボランティア活動支援等を行う。

なお、カレッジ運営に当たっては、SDG s の各目標を意識した学習活動とするための働きかけを行う。

[事業内容及び結果]

(1) あおもり県民カレッジの運営全般

ア 学生募集

(ア) ポスター、チラシ(入学申込書)による募集

※募集チラシを更新、子どもカレッジコースの募集チラシを新たに作成し、各学校等に配布

(イ) イベント時にあおもり県民カレッジ(子どもカレッジ)コーナーを設置

(ウ) 各種講座・映画鑑賞会等の開催時に周知

(エ) 生涯学習情報誌「てのひら」、ホームページ等による周知

イ 学生対応

(ア) 入学受付(随時)

(イ) 学生数 28,818 名(新規 805 名)

教養学習コース 26,587 名

子どもカレッジコース 2,231 名

(ウ) 単位認定サービス

認定証交付件数 183 件(教養学習コース 124 件、子どもカレッジコース 59 件)

奨励賞交付件数 34 件(教養学習コース 21 件、子どもカレッジコース 13 件)

ウ 学友会活動支援(中南地区及び三八地区)

エ あおもり県民カレッジ連携機関との連携・協力

(ア) 連携機関数：281 機関(体験施設 58 か所を含む)

(イ) 連携機関連絡会議の開催

県民の生涯学習活動と社会参加活動の活性化に向け、6 地区であおもり県民カレッジ連携機関の会議を開催し、地域キャンパス講座、生涯学習フェア、ボランティア活動支援等について意見交換するとともに、連携機関を含めた出席者相互の情報共有の場とする。

地区	日時(令和 7 年)	会場	参加機関数
東青	5 月 12 日(月) 13:30~15:30	県総合社会教育センター2 階第 6 研修室	31
西北	5 月 8 日(木) 13:30~15:30	五所川原合同庁舎 1 階 C 会議室	7
中南	5 月 13 日(火) 13:30~15:30	弘前合同庁舎本館 2 階会議室	11
上北	5 月 14 日(水) 13:30~15:30	上北教育事務所 1 階大会議室	14
下北	5 月 23 日(金) 13:30~15:30	むつ合同庁舎中会議室	7
三八	5 月 15 日(木) 13:30~15:30	八戸合同庁舎 1 階第 2 会議室	14

(ウ) 教育事務所訪問により、あおもり県民カレッジの各地区の状況を説明

(2) 普及啓発事業

ア 生涯学習フェアの開催(9/27(土))

参加者：553 名

主な内容 オープニング

チームスマイルキューティーによる「青の煌めきダンス」
 あおもり県民カレッジ公開授業「学ぶことの楽しさ」
 鳴海 敏之(みちのくエンカレッジの会)／高木 まゆみ(株式会社また旅クラブ)
 ／氣仙 透(むつ市教育委員会指導主事／太田 寛人(青森明の星中学校1年)
 あおもり県民カレッジ認定証交付式
 記念講演「自己実現をかなえるためには」講師：白戸 且実(宗教法人弘法寺副住職)
 学びと体験のひろば(ものづくり体験)
 古本・絵本交換会
 食彩ひろば

イ こども向けイベント

冬のこどもまなびフェスタの開催(2/21(土))

参加者：350名

主な内容 「みんなが先生！」ゼミナール(11組)

SDGs(おもちゃ病院／絵本・児童書交換会)

体験・遊び(中学生と学んで遊ぼう／子どもカレッジの部屋 他)

ウ 県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の作成・発行(年4回)

エ 映画鑑賞会開催(隔月)

オ ホームページ、Facebook、Instagramによる情報提供

(3) 学習相談・学習情報提供事業

ア 学習相談の実施

窓口、電話、FAX、郵便、メール等による学習相談の受付 相談件数：66件

イ 学習機会情報の収集及び提供

青森県学習情報提供サイト(ありすネット)への学習情報の登録 登録件数：2,089件

ウ マスメディア活用による情報提供

テレビ、ラジオ、新聞を通して、講座、イベント情報や展示内容について告知

(4) 学習機会提供事業

ア 地域キャンパス講座(県内6地区)の開催

開催数：計44回(東青6回、西北13回、中南7回、上北6回、下北6回、三八6回)

受講者数：延べ1,615名

(5) 社会参加活動支援

ア ボランティア講師による自主講座の開催講座数：44講座

受講者数：延べ391名

講師登録者数：137名

イ まなびサポーター(各種講座やイベントにおける運営ボランティア)の登録・活動奨励

登録者数：39名(内高校生17名)

延べ活動者数：67名

ウ イベント時における高校生・中学生ボランティアの活動奨励

延べ活動者数：52名

ボランティア活動証明書の発行

[成果]

- ・県民カレッジについては、イベントや主催講座等を通じて周知と啓発を図った。
- ・県民カレッジの入学、単位認定手続きについて、メールによる単位認定申請者がみられるようになった。
- ・学習機会提供事業では、地域キャンパス講座、ボランティア講師による自主講座等の開催数、受講者数が、コロナ禍による落ち込みから回復傾向にある。

[課題]

- ・県民カレッジの単位認定者数(実数)を増やすよう、メールに加えてスマホでの手続きができるようシステムを整え、入学、単位認定申請がしやすい方法を工夫していく。
- ・地域キャンパス講座、自主事業等については、社会的ニーズを踏まえた内容としていく。

県立図書館

近代文学館 特別展開催事業 1,615 千円

〔事業目的及び概要〕

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに沿った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

(1) 名称：特別展「棟方志功と青森の文人たち」

(2) 会期：7/19(土)～10/19(日)

(3) 内容：展示、特別展イベントを実施する。

ア 展示：令和7年に没後50年を迎えた棟方志功は、「板画家」としての原点が文学にあり、文人たちとの関わりも広がった。棟方志功と青森の文人たちとの交流に由来する資料を展示し、「世界のムナカタ」と青森の文学の関わりについて紹介した。

展示資料数：303点

イ 特別展イベント：

特別展に関心をもってもらうことを目的として、イベントを開催。

○石井頼子氏講演会「言霊の人 棟方志功～文学者たちとの交流～」

内容：棟方志功研究家の石井頼子氏(棟方志功令孫)が、棟方志功と文学との関わりについて講演。

日時：7/21(月・祝)14:00～15:30

場所：県立図書館集会室

〔成果〕

・文章を中心に、書簡、原稿、書画、写真、図書雑誌(装幀本等)など、関連資料を幅広く展示し、県内外の棟方志功ファンをはじめ、幅広い年齢層の来館につながった。

〔課題〕

・県内各地の幅広い世代の来館が定着するよう、魅力あるテーマの設定やイベントの計画を継続する必要がある。

近代文学館 企画展開催事業 627 千円

〔事業目的及び概要〕

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を中心に展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

(1) 名称：企画展「作家とどうぶつ」

(2) 会期：12/6(土)～3/22(日)

(3) 内容：展示、企画展イベントを実施する。

ア 展示：青森県ゆかりの作家にまつわる動物(犬・猫・馬など)についてのエピソードや文学作品などについて紹介した。

展示資料数：232点

イ 企画展イベント：

企画展に関心をもってもらうことを目的として、イベントを開催。

○あおもりどうぶつ写真展

内容：「あおもり×どうぶつ」をテーマに、青森の高校生たちが撮った写真を展示。

日時：企画展開催期間常時

場所：近代文学館展示ギャラリー(企画展示室横)

○動物愛護写真展

内容：青森県動物愛護センターの保護犬・保護猫の写真及び動物愛護を啓発するパネルを展示。

日時：企画展開催期間常時

場所：企画展示室内

○あおもり文学ゼミ

内容：出品資料や展示内容について詳細に解説。

日時：12/21(日)14:00～15:30

場所：県立図書館研修室

[成果]

- ・こどもからお年寄りまで楽しめるよう、動物の写真など目で見て楽しめる資料を数多く展示し、来館者の好評を得た。

[課題]

- ・県内各地の幅広い世代の来館が定着するよう、魅力あるテーマの設定やイベントの計画を継続する必要がある。

重点(3) イ 県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進

県総合社会教育センター

ボランティア担当職員研修講座 56 千円

[事業目的及び概要]

ボランティア担当職員、実践活動者等の資質の向上を目的とした研修講座を開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す事業である。

[事業内容及び結果]

- (1) 期日：7/4(金) 13:00～15:30
- (2) 場所：県総合社会教育センター
- (3) 対象：市町村の教育委員会及び首長部局職員、NPOやボランティア関係団体、市町村社会福祉協議会職員、ボランティアに関心のある一般県民等
- (4) 受講者数：会場受講 30 名、オンライン受講 110 名、アーカイブ受講 20 名 計 160 名
- (5) 事業内容
 - ア 講義：「この地域が大好き！～先人から今、そして未来へ想いをつなぐ～」
講師：青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科保育専攻 准教授 棟方 梢
 - イ 事例発表：ボランティア書道教室俊文書道会 代表・青森県立弘前豊学校 校長 西里 俊文
日本赤十字社青森県支部 事業推進課 主事 岩井 雄太郎

[成果]

- ・アンケート記述から、「活動の入り口、きっかけ作りを提供していけるよう工夫したい。」「できる範囲で、地域ボランティア活動に参加していきたいと思う。」等、参加者の満足度の高さや意欲向上がうかがえた。
- ・青森県社会福祉協議会と共同開催し、ハイブリッド型の受講形態で実施したことにより、県内各地にサテライト会場ができ、広域学習ができた。

[課題]

- ・受講者の所属に偏りがあるため、各市町村教育委員会及びNPO活動支援担当課と連携し、NPOやボランティア関係団体等の多岐に渡る所属の方々にも参加を促す必要がある。
- ・サテライト会場ごとにオンラインの受信環境を整えて受講していただけるよう、システムの設定方法や受講中の留意点等について、事前に説明する必要がある。

重点(3) ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の推進

県生涯学習課

特別支援学校における障がいに関する理解促進事業 1,452 千円

[事業目的及び概要]

県立特別支援学校において、障がいのある児童・生徒を有する父母等が、こどもの健やかな成長のために、障がい児(者)の心理や行動について理解を深めたり、家庭における教育や卒業後の就労などにつ

いて必要な知識を習得したりするほか、県民を対象に特別支援学校の有する専門性を生かした公開講座を実施し、障がいに関する理解促進を図るための取組を行う。

【事業内容】

(1) 理解促進のための研修会

学校名	回数	時間	参加者数	主な内容			
県立青森第一養護学校	3	7	35名	パン作り体験、給食試食会、事業所見学			
県立青森第二養護学校	3	6	23名	こぎん刺し教室、防災教室、談話会			
県立青森若葉養護学校	2	4	27名	事業所見学、体験活動「災害に備える」			
県立青森第一高等養護学校	2	4	77名	福祉に関する学習会「障がい福祉サービスの利用等について」、保護者交流「めいせい祭を楽しもう」			
県立青森第二高等養護学校	4	9	59名	ガーデニング、メイク教室、二高養祭企画・準備・実施、ジュートバッグ作り			
県立盲学校	5	12	18名	地域の清掃活動、理療部について、進路指導講話、学校祭参加、栽培活動(幼児との交流)、点字ブロック理解啓発活動			
県立浪岡養護学校	6	13	160名	運動会参加、学習会「セラピー犬のお仕事」、「楽しい時間を『つくる』」、浪養祭「PTA展示」			
県立弘前第一養護学校	2	6	55名	施設・職場見学会(卒業後の進路先見学)、ひろいちカルチャー(クリスマススワッグ作り)			
県立弘前第二養護学校	4	9	71名	救命講習会、親子音楽鑑賞、保護者福祉施設見学、進路講演会			
県立弘前聾学校	6	15	91名	職場・施設見学、地域交流、親子レクリエーション、ドローンプログラミング体験、フラダンス体験、お口の成長と身体のつながり			
県立八戸第一養護学校	3	9	39名	合同研修会「美術館の作家さんと出会う」「地域で生涯を通じて共に学び、生きるということ」、療養介護等施設見学、珈琲入れ方講座			
県立八戸盲学校	6	12	21名	保護者交流会(学校行事への協力、ホヤランプ作り、扇風機拭き)、盲導犬ふれあい体験会、防災体験研修			
県立八戸聾学校	5	5	36名	盲聾合同PTA奉仕作業(運動会装飾、扇風機清掃)、防災について			
県立森田養護学校	2	8	21名	こけだま作り、森養祭に向けての活動			
県立黒石養護学校	3	4	18名	研修会(ヨガ教室、コサージュづくり)			
県立七戸養護学校	2	8	23名	福祉施設見学会、そば作り講習会			
県立むつ養護学校	4	9	130名	グラウンドの石拾い、園芸教室、レクリエーション教室、父母学習会(食のひろがり)			
県立八戸高等支援学校	4	12	95名	進路学習会「就労継続支援B型事業所・生活介護事業所について」「一般就労・就労継続支援A型事業所への就労について」「八戸東洋水産株式会社の障がい者雇用について」「企業見学会」保護者勉強会			
合計	延べ回数	66回	延べ時間	152時間	参加者数	合計	999名

(2) 公開講座

学校名	期間	日数 (回数)	内 容	参加者数
県立盲学校	9月	1回	体験学習「歩行体験をしよう」	8名

[成果]

- ・参加した父母等が家庭における教育や卒業後に見通しがもてるようになった。
- ・参加した保護者同士の横のつながりができている。
- ・行政機関や障害福祉サービス事業所等、学校外の多様な主体と連携しながら実施することができた。

[課題]

- ・障がい理解を深める父母対象の研修と県民対象の公開講座が、県民にも広がることを期待したい。

障がい者の生涯学習支援事業	1,132千円
----------------------	----------------

[事業目的及び概要]

特別支援学校卒業生の自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障がい者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

[事業内容]

(1) 社会参加学習

学校名	回数	時間	参加者数	主な内容		
県立青森第二養護学校	5	12	207名	運動会参加、レクリエーション、ボウリング教室、スポーツ体験、会報の発行		
県立青森若葉養護学校	2	4	20名	「ボウリング」、「障がい者スポーツ体験」(入級生、職員、地域の方との交流)		
県立青森第一高等養護学校	2	4.5	101名	スポーツ体験活動「ボッチャ」交流「めいせい祭を楽しもう」(在校生、卒業生、保護者、職員との交流)		
県立青森第二高等養護学校	3	14	221名	地域ブロック活動(情報交換、親睦会、レクリエーション)、学校祭参加(情報交換、展示及び模擬店見学、作業体験)、同窓生の集い(レクリエーション)		
県立盲学校	1	4	2名	学校祭参加(発表の観賞、運営の手伝い)		
県立浪岡養護学校	3	6	17名	運動会、同窓会、二十歳を祝う会		
県立弘前第一養護学校	3	8	90名	ひまわりの会総会参加(親睦)、レクリエーション(ニュースポーツ)、高等部祭参観(会員相互の親睦及び将来の会員との交流)		
県立弘前第二養護学校	1	2	24名	ハーバリウム教室		
県立八戸第一養護学校	2	6	79名	夏を楽しむ会&20才を祝う会、ボウリング大会		
県立八戸第二養護学校	1	2.5	109名	卒業生スポーツ交流		
県立八戸盲学校	2	8	15名	スポーツ体験、箏教室		
県立森田養護学校	3	12	83名	スポーツ交流、音楽鑑賞会、二十歳のお祝い		
県立黒石養護学校	3	9	73名	レクリエーションスポーツ&ゲーム、映画鑑賞会、学習発表会鑑賞・懇談・交流		
県立七戸養護学校	3	10	90名	二十歳を祝う会、レクリエーション		
県立むつ養護学校	4	10	382名	交流会、卒業生のお知らせ、卒業生スポーツ交流会		
県立八戸高等支援学校	1	4	120名	同窓会		
合計	延べ回数	39回	延べ時間	116時間	参加者数合計	1,633名

(2) スポーツ体験交流

実施日	開催場所	参加者数	内容
7/6(日)	県立森田養護学校	30名	卓球バレー
7/6(日)	県立黒石養護学校	32名	レクリエーションスポーツ
7/27(日)	県立青森第一高等養護学校	30名	ボッチャ教室
10/19(日)	県立弘前第一養護学校	35名	レクリエーション
11/1(土)	県立青森若葉養護学校	20名	ニュースポーツ教室
12/13(土)	県立青森第二養護学校	30名	レクリエーション
合計	開催回数 6回	参加者数合計	177名

[成果]

- ・多様な学習やスポーツを通じ、卒業生が他者と交流する機会を提供できた。
- ・また、卒業後の運動機会の創出が、参加者全員にとって豊かな学びとなった。

[課題]

- ・多様なニーズに対応できる活動内容の選定をするため、事前アンケート等の実施が必要。
- ・新規の参加者確保のため事前周知の工夫等が必要であるが、学校に業務負担をかけずにできる方法を考える必要がある。

県総合社会教育センター

学習情報の収集・提供事業 11,936千円

[事業目的及び概要]

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、一覧をインターネットにより県民へ提供するほか、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べるeラーニング教材の配信及び管理を行うとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する事業である。

[事業内容]

(1) 学習情報の収集・提供

4情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供。

- ・登録データ件数は計4,931件(学習機会情報2,090件、指導者人材情報65件、団体・サークル情報70件、視聴覚教材情報2,706件)
- ・ありすネットへのアクセス回数は計2,620回(学習機会情報1,054回、指導者人材情報425回、団体・サークル情報767回、視聴覚教材情報374回)

(2) インターネットによるeラーニング学習教材の配信

以下のeラーニング学習教材の配信及び管理。

- ア 元気青森人 PowerUp コンテンツ 92本(アクセス数431件)
- イ あおもり学インターネット講座 21本(アクセス数510件)
- ウ あおもり子育てネット 45本(アクセス数2,193件)

(3) サーバ・パソコン機器等維持管理

学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備。

[成果]

- ・県民の生涯学習活動を支援するため、学習情報提供サイト「ありすネット」を運用し、インターネットを通して広く県民へ様々な情報提供を行った。また、提供する情報に係る更新調査アンケートを実施した。
- ・eラーニング教材の配信による県民への学習機会の提供を行った。
- ・学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の維持管理を行い、実習環境を整備した。

[課題]

- ・県民のニーズに合った学習情報提供の在り方を検討していく必要がある。
- ・eラーニング学習教材が県民に活用されるよう、ターゲット層への周知に工夫が必要である。
- ・パソコン実習室のインターネット環境を維持するため、令和8年度に通信用機器の更新をする必要がある。

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 645 千円

〔事業目的及び概要〕

県内の視聴覚教育の振興発展に寄与するに当たり、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営し、映像資料の収集・保管、及び活用を図る。

〔事業内容〕

- (1) 社会教育及び県民の学習活動のための視聴覚資料の提供
- (2) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (3) 視聴覚教材の購入
- (4) 視聴覚教材のデジタル化業務
- (5) 保管されている映像資料の点検と台帳管理

〔成果〕

- ・視聴覚教材 DVD4 本購入
- ・過去に事業で作成したVHS 272 本、β 230 本をDVD化

〔課題〕

- ・引き続きデジタル化を進めるとともに活用方法について検討していく必要がある。

県立図書館

読書バリアフリー推進事業 1,256 千円

〔事業目的及び概要〕

視覚障がい等さまざまな障がいのある方が図書館をより利用しやすい環境に整備することを目的として、大活字本やデイジー図書等のアクセシブルな書籍の購入や読書バリアフリーのための機器・用具を整備する事業である。

〔事業内容〕

- ・読書バリアフリー推進に係るアクセシブルな書籍や機器・用具等の整備
- ・関係団体への情報提供

〔成果〕

- ・アクセシブルな書籍や機器を整備し、障がい者や高齢者が利用しやすい環境を整えた。
- ・各団体の担当者及び障がい当事者に対し、当館のバリアフリーサービスについての広報活動を行い、制度やサービス内容を知ってもらう機会をつくることのできた。

〔課題〕

- ・各種備品の耐用年数や経年劣化の度合い等を考慮し、計画的な更新が必要である。
- ・利用者が少ないことから、サービス内容を広く知ってもらうため、関係機関と連携し関連イベント等で当館のバリアフリーサービスに関する展示を行う等、積極的な広報活動が必要である。

アウトリーチサービス推進事業 428 千円

〔事業目的及び概要〕

障がいなどの事由により、図書館への来館が困難な方に対して、宅配便等による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・メール等により希望図書の申込みを受け、宅配便等を利用(費用は図書館が負担)して貸出・返却を行う。

〔成果〕

- ・県立図書館に直接来館することが難しい利用者に対して、求める資料情報を提供できた。
 - 登録者数：25 名(うち新規登録者数 4 名)
 - 貸出：件数 124 件/冊数 816 点

〔課題〕

- ・アウトリーチサービスによる貸出は県立図書館が所蔵する資料を対象としており、希望図書を所蔵していない場合の対応が課題である。

重点(4) 社会教育推進のための基盤整備

ア 社会教育推進体制の充実

県生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,073 千円

[事業目的及び概要]

生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律)の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制の整備を目的として、生涯学習推進本部等を運営する事業である。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議することを目的として、生涯学習審議会を運営する事業である。

[事業内容]

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 第17期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)

○諮問：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について

○審議事項：1 公民館等の社会教育施設におけるこどもたちの継続的な地域学習の推進について

：2 こどもたちの主体的な地域活動の促進について

：3 地域に根付いた持続可能な取組にするための仕組みづくりについて

○会議等：第3回審議会 5/26(月) 総合調査研究の結果報告、実地調査について

実地調査 7/11(金)～8/26(火) 県内11か所の調査

第4回審議会 9/25(木) 実地調査の結果報告・分析について、審議事項に係る答申骨子案(方向性)について

実地調査 10/16(木)、10/17(金) 県外2か所の調査

第5回審議会 1/22(木) 審議事項に係る答申骨子案(構成・記載内容)について

[成果・課題]

・審議事項について多角的な視点からの議論を通じて、実現可能性のある生涯学習・社会教育推進方策を具体的な提言として整理・まとめられるように調査、審議中である。

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 697 千円

[事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う事業である。

[事業内容]

○調査テーマ：こどもの学校以外における地域活動に関する実態調査

○調査対象：県内小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生

○顧問の委嘱：弘前大学教育学部 准教授 越村 康英

八戸学院大学地域経営学部 特任准教授 井上 丹

○報告書：関係機関に配布するほか、ホームページで公開

[成果]

・本県の「こどもの学校以外における地域活動」の基礎資料を収集することで、現状と課題を可視化できた。

[課題]

・調査結果の公表が年度後半になることで、現状や課題の活用が次年度以降になる。

青森県社会教育委員の会議の運営 134 千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育法第 17 条に基づき、県教育委員会に答申、建議を行うことを目的として、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行う事業である。

〔事業内容〕

第 37 期青森県社会教育委員の会議

○委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務

○任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)

○調査研究テーマ：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について

○会議等：第2回青森県社会教育委員の会議 11/28(金) 審議事項に係る答申骨子案(構成・記載内容)について

〔成果・課題〕

・審議事項について専門的な協議を通じて、改善方策や必要な方策を検討中である。

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 250 千円

〔事業目的及び概要〕

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔事業内容〕

(1) 市町村の社会教育行政調査

(2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査

(3) 「令和 7 年度青森県の社会教育行政」の作成配布(250 部作成)

〔成果〕

- ・「市町村の社会教育行政調査」及び「市町村の生涯学習推進体制等の状況調査」については、他機関で類似資料が公開されていることから、内容を精査の上、実績調査のみを実施した。
- ・「令和 7 年度青森県の社会教育行政」において、県や市町村の社会教育事業の概要・実績、社会教育行政の現状を取りまとめ、電子データでの配布を活用し、情報の管理・共有の効率化を図った。

〔課題〕

- ・社会教育施策の企画・立案に役立つ資料とするため、記載内容を整理し、方針や重点に基づく施策の目的や方向性を明確に示し、見やすく改善する必要がある。

重点(4) イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進

県総合社会教育センター

インフォメーションプラザありすの運営

〔事業目的及び概要〕

生涯学習に関する総合窓口として、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、逐次刊行物

〔事業内容及び結果〕

(1) 窓口対応時間 9:00～19:00

(2) 視聴覚教材貸出サービス

(3) ポスター、チラシの配架

(4) 学習成果の展示

ア 階段ギャラリー、コリドー展示室、2階展示ギャラリー「画伯のたまご」、ギャラリーありす、1階ロビー等を活用して、多様な作品を展示した。

イ 季節ごとの館内装飾と展示

〔成果〕

- ・インフォメーションプラザありす、ロビーのラーニングスペース、自主学习室、ほのぼのルームの各利用者数は、コロナ禍による落ち込みからやや回復傾向にある。個人の学習スペースとして定着してきているものと考えられる。

- ・展示スペースについては、所内各スペースの展示内容を区分し、それぞれに特徴ある作品を展示するようにしている。ギャラリーありすは、ボランティア講師による自主講座の講師や受講者の作品を展示するなど、学習成果を生かす場ともしている。また、1階ロビーに、青森県高等学校総合文化祭における優秀作品展示、統計グラフコンクール入賞作品展示など、時宜に応じた展示を行った。

[課題]

- ・引き続き適切な窓口対応、電話対応を心がけ、利用者数が増えるよう努める。
- ・定期的な展示替えにより来館者が楽しめる展示とする。

県立図書館

県立図書館資料整備 66,797 千円

[事業目的及び概要]

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。また、令和3年度からは非来館型サービスとして、電子書籍の閲覧ができる電子図書館システムを開始している。

[事業内容及び結果]

受入資料数(R7/4/1～R8/3/31)

区分	資料整備費	受入資料数
県立図書館	60,637 千円	20,105 冊
(うち電子書籍)	(5,280 千円)	(674 冊)
近代文学館	6,160 千円	10,046 冊
合計	66,797 千円	30,151 冊

電子書籍の利用(R7/4/1～R8/3/31)

合計閲覧数	5,996 件
-------	---------

[成果]

- ・購入及び寄贈による資料の受入は例年と同程度を維持している。電子図書館サービスは、開始した令和3年度から利用が増え続けている。

[課題]

- ・利用者アンケートにおいて、電子図書館サービスを知らない・利用したことがないという利用者が多かったことから、認知度の向上を図るためのイベントを実施し、サービスを周知する必要がある。

重点(4) ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上

県生涯学習課

社会教育主事有資格者育成派遣事業 643 千円

[事業目的及び概要]

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校・義務教育学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

[事業内容]

- 派遣研修：岩手大学社会教育主事講習
- 研修期間：7/14(月)～8/7(木)

[成果]

- ・派遣された教員や指導主事が社会教育主事講習を受講することで、地域や学校教育との橋渡し役としての専門性を身につけ、社会教育指導体制が段階的に強化されていく。

[課題]

- ・派遣人数が少なかったため、県内全域での社会教育主事の養成や指導体制の充実が十分に進んでいない。

生涯学習専門講座派遣事業 184 千円**[事業目的及び概要]**

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

[事業内容]

- 派遣先：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名：社会教育主事専門講座
- 研修期間：9/19(金)～9/25(木)
- 派遣人数：県生涯学習課 社会教育主事 1名

[成果]

- ・生涯学習振興に関する専門知識や実践力を向上させ、自らの職務においてその知見を活用することができた。

[課題]

- ・研修を受けた職員が個人の範囲でのスキル向上に留まり、組織内での共有が進まない場合がある。

社会教育主事等一般研修 163 千円**[事業目的及び概要]**

生涯学習審議会、総合社会教育センター及び教育事務所の社会教育担当者の資質向上と更なる連携及び情報の共有を図ることを目的として、県社会教育関係職員が一堂に会し、生涯学習・社会教育に係る学習や情報交換をする事業である。

[事業内容]

合同学習会を4回実施し、情報交換や事業立案を通して、社会教育担当者の資質向上と連携及び情報の共有を図っている。

- 日程等：第1回 4/22(火) 自己紹介、生涯学習・社会教育の基本、事業立案のための情報交換
- 第2回 7/31(木) 事業内容検討
- 第3回 9/16(火) 事業発表
- 第4回 12/17(水) 講義「生涯学習・社会教育の動向」「事業立案のポイント」
演習「事業・講座づくり」
講師 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
専門調査員 新木 圭彦

[成果]

- ・職員の知識習得やスキル向上が図られ、情報共有を通じてネットワークが形成されることで連携の基盤が構築された。

[課題]

- ・合同学習会終了後のフォローアップ体制が不足したことで、長期的なネットワーク形成や協力深化が進みにくかった。

県総合社会教育センター**生涯学習・社会教育関係職員研修講座 931 千円****[事業目的及び概要]**

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上とネットワーク形成を図るため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修及び地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得のための研修を実施する。

[事業内容]

(1) センター研修(会場：県総合社会教育センター、定員：各回 30 名程度)

【新任職員研修】

〈前期〉

開催日時	6/13(金) 10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義】 「いま、生涯学習・社会教育関係職員に求められること」 【演習】 「熟議」を体験してみよう ～発表しない、まとめない!? えっ!?～ 講師 秋田大学教育文化学部 非常勤講師 皆川 雅仁

〈後期〉

開催日時	2/19(木) 10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義・演習】 「学びを通じた地域づくり」 ～社会教育職員に期待される役割とは～ 講師 弘前大学教育学部 准教授 越村 康英

【選択研修】

〈第1回〉

開催日時	6/27(金) 10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義・演習】 「広報業務に係る SNS 活用の実際」 講師 ディーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子

〈第2回〉

開催日時	7/8(火) 10:00～15:00
受講形態	会場受講
内 容	【実践演習】 「オンライン会議・研修の実施方法」 講師 県総合社会教育センター 職員

〈第3回〉

開催日時	7/15(火) 10:00～15:00
受講形態	会場受講
内 容	【講義・演習】 「スマホ1つでOK! 動画作成講座」 ～基礎と実践まるわかり編～ 講師 エイチピーススタイリング 代表 高森 三樹

〈第4回〉

開催日時	8/29(金) 10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義】 「障がい者の生涯学習を支える自治体の役割」 講師 国立市公民館 館長補佐 社会教育主事 井口 啓太郎 【実践事例紹介・ワークショップ】 「障がい者の生涯学習」はじめの一歩 ～社会的包摂への一歩を踏み出すために～ 講師 秋田県生涯学習センター 副主幹(兼)学習事業チームリーダー 柏木 睦

〈第5回〉

開催日時	11/10(月) 10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義・演習】 「参加意欲を促すチラシの作り方」 講師 青森大学 客員教授 青森県立保健大学 非常勤講師・客員研究員 竹林 正樹

〈第6回〉

開催日時	12/3(水) 10:00～15:00
受講形態	会場受講
内 容	【実践演習】「ファシリテーター養成講座」初級編 講師 県総合社会教育センター 職員

【取組実績】

研修名	会場受講者(名)	アーカイブ(名)
新任職員研修前期	24	25
新任職員研修後期	11	28
選択研修第1回	13	24
選択研修第2回	10	
選択研修第3回	13	6
選択研修第4回	12	15
選択研修第5回	23	18
選択研修第6回	10	

【成果】

- 市町村職員のニーズに応じた研修講座を提供し、必要な知識やスキルの習得を支援した。また、テーマごとの動向や整理すべき考え方を研修内容に盛り込むことで、参加者が現状をより具体的に理解し、自身の課題として認識するきっかけを提供した。

【課題】

- 市町村職員のニーズに応じた研修内容の充実やテーマごとの動向及び整理すべき考え方を的確に研修内容に盛り込むことが求められる。

(2) 地区研修(各地区全て会場参集で開催、定員：30名程度)

	実施日時	場所	内容
東青	5/13(火) 13:00～ 15:00	県総合社会教育センター	【講義・演習】 「業務軽減につながるICTの利用について」 講師：ディーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子
西北	9/10(水) 13:30～ 16:10	日本海拠点館	【講義・演習】 「地域学校協働活動をリノベーションするCS」 ～CSと地域学校協働活動、ここからでしょ～ 講師：秋田大学教育文化学部 非常勤講師 皆川 雅仁
中南	7/23(水) 13:30～ 15:30	平川市文化センター	【講義・演習】 「社会教育委員としての役割について」 ～地域づくりを支える社会教育～ 講師：青森明の星短期大学 青森公立大学 北里大学 非常勤講師 渡部 靖之
上北	5/21(水) 13:00～ 16:15	おいらせ町 みなくる館	【講義・演習】 「まちづくりのファシリテーション技術」 講師：弘前大学大学院地域社会研究科 准教授 土井 良浩
下北	6/25(水) 13:30～ 16:00	下北文化会館	【講義・演習】 「もったいないから未来をつくる」 講師：一般社団法人もったいない研究所 代表理事 岡 詩子
三八	9/22(月) 13:30～ 15:40	五戸町立 公民館	【講義・演習】 「地域の次代を担う若者の育成」 講師：NPO法人ACTY 理事長 株式会社ACプロモート 代表取締役 町田 直子

【取組実績】

地区名	東青	西北	中南	上北	下北	三八
会場受講者(名)	24	28	26	60	10	28

【成果】

- ・地区研修を通じて地域のニーズや状況に基づいた研修内容を企画し、地域特性に応じた支援を提供した。

【課題】

- ・各地区の希望に基づき企画・立案しているものの、内容や対象がそれぞれ地区によって異なり、本来の趣旨を達せられない場合や、市町村の課題解決につながらないケースが散見される。

(3) 市町村等の取組への伴走型支援

ア 市町村等の取組をサポートするため、希望する市町村等にセンター職員を派遣し、市町村等の職員とともに課題解決に取り組む、伴走型の支援を行う。

イ 伴走型支援の方法等

- 募集開始：4月
- 職員派遣：随時(年間10回程度)
- 依頼方法：申込書提出
- 支援内容：当センターが実施する事業等のノウハウや専門職としての知見及び経験に基づいた、指導・助言・相談等を行う。
 - 〈例〉・事業の企画・立案についての相談
 - ・研修講座の講師選定に係る相談
 - ・コミュニティ・スクールにおける熟議(以下CS熟議)の指導・助言
 - ・オンライン配信機器接続の仕方についての指導・助言
 - ・研修会への職員派遣 等
- 支援方法：電話、メール、面談等により、相談内容を改めてヒアリングし、アドバイスや情報提供等を行う。

【取組実績】

- ・五戸町教育委員会：研修会講師選定及び研修会内容の指導・助言
- ・東北町教育委員会：コミュニティ・スクール立ち上げについての指導・助言
- ・おいらせ町教育委員会(2件)：研修会講師選定及び研修会内容の指導・助言
- ・弘前市教育委員会(3件)：研修会内容の相談及び当センター講師派遣
- ・青森市立葺町小学校：研修会講師選定
- ・教育庁文化財保護課：オンライン配信機器接続の仕方について(社セ大研修室)
- ・八戸市立城北小学校：CS熟議の指導・助言及び当センター講師派遣
- ・八戸市立吹上小学校：CS熟議の指導・助言及び当センター講師派遣
- ・つがる市教育委員会：研修会講師選定及び研修会内容の指導・助言
- ・大鰐町教育委員会：CS熟議の指導・助言及び当センター講師派遣
- ・黒石市教育委員会：研修会講師選定及び研修会内容の指導・助言

【成果】

- ・伴走型支援では14件の申し込みがあり、市町村からは専門的アドバイスや状況に応じた具体的な支援が求められている。申し込み件数は想定を上回ったことより、伴走型支援の必要性が判明した。

【課題】

- ・市町村の事業課題が多様化する中、専門家との連携が不可欠であることから、今後センターは、育成支援だけでなく市町村担当者と専門家をつなぐ橋渡し役として実効性のある事業展開を支える体制の整備を目指すとともに、職員の専門的な知識向上を図る必要がある。

県立図書館

市町村立図書館等職員研修事業 197千円

〔事業目的及び概要〕

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的として、各市町村立図書館等職員及び学校図書館の業務を担当する職員に対し、研修を実施する事業である。

〔事業内容〕

(1) 初任者研修

ア 開催日	6/11(水)～6/12(木)
イ 場所	県立図書館
ウ 対象	勤務経験が概ね2年以内の図書館・公民館等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員
エ 参加者	1日目：市町村立図書館等職員22名、学校図書館業務担当職員7名 2日目：市町村立図書館等職員16名、学校図書館業務担当職員4名
オ 内容	図書館の役割や基本的なサービス等を理解するための研修 「講話、関係法規、公共図書館の現状と課題・県立図書館の読書バリアフリーの取組、学校図書館の現状と課題、資料管理、児童サービス、グループワーク」

(2) 基本研修

ア 開催日	9/18(木)
イ 場所	県立図書館
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員54名、学校図書館業務担当職員13名、その他4名
オ 内容	テーマ「資料保存研修—本の修理を中心に—」
カ 講師	公益社団法人日本図書館協会 資料保存委員会 委員長 田崎 淳子 宮内庁書陵部 修復師 佐々木 紫乃

(3) 学校図書館支援研修

ア 開催日	10/29(水)
イ 場所	県総合学校教育センター
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員、教育行政関係者等
エ 参加者	市町村立図書館等職員27名、学校図書館業務担当職員10名、その他15名
オ 内容	テーマ「こどもたちの学びを支えるために私たちができること」

(4) ステップアップ研修

ア 開催日	11/26(木)
イ 場所	県立図書館
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員34名、学校図書館業務担当職員2名、その他1名
オ 内容	テーマ「図書館の危機管理—こったとぎ、どやせばいんだべ?—」
カ 講師	福島県白河市教育委員会事務局参事兼図書館長 中沢 孝之

〔成果〕

- ・各市町村において、より質の高い図書館サービスを住民に提供できるよう、また、学校図書館の利用が促進されるよう、図書館業務の基本的な知識や技術を幅広く涵養し、職員の資質向上を図ることができた。また、研修の中で行われた情報交換等により、他館の具体的な事例を共有し、職員同士の交流拡大とネットワーク強化につながった。

〔課題〕

- ・図書館業務の基本的な内容を習得する初任者向け研修、専門的・高度な知識・技術が求められる経験年数や役職等に応じた研修、社会の変化や新たな課題に対応した図書館サービスに必要な最新の知識等を習得する研修等、各館の図書館サービスの状況等や職員のキャリアに対応した研修内容やレベルの設定が課題である。また、講義だけでなく、演習等を含む実践的な研修やインターネット

を活用した研修等、手法や形態を含めた内容の充実が必要である。

重点(4) エ 社会教育関係団体等の活動の支援

県生涯学習課

在学青少年育成費補助事業 359 千円

[事業目的及び概要]

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

[事業内容]

東京青森県人会及び青森県高等学校校長協会が実施する高校生を対象とした講演会事業に助成する。

○内容：主に東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師に、高校生を対象とした講演会を開催する。

○実施場所：県内高等学校 6 校

(県立北斗高等学校、県立浪岡高等学校、県立鱒ヶ沢高等学校、県立五所川原高等学校、県立八戸商業高等学校、八戸工業大学第二高等学校)

[成果]

- ・本県にゆかりのある著名な講師による、職業観や人生観等をテーマとする講演は、高校生にとって、これから直面する様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくための多くの示唆を与える機会となっている。

[課題]

- ・来年度以降は 2 地区 4 校での開催となり、講演会の機会が減少するが、地域づくり政策課においても県内居住の方を講師とし、キャリア形成を目的とした講演会を実施しているため、連携を図る必要がある。

3 青少年教育施設の概要

(1) 少年自然の家の利用状況

令和8年3月31日現在

		梵珠少年自然の家				種差少年自然の家			
		利用団体数	比率	延利用人数	比率	利用団体数	比率	延利用人数	比率
対象別	幼稚園・保育園	23	11.1%	602	4.5%	39	5.5%	1,384	4.2%
	小学校	96	46.4%	7,052	52.1%	60	8.5%	5,346	16.4%
	中学校	7	3.4%	761	5.6%	28	4.0%	669	2.1%
	高等学校	1	0.5%	76	0.5%	17	2.4%	731	2.2%
	特別支援学校	2	1.0%	36	0.3%	2	0.3%	33	0.1%
	その他の学校	2	1.0%	63	0.5%	1	0.1%	144	0.4%
	青少年団体	18	8.7%	1,184	8.7%	296	41.9%	8,394	25.8%
	成人・その他	3	1.4%	153	1.1%	52	7.4%	971	3.0%
主催事業・支援事業・出前講座		55	26.5%	3,610	26.7%	212	30.0%	14,897	45.7%
計		207	100%	13,537	100%	707	100%	32,569	100%
宿泊日数別	1日研修	96	46.4%	4,583	33.9%	593	83.9%	22,868	70.2%
	1泊2日	106	51.2%	8,099	59.8%	94	13.3%	7,422	22.8%
	2泊3日	4	1.9%	663	4.9%	12	1.7%	1,272	3.9%
	3泊4日以上	1	0.5%	192	1.4%	8	1.1%	1,007	3.1%
計		207	100%	13,537	100%	707	100%	32,569	100%
宿泊月別	4月	8	3.9%	485	3.6%	55	7.8%	1,472	4.5%
	5月	12	5.8%	948	7.0%	49	6.9%	1,873	5.8%
	6月	38	18.4%	3,052	22.5%	57	8.1%	4,439	13.6%
	7月	34	16.4%	2,121	15.7%	73	10.3%	5,330	16.4%
	8月	9	4.3%	650	4.8%	46	6.5%	3,051	9.4%
	9月	28	13.5%	1,812	13.4%	58	8.2%	4,080	12.5%
	10月	22	10.6%	1,103	8.1%	75	10.6%	2,624	8.1%
	11月	16	7.7%	1,063	7.9%	77	10.9%	3,761	11.5%
	12月	7	3.4%	268	2.0%	50	7.1%	1,436	4.4%
	1月	12	5.8%	734	5.4%	55	7.8%	1,347	4.1%
	2月	18	8.7%	1,228	9.1%	48	6.8%	1,291	4.0%
	3月	3	1.5%	73	0.5%	64	9.1%	1,865	5.7%
計		207	100%	13,537	100%	707	100%	32,569	100%

7年度事業の実績

(2) 県立以外の主な青少年教育施設の概要

公立小川原湖青年の家	〒039-2402 上北郡東北町大字大浦字道の下104-6 TEL 0176-56-2393 FAX 0176-56-5042
------------	--

■令和8年度事業予定

事業名	期 日	対象・定員	内 容
友情のつどい ～春～	5/9(土)～10(日)	小学生 30名	季節を感じながら様々な活動を通してふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。
自然ふれあい トレッキング～春～	①5/19(火) ②5/21(木)	① 一般 30名 ② 一般 30名	春の自然に親しみながら、参加者相互の交流と親睦を深める。
刈払機取扱作業 安全衛生教育講習	5/29(金)	一般 100名	刈払機(草刈機)の取扱作業において、労働安全衛生法に基づき作業者の受講が必須となるため、講習会を開催する。
友情のつどい ～夏～	8/1(土)～2(日)	小学生 30名	季節を感じながら様々な活動を通してふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。
自然ふれあい トレッキング～秋～	①10/20(火) ②10/22(木)	① 一般 30名 ② 一般 30名	秋の自然に親しみながら、参加者相互の交流と親睦を深める。
友情のつどい ～冬～	2/6(土)～7(日)	小学生 30名	季節を感じながら様々な活動を通してふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。

■令和7年度事業実績

事業名	期 日	対象・参加者数	内 容
友情のつどい ～春～	5/10(土)～11(日)	小学生 34名	青年の家での様々な活動を通して、ふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。
自然ふれあい トレッキング～春～	①5/21(水) ②5/22(木)	① 一般 15名 ② 一般 19名	春の自然に親しみながら、参加者相互の交流と親睦を深める。
刈払機取扱作業 安全衛生教育講習	5/30(金)	一般 54名	刈払機(草刈機)の取扱作業において、労働安全衛生法に基づき作業者の受講が必須となるため、講習会を開催する。
自然ふれあい トレッキング～秋～	①10/21(火) ②10/22(水)	① 一般 22名 ② 一般 20名	秋の自然に親しみながら、参加者相互の交流と親睦を深める。
友情のつどい ～秋～	11/22(土)～23(日)	小学生 33名	青年の家での様々な活動を通して、ふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。
友情のつどい ～冬～	①2/ 7(土)～ 8(日) ②2/14(土)～15(日)	① 小学生 37名 ② 小学生 38名	冬の野外体験を通して、自然と人間の関わりについて考え、意欲的に未知のことごとに挑戦する勇気と意志を養う。

■令和8年度事業予定

事業名	期 日	対象・定員	内 容
岩木山さくらウォーク2026	4/29(水)	一般(親子) 100名	岩木山観光協会と連携し、桜並木道のオオヤマザクラを見学するウォーク体験会を行う。
パークゴルフ記録会	5月下旬 8月下旬	一般40名	経験や年齢を問わず、誰もが気軽に楽しめるパークゴルフ記録会を開催することで、参加者間の親睦を図る。
ジュニアクロスカントリースキー大会	12/27(日)～29(火)	小・中・高校生 100名	スキーシーズンのスタートとなるクロスカントリースキー大会として開催し、本県のスキー競技の普及・振興を図る。
冬キャンプにチャレンジ	12月～3月 (月1回)	一般(親子) 100名/回	岩木山の麓という自然環境を生かした冬ならではのキャンプ体験事業を実施する。

■令和7年度事業実績

事業名	期 日	対象・参加者数	内 容
岩木山さくらウォーク2025	4/29(火)	一般103名 子供 2名	岩木山観光協会と連携し、桜並木道のオオヤマザクラを見学するウォーク体験会を行い、参加者の健康増進の一助とした。
パークゴルフ記録会	8/28(木) 10/20(月)	一般31名 一般32名	参加者間の親睦と生涯スポーツの必要性や重要性の認識を深めることができた。
ジュニアクロスカントリースキー大会	12/27(土)～29(月)	小・中学生 133名	スキーシーズンのスタートとなる大会として開催し、クロスカントリースキーの競技力向上と普及・振興を図ることができた。
冬キャンプにチャレンジ	12/6(土)～12/7(日) 1/10(土)～1/12(月) 2/21(土)～2/23(月) 3/20(金)～3/22(日)	一般16名 一般27名 一般54名 一般31名	圧雪されたフリースペースでのキャンプというキャンパーのニーズに対応した冬ならではの体験事業を実施することができた。

■令和7年度事業実績

事業名	期 日	対象・参加者数	内 容
里山ふれあいウォッチング「春」	4/10(木)	大人 38 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
体感するジオパーク「春」	4/24(木)	大人 30 名	下北各所にあるジオパークを知り、体感する機会を提供する。
使用団体事前研修会①	4/30(水)	利用団体引率指導者 8 名	利用団体の引率者が、効果的に日程や活動プログラムを進めていくうえで必要となる知識・技能を習得してもらう機会とする。
ツリーイング体験	5/ 6(火)	家族 30 名	ツリーイングなどの自然体験を経験する機会を提供する。
健康づくり「春」	5/15(木)	大人 34 名	いつまでも健康で過ごすために、自分の体の状態を知り、食事や運動のバランスの大切さを感じてもらう機会とする。
黒森山登山「春」	5/23(金)	大人 23 名	新緑時の黒森山を登山し、自然とのふれあいを深める機会を提供する。
使用団体事前研修会②	5/30(金)	利用団体引率指導者 5 名	利用団体の引率者が、効果的に日程や活動プログラムを進めていくうえで必要となる知識・技能を習得してもらう機会とする。
ファミリーキャンプ	7/19(土) ～20(日)	家族 30 名	活動を通して家族のふれあいを深める機会を提供する。
冒険半島しもきた「夏」	8/ 8(金) ～11(月)	小中学生 36 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
体感するジオパーク「秋」	9/25(木)	大人 21 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
秋のイベント	10/ 4(土)	家族 44 名	体験活動を通して親子、参加者同士のふれあいを深める機会を提供する。
ふれあい開放day	10/11(土) ～12(日)	家族 95 名	施設を知ってもらう機会を提供する。
チャレンジ宿泊3年生	10/18(土) ～19(日)	小学3年生 24 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
健康づくり「秋」	10/30(木)	大人 24 名	いつまでも健康で過ごすために、自分の体の状態を知り、食事や運動のバランスの大切さを感じてもらう機会とする。
黒森山登山「秋」	11/ 7(金)	大人 8 名	紅葉時の黒森山を登山し、自然とのふれあいを深める機会を提供する。
里山ふれあいウォッチング「秋」	11/20(木)	大人 17 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
伝統体験としな作り	12/ 6(土)	家族 45 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験べこもち作り	12/20(土)	家族 23 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
冒険半島しもきた「冬」	1/ 9(金) ～11(日)	小中学生 22 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
冬のイベント	1/24(土)	家族 77 名	体験活動を通して親子、参加者同士のふれあいを深める機会を提供する。
里山ふれあいウォッチング「冬」	2/12(木)	大人 19 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
伝統体験そば打ち(大人)	2/21(土)	大人 15 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験そば打ち①	2/22(日)	家族 26 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験そば打ち②	2/23(月)	家族 23 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。

○ 施設利用状況(主催事業を除く) 令和8年3月31日現在

小川原湖青年の家

		利用団体数	比率	延利用人数	比率
対象別	幼稚園・保育園	2	0.5%	110	0.7%
	小学校	47	12.7%	3,765	23.2%
	中学校	8	2.2%	1,222	7.6%
	高等学校	9	2.4%	1,108	6.8%
	特別支援学校	0	0.0%	0	0.0%
	その他の学校	0	0.0%	0	0.0%
	青少年団体	160	43.1%	6,117	37.7%
	成人・その他	145	39.1%	3,883	24.0%
計		371	100%	16,205	100%
宿泊日数別	1日研修	281	75.7%	8,695	53.7%
	1泊2日	77	20.8%	5,740	35.4%
	2泊3日	5	1.3%	744	4.6%
	3泊4日以上	8	2.2%	1,026	6.3%
	計	371	100%	16,205	100%

岩木青少年スポーツセンター

		利用団体数	比率	延利用人数	比率
対象別	幼稚園・保育園	0	0.0%	0	0.0%
	小学校	47	6.7%	3,924	11.6%
	中学校	15	2.1%	1,114	3.3%
	高等学校	39	5.6%	4,712	14.0%
	特別支援学校	2	0.3%	84	0.2%
	その他の学校	7	1.0%	477	1.4%
	青少年団体	83	11.8%	4,248	12.6%
	成人・その他	509	72.5%	19,218	56.9%
計		702	100%	33,777	100%
宿泊日数別	1日研修	268	38.2%	12,100	35.8%
	1泊2日	354	50.4%	14,903	44.1%
	2泊3日	52	7.4%	3,243	9.6%
	3泊4日以上	28	4.0%	3,531	10.5%
	計	702	100%	33,777	100%

むつ市下北自然の家

		利用団体数	比率	延利用人数	比率
対象別	幼稚園・保育園	40	19.3%	929	16.9%
	小学校	59	28.5%	1,801	32.8%
	中学校	0	0.0%	0	0.0%
	高等学校	1	0.5%	1	0.0%
	特別支援学校	0	0.0%	0	0.0%
	その他の学校	2	1.0%	36	0.6%
	青少年団体	30	14.5%	1,093	19.9%
	成人・その他	75	36.2%	1,637	29.8%
計		207	100%	5,497	100%
宿泊日数別	1日研修	174	84.1%	3,172	57.7%
	1泊2日	28	13.5%	1,698	30.9%
	2泊3日	0	0.0%	0	0.0%
	3泊4日以上	5	2.4%	627	11.4%
計		207	100%	5,497	100%

[参考]令和7年度社会教育関係刊行物一覧

課・施設名	刊行物名称		発行担当G・課
県生涯学習課	1	令和7年度青森県の社会教育行政	企画振興G
	2	令和7年度生涯学習・社会教育総合調査研究事業 「こどもの学校以外における地域活動に関する実態調査報告書」	
	3	こどもの読書活動推進事業 令和7年度「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ 薦める青春の一冊』」優秀作品集	
県総合社会 教育センター	1	令和7年度要覧	総務課
	2	令和7年度研修講座一覧	教育活動支援課
	3	所報(130号、131号)	育成研修課
県立図書館	1	要覧(令和7年度版)	企画支援課
	2	青森県の図書館(令和7年度版)	
	3	青森県立図書館報(第52号、53号、54号)	
	4	青森県近代文学館特別展図録「棟方志功と青森の文人たち」	近代文学館
県立梵珠少年 自然の家	1	令和7年度要覧「ぼんじゅ」	研修課
県立種差少年 自然の家	1	令和7年度要覧「たねさし」	研修課

7
年
度
事
業
の
実
績

V 令和7年度青森県生涯学習関連事業調査の結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ①今後の生涯学習施策を推進する上での参考とするため、本県の各行政機関における生涯学習関連事業の実施状況を把握し、系統的に分類整理する。
- ②各行政機関が事業内容を再検討したり、連携・協力して事業計画を立案する際に役立つ情報を提供する。
- ③県民の学習活動の一層の充実を図るため、市町村や関係団体等に対して県の生涯学習関連事業についての情報を提供する。

※照会先：知事部局、警察本部及び教育委員会の関係所属 133 箇所

(2) 事業区分について

本調査では、生涯学習に関連する事業について、次の I～V に整理・区分した。

I 学習機会の提供

※ 1～3 は青少年を対象とする。
4～14 は広く県民一般を対象とする。

1 自然体験活動による学習

野外活動(キャンプ等)、自然観察 等

3 多様な学習活動

交通安全学習、職業学習、スポーツ・レクリエーション活動、読書活動、環境学習、人権学習 等

2 社会体験活動による学習

ボランティア活動、職場・就業体験、勤労生産体験、文化・芸術体験、交流体験 等

4 職業能力の向上に関する学習

農業技術、漁業技術、情報処理、電気技術、資格取得、職業観・勤労観、転職、起業等に関する学習

10 スポーツ・レクリエーション活動

各種スポーツ活動、レクリエーション活動
身体活動

5 健康・医療・福祉に関する学習

健康の維持・増進、医療、福祉等に関する学習

11 人権・男女共同参画に関する学習

人権、男女共同参画等に関する学習

6 子育て・家庭教育に関する学習

子育て学習、将来親になるための学習、家庭教育講座

12 幅広い教養を身につける学習

外国語、歴史、経済、法律、国際情勢、まちづくり、国際理解、郷土、自然科学等に関する学習

7 環境・資源に関する学習

自然保護、環境保全、エネルギー等に関する学習

13 その他の学習

区分番号 4～12 に当てはまらないもの

8 安全・安心な社会生活を営むための学習

交通安全、防犯、消費生活、防災、生活環境等に関する学習

14 施設開放

県立施設の公開・開放による学習の場の提供

9 芸術・文化に関する学習

書道、音楽、美術、文学、文化財等に関する学習

Ⅱ 人財育成

15 社会参加活動につながる指導者等の養成や研修

ボランティアコーディネーター、地域活動実践者、家庭教育支援者、読書活動支援者、スポーツクラブマネージャー、学校支援ボランティア、女性リーダー、青年活動リーダー、シニアリーダー等を対象とした研修会等

Ⅲ 学習情報提供・学習相談

16 多様なメディアによる学習情報の提供

インターネット、テレビ、ラジオ、リーフレット、情報誌等による学習情報の提供

17 学習上の悩みや問題解決を図る助言・援助活動

学習相談窓口や相談電話の設置

Ⅳ 普及啓発イベント

18 学習の必要性や学ぶことの楽しさを体験できるイベントの開催

- ①フェスティバル、キャンペーン、シンポジウム、表彰、講演
- ②コンクール、発表会、大会、競技会、展示会

V その他

19 指導者やボランティア等の派遣、コーディネート

人財情報の整備、紹介、派遣、活動の場の提供

21 調査・研究

生涯学習に関する調査・研究活動

20 民間団体・自主活動グループの育成と支援

生涯学習に関するNPO、団体、グループ等に対する助言、活動費助成、ネットワーク形成

22 学習プログラム等の開発

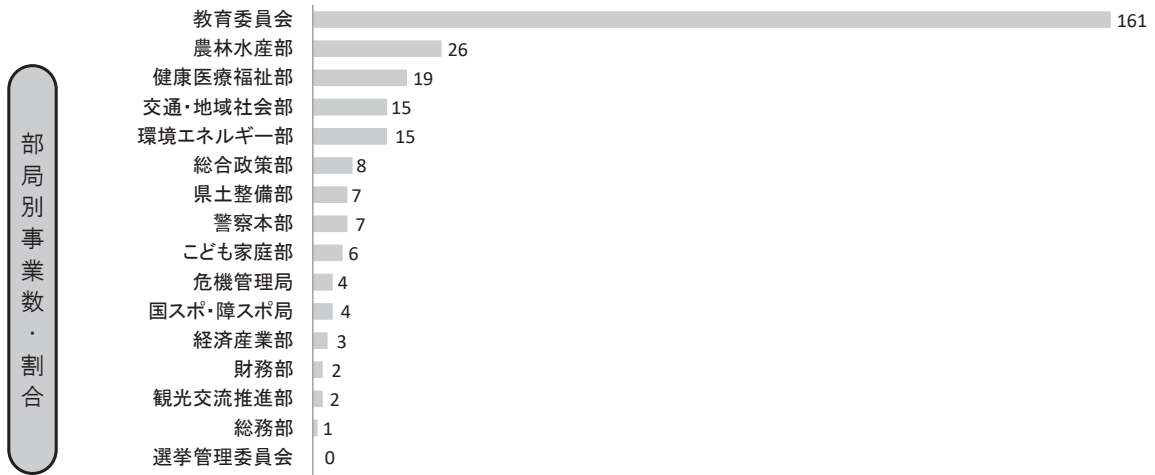
生涯学習に関する学習プログラムの開発
教材開発

2 令和7年度中に実施した生涯学習関連事業

(1) 実施主体別分類

実施部局名	事業区分 実施機関名	I 学習機会の提供													II	III	IV	V その他				実施機関の事業数合計	部局の事業数合計		
		青少年の自然体験活動	青少年の社会体験活動	青少年の多様な学習活動	職業能力の向上	健康・医療・福祉	子育て・家庭教育	環境・資源	安全・安心な社会生活	芸術・文化	スポーツ・レク活動	人権・男女共同参画	幅広い教養	その他の学習	施設開放	人財育成	学習情報の提供	学習相談	普及啓発イベント	指導者等の派遣	団体等の育成・支援			調査・研究	学習プログラム開発
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			21	22
総務部	広報広聴課												1											1	1
財務部	税務課			1												1								2	2
総合政策部	総合政策課																1							1	8
	DX推進課				1										2		1							4	
	統計分析課															2	1							3	
子ども家庭部	こどもみらい課					1																		1	6
	若者定着還元促進課				1																			1	
	県民活躍推進課										1							2						3	
	西北児童相談所																	1						1	
交通・地域社会部	地域交通・連携課			2											4		1							7	15
	鉄道対策課		1																					1	
	地域生活文化課		1					2							1		3							7	
環境エネルギー部	資源循環推進課						1																	1	15
	自然保護課						2																	2	
	エネルギー・脱炭素政策課			1																				1	
	原子力立地対策課			1			10																	11	
健康医療福祉部	障がい福祉課				1	3			1	1						1	1							8	19
	動物愛護センター		5	1														1						7	
	三戸保健所					1																		1	
	西北保健所			2											1									3	
経済産業部	産業イノベーション推進課				3																			3	3
観光交流推進部	県立美術館							2																2	2
農林水産部	農林水産政策課														2									2	26
	食ブランド・流通推進課			4								1	1		2			1						9	
	当農高等学校				1																			1	
	林政課	1	3	1																				5	
	農村整備課		1									1												2	
	水産振興課				2																			2	
	三八農林水産事務所	1																						1	
	西北農林水産事務所	1		1	1																			3	
県土整備部	下北農林水産事務所	1																						1	
	監理課			1														1						2	7
	整備企画課		1	3																				4	
道路課														1									1		
危機管理局	防災危機管理課							3							1									4	4
国スボ・障スボ局	障スボ課		1												3									4	4

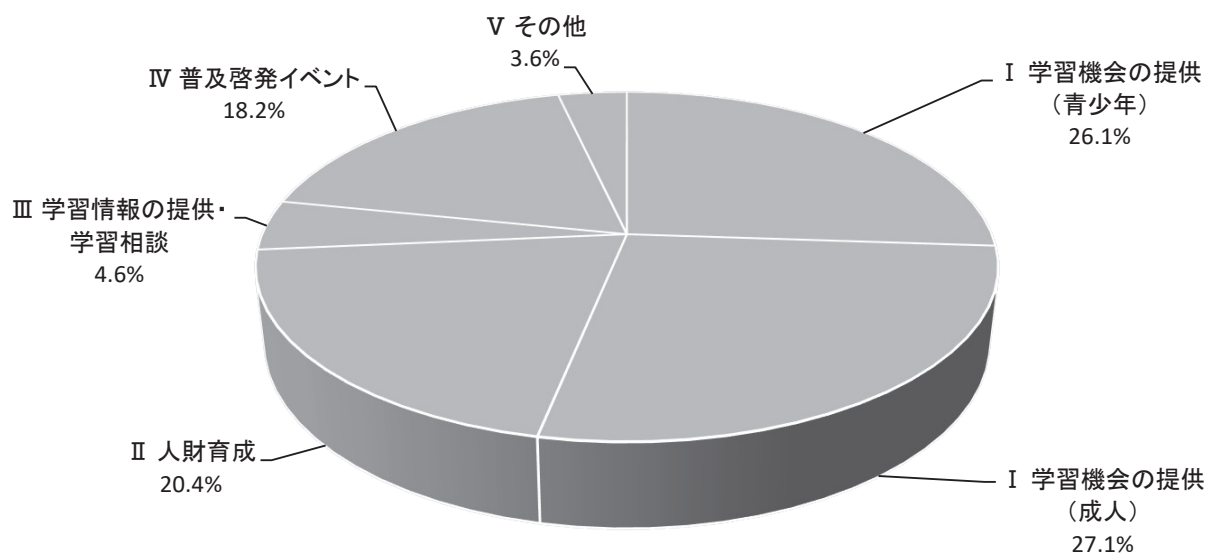
実施部局名	事業区分 実施機関名	I 学習機会の提供														II	III	IV	V その他				実施機関の事業数合計	部局の事業数合計	
		青少年の自然体験活動	青少年の社会体験活動	青少年の多様な学習活動	職業能力の向上	健康・医療・福祉	子育て・家庭教育	環境・資源	安全・安心な社会生活	芸術・文化	スポーツ・レク活動	人権・男女共同参画	幅広い教養	その他の学習	施設開放	人財育成	学習情報の提供	学習相談	普及啓発イベント	指導者等の派遣	団体等の育成・支援	調査・研究			学習プログラム開発
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			22
教育委員会	生涯学習課	1		1			3			1					3			2		3	4		18		
	スポーツ健康課										3				1		1						5		
	文化財保護課																	3					3		
	東青教育事務所														3								3		
	西北教育事務所														3								3		
	中南教育事務所														3								3		
	上北教育事務所														3								3		
	下北教育事務所														3								3		
	三八教育事務所														5								5		
	埋蔵文化財調査センター		1	2						4					2	1		1					11		
	県立図書館		1							1					1	3	1	1	9				17		
	梵珠少年自然の家	9													3			5					17		
	種差少年自然の家	15		1							1			1									18		
	総合社会教育センター		1	1			2						1		7	6				2			20		
郷土館			3									4					10					17			
三内丸山遺跡センター									8								7					15			
警察本部	生活安全企画課			2											1								3		
	広報課								1														1		
	人身安全対策課														2								2		
	交通企画課								1														1		
		29	16	28	10	5	5	13	6	18	5	1	7	3	3	57	12	1	51	1	5	4	0	280	



(2) 事業別分類

区分	番号	事業内容	事業数	小計	構成比
I 学習機会の提供	青少年	1 自然体験活動による学習	29	73	26.1%
		2 社会体験活動による学習	16		
		3 多様な学習活動	28		
	成人（対象を限定せず）	4 職業能力の向上に関する学習	10	76	27.1%
		5 健康・医療・福祉に関する学習	5		
		6 子育て・家庭教育に関する学習	5		
		7 環境・資源に関する学習	13		
		8 安全・安心な社会生活を営むための学習	6		
		9 芸術・文化に関する学習	18		
		10 スポーツ・レクリエーション活動	5		
		11 人権・男女共同参画に関する学習	1		
		12 幅広い教養を身につける学習	7		
		13 その他の学習	3		
		14 施設開放	3		
II 人財育成	15 社会参加活動につながる指導者等の養成や研修	57	57	20.4%	
III 学習情報の提供 ・学習相談	16 多様なメディアによる学習情報の提供	12	13	4.6%	
	17 学習上の悩みや問題解決を図る助言・援助活動	1			
IV 普及啓発イベント	18 学習の必要性や学ぶことの楽しさを体感できるイベントの開催	51	51	18.2%	
V その他	19 指導者やボランティア等の派遣、コーディネート	1	10	3.6%	
	20 民間団体・自主活動グループの育成と支援	5			
	21 調査・研究	4			
	22 学習プログラム等の開発	0			
合 計			280	280	100.0%

項目別の事業数・割合



(3) 事業一覧(令和7年度実績)

①青少年を対象とした自然体験活動による学習 29事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	農林水産部	林政課	沖館小学校学校林体験学習	10	81
2	西北農林水産事務所	林業振興課	令和7年度西北地区緑の少年団交流会	9	179
3	下北農林水産事務所	林業振興課	下北地区緑の少年団交流集会(グリーンジャンボリー)	7	33
4	三八農林水産事務所	林業振興課	三八地区緑の少年団グリーンジャンボリー	7	6
5	教育委員会	生涯学習課	若者の社会参加促進事業(自然体験・交流塾の開催)	7~2	90
6	教育委員会	梵珠少年自然の家	9歳アドベンチャーキャンプ①	7	102
7	教育委員会	梵珠少年自然の家	夏のチャレンジキャンプ	8	192
8	教育委員会	梵珠少年自然の家	9歳アドベンチャーキャンプ②	10	104
9	教育委員会	梵珠少年自然の家	冬の3daysキャンプ	1	141
10	教育委員会	梵珠少年自然の家	7歳わんぱくキャンプ	2	74
11	教育委員会	梵珠少年自然の家	ぼんじゅネーチャークラブ①	7	16
12	教育委員会	梵珠少年自然の家	ぼんじゅネーチャークラブ②	8	19
13	教育委員会	梵珠少年自然の家	ぼんじゅネーチャークラブ③	11	15
14	教育委員会	梵珠少年自然の家	ぼんじゅウインタースクール	12	48
15	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「春を感じて」	5	103
16	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!海遊び」①	6	129
17	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!海遊び」②	6	133
18	教育委員会	種差少年自然の家	こどもの祭典「おいでよ!サマーキャンプ」A日程	7	66
19	教育委員会	種差少年自然の家	こどもの祭典「おいでよ!サマーキャンプ」B日程	8	68
20	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!海遊び」③	9	124
21	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!海遊び」④	9	98
22	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「秋を感じて」	10	43
23	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「冬の季節を感じて」	12	53
24	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「冬の季節を感じて」	12	65
25	教育委員会	種差少年自然の家	こどもの祭典「わくわくドキドキ!ウインターキャンプ」	12	87
26	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!雪遊び」①	1	119
27	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!雪遊び」②	2	117
28	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「こども大作戦」①	2	114
29	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「こども大作戦」②	3	126

②青少年を対象とした社会体験活動による学習 16事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	交通・地域社会部	鉄道対策課	ローカル鉄道教育旅行利活用推進事業	7~2	5,805
2	交通・地域社会部	地域生活文化課	芸術文化出前教室開催事業	5~3	654
3	健康医療福祉部	動物愛護センター	職場体験	通年	22
4	健康医療福祉部	動物愛護センター	職場体験(適応教室)	6~11	44
5	健康医療福祉部	動物愛護センター	サマースクール	7~8	21
6	健康医療福祉部	動物愛護センター	動物ふれあい活動	4~11	710
7	健康医療福祉部	動物愛護センター	インターンシップ	通年	12
8	農林水産部	林政課	インターンシップ	8~9	6
9	農林水産部	林政課	平内中学校体験学習会	9	57
10	農林水産部	林政課	林業のしごと体験(林業労働力確保支援センター事業)	8,10	131
11	農林水産部	農村整備課	インターンシップ・現場見学会等の受け入れ	8~9,11	43
12	県土整備部	整備企画課	「Aomoriインフラアカデミー」推進事業(県土整備部キャリアゼミ)	8	37
13	国スポ・障スポ局	障スポ課	金魚ねぶた制作(滋賀マスコットキャラクター)	10	10
14	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	職場体験	随時	60
15	教育委員会	県立図書館	職場体験・インターンシップ	7~12	14
16	教育委員会	総合社会教育センター	青森で生きる未来人材育成事業(高校生地域活動促進事業)	6~2	98

③青少年を対象とした多様な学習活動 28事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	財務部	税務課	租税教室	5~2	495
2	地域・交通社会部	地域交通・連携課	未来ひらめき創造塾	7	29

3	地域・交通社会部	地域交通・連携課	先輩から後輩への夢相伝講座	7～11	2,703
4	環境エネルギー部	エネルギー・脱炭素政策課	環境出前講座実施事業	5～12	2,211
5	環境エネルギー部	原子力立地対策課	でんきの出前教室	7～12	535
6	健康医療福祉部	動物愛護センター	職場紹介・職業学習	通年	541
7	健康医療福祉部	西北保健所	令和7年度SOSの出し方教育	8	18
8	健康医療福祉部	西北保健所	健康教育授業	11～12	63
9	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業(農業高校生を講師とする園児対象の食農体験会)	9～11	82
10	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業(高校生対象の調理講座)	10～12	150
11	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業(共食の場における食育講座)	11～2	107
12	農林水産部	食ブランド・流通推進課	「食」を通じた「こどもまんなか」事業(小中学生対象の食農体験講座)	8～11	471
13	農林水産部	林政課	林業出前講座	8,10	138
14	西北農林水産事務所	鱒ヶ沢水産事務所水産普及課	水産教室(小学生対象)	11	9
15	県土整備部	監理課	建設業の魅力を再発見！夏休み親子バスツアー	8	47
16	県土整備部	整備企画課	「Aomoriインフラアカデミー」推進事業(インフラ出前授業)	10～11	44
17	県土整備部	整備企画課	「Aomoriインフラアカデミー」推進事業(連携授業)	7,9～1	245
18	県土整備部	整備企画課	「Aomoriインフラアカデミー」推進事業(i-Construction新技術体験学習会)	7,11	63
19	警察本部	生活安全企画課	女性が性犯罪等の被害に遭わないための防犯講話	4	230
20	警察本部	生活安全企画課	小学生の危険回避能力向上のための地域安全マップづくり教室	10～11	70
21	教育委員会	生涯学習課	障がい者の生涯学習支援事業	5～2	1,810
22	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	夏休みに考古学者になろう	7～8	43
23	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	学校支援	随時	116
24	教育委員会	種差少年自然の家	親子の絆「防災キャンプ」	9	86
25	教育委員会	総合社会教育センター	高校生スキルアッププログラム推進事業	通年	2,806
26	教育委員会	郷土館	出前授業19+特別出前授業1の合計20件	通年	841
27	教育委員会	郷土館	夏休みこどものくに「ペーパークラフトを工作しよう」	7	24
28	教育委員会	郷土館	冬休みこどものくに「づくりまわし大会」	1	26

④職業能力の向上に関する学習 10事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	総合政策部	DX推進課	デジタル体験創造フェア	7	974
2	こども家庭部	若者定着還流促進課	障がい者短期職場実習推進事業(障がい者雇用促進加速化事業のメニュー)	4～3	60
3	健康医療福祉部	障がい福祉課	パソコン講習会	通年	354
4	経済産業部	産業イノベーション推進課	短期(向上)訓練	4～3	452
5	経済産業部	産業イノベーション推進課	離職者等再就職訓練事業	4～3	696
6	経済産業部	産業イノベーション推進課	障がい者の多様なニーズに対応した委託訓練事業	4～3	27
7	農林水産部	営農大学校	あおもり農力向上シャトル研修事業	5～2	201
8	農林水産部水産局	水産振興課	賓陽塾	8	7
9	農林水産部水産局	水産振興課	漁業インターンシップ	5～11	26
10	西北農林水産事務所	鱒ヶ沢水産事務所水産普及課	ヤリイカ・ハタハタ学習会	11	24

⑤健康・医療・福祉に関する学習 5事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	こども家庭部	こどもみらい課	青森県ヤングケアラー支援研修会	1	34
2	健康医療福祉部	障がい福祉課	初めて手話を学ぶ方のための体験講座	6～2	389
3	健康医療福祉部	障がい福祉課	聴覚障がい者のための手話講座	6～3	151
4	健康医療福祉部	障がい福祉課	難聴者・中途失聴者のための手話・読話等の体験講座	10～12	53
5	健康医療福祉部	三戸保健所	働く人の健康づくり応援プログラム定着事業	4～3	423

⑥子育て・家庭教育に関する学習 5事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	教育委員会	生涯学習課	あおもり家庭教育支援総合事業(あおもり家庭教育応援フォーラムの開催)	10	56 (会場参加)
2	教育委員会	生涯学習課	あおもり家庭教育支援総合事業(地域の家庭支援を目指した多世代交流・参加型研修会の開催)	10~11	90
3	教育委員会	生涯学習課	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業	5~2	1,007
4	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり家庭教育力向上事業	6~11	190
5	教育委員会	総合社会教育センター	家庭教育支援動画等制作普及事業	通年	-

⑦環境・資源に関する学習 13事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	環境エネルギー部	資源循環推進課	廃棄物処理法周知推進事業	7	623
2	環境エネルギー部	自然保護課	青森県立自然ふれあいセンター年間行事	通年	1,185
3	環境エネルギー部	自然保護課	白神山地ビジターセンター年間行事	通年	350
4	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県内原子力施設見学会(一般)	8~10	26
5	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県外エネルギー施設見学会(一般)	10~11	26
6	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県内原子力施設見学会(原子力モニター)	11	11
7	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県外エネルギー施設見学会(原子力モニター)	10	13
8	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県内原子力施設見学会(原子力大学生モニター)	9	4
9	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県外エネルギー施設見学会(原子力大学生モニター)	8	10
10	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県職員による県外原子力関連施設視察研修	7	29
11	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県職員及び市町村職員県内原子力関連施設視察研修	7	15
12	環境エネルギー部	原子力立地対策課	県外エネルギー施設親子体験学習会	12	40
13	環境エネルギー部	原子力立地対策課	令和7年度環境科学セミナー	11~12	122

⑧安全安心な社会生活を営むための学習 6事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	交通・地域社会部	地域生活文化課	消費生活大学講座	5~10	564
2	交通・地域社会部	地域生活文化課	消費生活サポーター研修会	6~7	15
3	危機管理局	防災危機管理課	地域防災活動強化促進事業	6~11	172
4	危機管理局	防災危機管理課	実践的防災教育推進事業(青森県防災教育センターでの体験型防災学習)	4~9	3,165
5	危機管理局	防災危機管理課	あおもり地域防災力充実推進事業費(自主防災組織等、災害発生時における避難所運営に携わる団体を対象とした研修の開催)	6~9	144
6	警察本部	交通企画課	交通安全教育車派遣事業	4~11	3,338

⑨芸術・文化に関する学習 18事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	健康医療福祉部	障がい福祉課	文化講座	通年	136
2	観光交流推進部	県立美術館	教育普及関連事業(鑑賞サポーター及びサポートスタッフの配置・育成)	4~3	661
3	観光交流推進部	県立美術館	教育普及関連事業(アート体験促進プログラム)	5~2	4,073
4	警察本部	広報課	青森県警察音楽隊60周年記念「県民と警察の音楽の集い」	11	1,500
5	教育委員会	生涯学習課	こどもの読書活動推進事業「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」	7~3	3,637 (応募総数)
6	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	遺跡現地見学会	随時	128
7	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	あおもり発掘フェア2025	12	213
8	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	公開講座「地下からよみがえる地元の歴史」	8~11	161
9	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	出前講座・講師派遣	随時	214
10	教育委員会	県立図書館	あおもり文学ゼミ	12	12
11	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡普及啓発事業(さんまる縄文体験・縄文学講座)	5~11	245
12	教育委員会	三内丸山遺跡センター	さんまる発掘体験	7	-
13	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡発掘調査ガイド	7~9	1,050
14	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡現地説明会	9	229

15	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡報告会	3	-
16	教育委員会	三内丸山遺跡センター	縄文時遊館さんまるミュージアムガイド	通年	1,447
17	教育委員会	三内丸山遺跡センター	ギャラリートーク	通年	-
18	教育委員会	三内丸山遺跡センター	縄文“体感”世界遺産講座	通年	205

⑩スポーツ・レクリエーション活動 5事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	健康医療福祉部	障がい福祉課	スポーツ教室	通年	548
2	教育委員会	スポーツ健康課	選手との交流体験(「するスポ」気軽に運動エンジョイ事業)	6~2	155
3	教育委員会	スポーツ健康課	スポーツ教室(「するスポ」気軽に運動エンジョイ事業)	9~2	500
4	教育委員会	スポーツ健康課	スポーツ体験型イベント(「するスポ」気軽に運動エンジョイ事業)	9~10	180
5	教育委員会	種差少年自然の家	自然体験活動研修会	5	48

⑪人権・男女共同参画に関する学習 1事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	こども家庭部	県民活躍推進課	地方で稼げる女性支援事業	7~1	176

⑫幅広い教養を身につける学習 7事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	農林水産部	食ブランド・流通推進課	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業(地域の実情に応じた食育活動)	7~2	1,388
2	農林水産部	農村整備課	白神の森とリンゴ畑へ冒険！自然と農業にふれる秋の旅(バスツアー)	10	35
3	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ運営全般	通年	-
4	教育委員会	郷土館	自然観察会全2回	7,10	39
5	教育委員会	郷土館	あおもり街かど探偵団全2回	6,9	28
6	教育委員会	郷土館	土曜セミナー 全11回	5~3	379
7	教育委員会	郷土館	移動博物館1+特別移動博物館3の合計4件	通年	196

⑬その他の学習 3事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	総務部	広報広聴課	出前トーク(県が取り組む事業や県政の課題にかかるテーマを設定し、県民からの要望に基づき、集会や学校等に県職員が出向いて説明をするとともに、意見交換を行う。)	通年	9,937
2	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業(大人対象の食農体験講座)	8~2	134
3	教育委員会	種差少年自然の家	在学少年宿泊指導者研修会	4	112

⑭施設開放 3事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	施設見学	随時	20
2	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	一般見学・蔵書公開	随時	21
3	教育委員会	県立図書館	図書館見学	通年	179

⑮社会参加活動につながる指導者等の養成や研修 57事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	総合政策部	DX推進課	障がい者支援のための「ICTサポーター」育成講座	7~12	32
2	総合政策部	DX推進課	高齢者のためのデジタルサポーター育成講座	8~12	32
3	交通・地域社会部	地域交通・連携課	地域づくりフェシリテーター養成研修	8~12	20
4	交通・地域社会部	地域交通・連携課	あおもりグローバルアカデミー	10~12	28
5	交通・地域社会部	地域交通・連携課	AX青森新時代ゼミナール	9~2	24
6	交通・地域社会部	地域交通・連携課	奥入瀬サミット	9	41
7	交通・地域社会部	地域生活文化課	防災ボランティアコーディネーター連携研修会開催事業	11	30
8	健康医療福祉部	西北教育事務所	ゲートキーパー研修	11	13
9	農林水産部	農林水産政策課	農山漁村女性の活躍応援事業	6~2	95

10	農林水産部	農林水産政策課	農山漁村女性の経営参画事業	6~2	147
11	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業(食育サポータースキルアップ講座)	12~1	35
12	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業、あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業(食育指導者研修会)	2	31
13	県土整備部	道路課	奥入瀬アカデミー	6~1	573
14	危機管理局	防災危機管理課	防災士活動促進事業	6~9	184
15	国スポ・障スポ局	障スポ課	情報支援ボランティア養成事業	5~6,8	219
16	国スポ・障スポ局	障スポ課	選手団サポートボランティア養成事業	10~11	141
17	国スポ・障スポ局	障スポ課	競技役員等養成事業	5~3	199
18	警察本部	生活安全企画課	「子供・女性110番の家」等に対するスキルアップ研修会	11	30
19	警察本部 (県との二者連携)	人身安全対策課	青少年のネットセーフティ加速化事業	6	49
20	警察本部	人身安全対策課	少年非行防止JUMPチームオンライン大会2025	11	243
21	教育委員会	生涯学習課	社会教育主事有資格者育成派遣事業	7~8	2 (派遣人数)
22	教育委員会	生涯学習課	あおもり家庭教育支援総合事業(読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成)	9~11	111
23	教育委員会	生涯学習課	地域と学校とのパートナーシップ強化事業	7~9	327
24	教育委員会	スポーツ健康課	総合型地域スポーツクラブアシスタントマネージャー養成講習会	9	6
25	教育委員会	東青教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前期)	6	143
26	教育委員会	東青教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(後期)	9	122
27	教育委員会	東青教育事務所	スポーツ推進委員東青地区研修会	9	29
28	教育委員会	西北教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前期)	5	112
29	教育委員会	西北教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(後期)	10	81
30	教育委員会	西北教育事務所	スポーツ推進委員西北地区研修会	7	34
31	教育委員会	中南教育事務所	スポーツ推進委員中弘南黒平地区研修会	6	49
32	教育委員会	中南教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前期)	7	92
33	教育委員会	中南教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(後期)	9	74
34	教育委員会	上北教育事務所	スポーツ推進委員等上北地区研修会	6	24
35	教育委員会	上北教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前期)	6	186
36	教育委員会	上北教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(後期)	10	164
37	教育委員会	下北教育事務所	スポーツ推進委員・スポーツ指導者等むつ下北地区研修会	6	19
38	教育委員会	下北教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前期)	6	94
39	教育委員会	下北教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(後期)	10	78
40	教育委員会	三八教育事務所	スポーツ推進委員三八地区研修会	5	46
41	教育委員会	三八教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前期)	6	94
42	教育委員会	三八教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(後期)	10	47
43	教育委員会	三八教育事務所	管内市町村文化財担当者研修会	6	10
44	教育委員会	三八教育事務所	三八地区文化財保護研究集会	11	28
45	教育委員会	県立図書館	ボランティア事前研修	3	12
46	教育委員会	県立図書館	市町村立図書館等職員研修	6,9, 10~11	209
47	教育委員会	県立図書館	学校図書館アシスト事業プラス	通年	81
48	教育委員会	梵珠少年自然の家	施設利用団体事前打合せ研修~全体会	4	48
49	教育委員会	梵珠少年自然の家	自然体験活動ぼんじゅボランティアセミナー	通年	212
50	教育委員会	梵珠少年自然の家	ぼんじゅ出前講座	通年	2,750
51	教育委員会	総合社会教育センター	地域に根ざしたキャリア教育推進事業	9~11	102
52	教育委員会	総合社会教育センター	生涯学習・社会教育関係職員研修講座	5~2	408
53	教育委員会	総合社会教育センター	生涯学習・社会教育関係職員研修講座 伴走型支援	通年	14
54	教育委員会	総合社会教育センター	地域学校協働活動推進のための研修	6	35
55	教育委員会	総合社会教育センター	パワフルAOMORI! 創造塾	7~12	67
56	教育委員会	総合社会教育センター	青森と自分の未来を“カタル”! 「キャリアサポ」事業	通年	1,271 (高校生等 1,113 大学生158)
57	教育委員会	総合社会教育センター	ボランティア担当職員研修講座	7	160

⑩多様なメディアによる学習情報の提供 12事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	財務部	税務課	租税教育用リーフレット「私たちの生活と税金」の発行	7	-
2	総合政策部	統計分析課	「ピカイチデータ数字で読む青森県」の発行	3	20,000 (発行部数)
3	総合政策部	統計分析課	統計グラフコンクールの開催	6~2	103
4	健康医療福祉部	障がい福祉課	青森県手話動画	通年	-
5	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	「地元の縄文」情報発信	随時	45,074 アクセス数
6	教育委員会	県立図書館	データベース情報の提供	随時	-
7	教育委員会	総合社会教育センター	学習情報の収集・提供事業	通年	-
8	教育委員会	総合社会教育センター	青森県視聴覚ライブラリー運営事業	通年	-
9	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ学習機会提供事業	通年	-
10	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ学習情報提供・学習相談事業	通年	-
11	教育委員会	総合社会教育センター	家庭教育相談事業	通年	19
12	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ普及啓発事業・生涯学習フェア	通年	553

⑪学習上の悩みや問題解決を図る助言・援助活動 1事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	教育委員会	県立図書館	レファレンス(学習・調査・研究等支援)業務	随時	-

⑫学習の必要性や学ぶことの楽しさを体感できるイベントの開催 51事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	総合政策部	総合政策課	実務で効くSDGs交流会	2	26
2	総合政策部	DX推進課	デジタル体験創造フェア	7	974
3	総合政策部	統計分析課	統計グラフコンクールの開催	6~2	103
4	子ども家庭部	県民活躍推進課	男女共同参画フェスティバル2025	11	1,000
5	子ども家庭部	県民活躍推進課	あおもりウィメンズアカデミー	9~11	44
6	子ども家庭部	西北児童相談所	令和7年度子ども虐待要保護児童対策研修会	2	35
7	交通・地域社会部	地域交通・連携課	高校生海外フィールドワークチャレンジ	7~3	41
8	交通・地域社会部	地域生活文化課	高校生ファッションチャレンジ事業	5,8	700
9	交通・地域社会部	地域生活文化課	青森県民俗文化祭開催事業	9~11	10,507
10	交通・地域社会部	地域生活文化課	青森県美術展覧会開催事業費補助	10~11	1,793
11	健康医療福祉部	障がい福祉課	ありのままの表現展2025	2	605
12	健康医療福祉部	動物愛護センター	動物愛護フェスティバル	9	1,757
13	県土整備部	監理課	建設カーニバル	9	265
14	教育委員会	生涯学習課	いじめ防止キャンペーン推進事業	6~3	6,178 (標語コンクール 応募総数)
15	教育委員会	生涯学習課	こどもの読書活動推進事業「こどもの読書活動推進大会」の開催	12	110
16	教育委員会	スポーツ健康課	青森県民スポーツ・レクリエーション祭	7	3,520
17	教育委員会	文化財保護課	こども民俗芸能大会	10	400
18	教育委員会	文化財保護課	北海道・東北ブロック民俗芸能大会	10	660
19	教育委員会	文化財保護課	記録で紡ぐ！無形民俗文化財継承推進事業	通年	2,300
20	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	出張展示・連携展示	通年:西 目屋村 8月:階上 町 11月:東 通村 12月:県 立図書館	階上町:約 2,000人 ※他は人数 カウント無し
21	教育委員会	梵珠少年自然の家	春を楽しむサンday	4	77
22	教育委員会	梵珠少年自然の家	ファミリースプリングキャンプ	5	70
23	教育委員会	梵珠少年自然の家	自然体験ぼんじゅフェスタ	10	115
24	教育委員会	梵珠少年自然の家	冬をいろどるクラフトday	12	94
25	教育委員会	梵珠少年自然の家	冬を楽しむホワイトday	1	41
26	教育委員会	県立図書館	特別展講演会	7	37

27	教育委員会	県立図書館	企画展	12～3	1,164
28	教育委員会	県立図書館	特別展	7～10	2,057
29	教育委員会	県立図書館	常設展 平成・令和の作家	通年	4,648
30	教育委員会	県立図書館	パネル展	通年	26,539
31	教育委員会	県立図書館	出前講座	通年	125
32	教育委員会	県立図書館	おはなし会	月1回	184
33	教育委員会	県立図書館	おしえて先生！知るしるする探検隊	月1回 ※12月、 3月を除く	159
34	教育委員会	県立図書館	展示事業(企画展示、テーマ展示、ミニ展示ほか)	通年	-
35	教育委員会	郷土館	博物館の仕事普及啓発事業	10	11
36	教育委員会	郷土館	展示事業(サテライト展)「石!?あつめてみました」	11～1	45,000
37	教育委員会	郷土館	展示事業(連携展)「ようこそ! 缶詰王国あおもりへ魚の缶詰大集合!!」	4～5	5,568
38	教育委員会	郷土館	展示事業(連携展)「見て、知ってあおもりの生き物たち」	4～6	1,223
39	教育委員会	郷土館	展示事業(連携展)「缶詰王国あおもりwith弘前大学-缶詰の歴史と食文化-」	6～8	1,558
40	教育委員会	郷土館	展示事業(連携展)「仏さまもビックリ!? 下北・津軽・南部のお盆行事」	6～8	1,625
41	教育委員会	郷土館	展示事業(連携展)「写真でたどる津軽なつかしの風景」	7～8	478
42	教育委員会	郷土館	展示事業(連携展)「鈴木正治・きのしごと」	9	599
43	教育委員会	郷土館	展示事業(連携展)「津軽が生んだ植物学者 郡場 寛」	10～1	597
44	教育委員会	郷土館	講師派遣事業	通年	633
45	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡センター来館者数	通年	233,461
46	教育委員会	三内丸山遺跡センター	特別展	4～10	52,643
47	教育委員会	三内丸山遺跡センター	企画展	10～3	26,191
48	教育委員会	三内丸山遺跡センター	魅力発見！さんまる縄文体験事業	4,7,9,1	14,897
49	教育委員会	三内丸山遺跡センター	「みんなあつまれ！三内丸山遺跡」保存・活用事業	通年	-
50	教育委員会	三内丸山遺跡センター	「北海道・北東北の縄文遺跡群」デジタル御朱印企画	7～3	1,213
51	教育委員会	三内丸山遺跡センター	世界遺産4周年記念フォーラム(青森・福岡開催)	7,11	-

⑱指導者やボランティア等の派遣、コーディネート 1事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	農林水産部	食ブランド・流通推進課	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業(あおもり食育サポーターの派遣)	6～2	21

⑳民間団体・自主活動グループの育成と支援 5事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	教育委員会	生涯学習課	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業	通年	—
2	教育委員会	生涯学習課	在学青少年育成費補助事業	通年	1,599
3	教育委員会	生涯学習課	あおもり家庭教育支援総合事業(青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催)	9 (2地区)	43 (総数)
4	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ評価サービス及び活動支援事業	通年	—
5	教育委員会	総合社会教育センター	社会教育プレ団体サポート事業	通年	1

㉑調査・研究 4事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	教育委員会	生涯学習課	生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会)	通年	—
2	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・社会教育総合調査研究事業	通年	—
3	教育委員会	生涯学習課	青森県社会教育委員の会議運営	通年	—
4	教育委員会	生涯学習課	市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成	1～3	—

㉒学習プログラム等の開発 ※該当なし

第 2 部

I 令和8年度市町村の社会教育行政

1 市町村教育委員会の社会教育担当主管部署一覧

令和8年4月1日現在

管内	市町村名	担当主管部署	〒	住所	TEL	FAX
東青	1 青森市	文化学習活動推進課	030-0801	青森市新町一丁目3-7	017-718-1376	017-718-1372
	2 平内町	生涯学習課	039-3321	平内町大字小湊字下槻12-1	017-755-2565	017-755-2078
	3 今別町	教育課	030-1502	今別町大字今別字今別166	0174-35-2157	0174-35-3923
	4 蓬田村	教育課社会教育班	030-1203	蓬田村大字郷沢字浜田136-76	0174-31-3111	0174-31-3112
	5 外ヶ浜町	教育政策課	030-1393	外ヶ浜町字蟹田高銅屋44-2	0174-31-1233	0174-31-1234
西北	6 五所川原市	社会教育課	037-8686	五所川原市字布屋町41-1	0173-35-2111	0173-23-4095
	7 つがる市	社会教育スポーツ課	038-3138	つがる市木造若緑52	0173-49-1200	0173-49-1212
	8 鱒ヶ沢町	教育みらい課	038-2792	鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321	0173-82-0972	0173-72-2374
	9 深浦町	教育課	038-2324	深浦町大字深浦字苗代沢84-2	0173-74-4419	0173-74-3050
	10 板柳町	生涯学習課	038-3672	板柳町大字灰沼字岩井61	0172-72-1800	0172-72-1801
	11 鶴田町	社会教育係	038-3503	鶴田町大字鶴田字早瀬200-1	0173-22-2111	0173-22-6007
12 中泊町	教育課	037-0392	中泊町大字中里字紅葉坂209	0173-57-2111	0173-57-3849	
中南	13 弘前市	生涯学習課	036-1393	弘前市大字賀田一丁目1-1	0172-82-1641	0172-82-2313
	14 黒石市	人づくり推進課	036-0306	黒石市大字内町24-1	0172-52-2111	0172-52-3777
	15 平川市	生涯学習課	036-0102	平川市光城二丁目30-1	0172-44-1221	0172-44-8780
	16 西目屋村	教育課	036-1411	西目屋村大字田代字稲元143	0172-85-2858	0172-85-3132
	17 藤崎町	生涯学習課	038-1214	藤崎町大字常盤字三西田35-1	0172-65-3100	0172-65-3128
	18 大鰐町	学務生涯学習課	038-0211	大鰐町大字大鰐字前田51-8	0172-48-3201	0172-48-3215
	19 田舎館村	生涯学習課	038-1121	田舎館村大字畑中字藤本159-1	0172-58-2250	0172-58-2394
上北	20 十和田市	スポーツ・生涯学習課	034-8615	十和田市西十二番町6-1	0176-58-0186	0176-24-3954
	21 三沢市	生涯学習課	033-8666	三沢市桜町1丁目1-38	0176-53-5111	0176-52-3963
	22 野辺地町	社会教育・スポーツ課	039-3131	野辺地町字野辺地123-1	0175-64-2119	0175-64-8083
	23 七戸町	生涯学習課	039-2592	七戸町字七戸31-2	0176-62-9702	0176-62-6256
	24 六戸町	教育課	039-2371	六戸町大字犬落瀬字前谷地61-1	0176-55-5511	0176-55-5514
	25 横浜町	教育課	039-4141	横浜町字三保野57-8	0175-78-6622	0175-78-6112
	26 東北町	社会教育スポーツ課	039-2401	東北町大字上野字上野191-15	0176-56-5180	0176-56-4235
	27 六ヶ所村	社会教育課	039-3212	六ヶ所村大字尾駱字野附478-2	0175-72-8173	0175-72-2246
	28 おいらせ町	社会教育・体育課	039-2289	おいらせ町上明堂60-6	0178-56-4276	0178-56-4268
下北	29 むつ市	生涯学習課	035-0085	むつ市大湊浜町13-1	0175-31-1188	0175-24-1912
	30 大間町	教育課	039-4601	大間町大字大間字奥戸下道20-4	0175-37-2103	0175-37-4661
	31 東通村	教育総務課	039-4292	東通村大字砂子又字沢内5-34	0175-33-2341	0175-27-3027
	32 風間浦村	教育課	039-4502	風間浦村大字易国間字大川目28-5	0175-35-2210	0175-35-2123
	33 佐井村	生涯学習課	039-4711	佐井村大字佐井字糠森20	0175-38-4506	0175-38-4512
三八	34 八戸市	社会教育課	031-8686	八戸市内丸一丁目1-1	0178-43-9154	0178-47-4997
	35 三戸町	教育委員会事務局	039-0141	三戸町大字川守田字関根川原55	0179-22-2186	0179-23-4196
	36 五戸町	教育課	039-1518	五戸町字下毛沢向8-2	0178-62-7965	0178-62-5252
	37 田子町	教育課	039-0201	田子町大字田子字柏木田169	0179-20-7070	0179-20-7075
	38 南部町	社会教育課	039-0592	南部町大字平字広場28-1	0178-38-5969	0178-38-5979
	39 階上町	教育課	039-1201	階上町大字道仏字天当平1-87	0178-88-2698	0178-88-1803
40 新郷村	総務課	039-1801	新郷村大字戸来字風呂前10	0178-20-8478	0178-78-3294	

市町村の社会教育行政

2 市町村教育委員会事務局の社会教育関係職員数

令和8年4月1日現在

管内	市町村名	課長		社会教育主事		社会教育主事補		社会教育指導員	その他の職員		計
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任		専任	兼任	
東青	1 青森市	1							13		14
	2 平内町		1		2				8	1	12
	3 今別町		1							1	2
	4 蓬田村		1		1				2		4
	5 外ヶ浜町		2						3	3	8
	小計	1	5	0	3	0	0	0	26	5	40
西北	6 五所川原市		1		1				1	4	7
	7 つがる市		1							5	6
	8 鱒ヶ沢町		1		1				4		6
	9 深浦町	1			1				4		6
	10 板柳町		1		1				8		10
	11 鶴田町	1							4		5
	12 中泊町		1		1				7	3	12
小計	2	5	0	5	0	0	0	28	12	52	
中南	13 弘前市	1			2				18		21
	14 黒石市	1			1				16		18
	15 平川市		1		1					9	11
	16 西目屋村		1							4	5
	17 藤崎町		1		1				4	6	12
	18 大鱧町		1							10	11
	19 田舎館村		1						5		6
	小計	2	5	0	5	0	0	0	43	29	84
上北	20 十和田市	1			1				15		17
	21 三沢市	1				1			4		6
	22 野辺地町	1			1				5		7
	23 七戸町		1	1							2
	24 六戸町	1							4		5
	25 横浜町		1							6	7
	26 東北町		1		1			1			3
	27 六ヶ所村		1	1					2	5	9
	28 おいらせ町	1			2				7		10
小計	5	4	2	5	1	0	1	37	11	66	
下北	29 むつ市	1						1	4		6
	30 大間町		1							3	4
	31 東通村		1					2			3
	32 風間浦村		1							1	2
	33 佐井村		1		1					1	3
	小計	1	4	0	1	0	0	3	4	5	18
三八	34 八戸市	1			1				13	2	17
	35 三戸町	1			1					4	6
	36 五戸町		1		1				3	7	12
	37 田子町		1							5	6
	38 南部町		1		2					3	6
	39 階上町		1	1					4		6
	40 新郷村		1		1					4	6
小計	2	5	1	6	0	0	0	20	25	59	
合計		13	28	3	25	1	0	4	158	87	319
前年度合計		12	28	4	27	1	0	4	152	88	316

3 市町村の社会教育委員の委嘱状況

令和8年4月1日現在

管内	市町村名	定員数	現員数			任期		委員委嘱数内訳				令和7年度社会教育委員の会議の開催回数	令和8年度社会教育委員の会議の開催予定回数		
			計	男	女	開始日	終了日	学校教育の関係者	社会教育の関係者	家庭教育の向上に資する者	学識経験のある者				
東青	1 青森市	10	10	4	6	2年	R6.11.21	R8.11.20	2	6	1	1	3	3	
	2 平内町	10	8	7	1	2年	R8.4.1	R9.3.31	2	5	1		2	2	
	3 今別町	10	6	3	3	2年	R7.6.1	R9.5.31	1	2	1	2	2	2	
	4 蓬田村	12	6	4	2	2年	R8.4.1	R10.3.31	2	2		2	2	2	
	5 外ヶ浜町	10	10	8	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	3	1	5	3	2	
	小計	52	40	26	14					8	18	4	10		
西北	6 五所川原市	10	10	7	3	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	6		3	3	3	
	7 つがる市	15	13	10	3	2年	R7.4.1	R9.3.31	2	3	2	6	2	2	
	8 鰺ヶ沢町	10	10	6	4	2年	R6.6.1	R8.5.31	3	4	1	2	3	3	
	9 深浦町	6	4	2	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	1	1	1	1	1	
	10 板柳町	10	10	5	5	2年	R8.4.1	R10.3.31	1	3	3	3	2	3	
	11 鶴田町	5	4	1	3	2年	R8.4.1	R10.3.31		1	2	1	3	3	
	12 中泊町	8	8	4	4	2年	R7.5.1	R9.4.30	1	3	3	1	2	2	
小計	64	59	35	24					9	21	12	17			
中南	13 弘前市	10	10	5	5	2年	R6.8.1	R8.7.31	2	4	2	2	2	2	
	14 黒石市	9	9	7	2	2年	R8.4.1	R10.3.31	1	5	1	2	2	2	
	15 平川市	12	12	7	5	2年	R6.5.1	R8.4.30	3	5	4		2	2	
	16 西目屋村	5	5	4	1	2年	R7.4.1	R9.3.31		4		1	2	2	
	17 藤崎町	12	7	5	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	2	1	3	2	3	
	18 大鰐町	5	5	3	2	2年	R6.6.15	R8.6.14		2	3		2	2	
	19 田舎館村	10	6	3	3	2年	R8.4.1	R10.3.31	1		2	3	2	2	
	小計	63	54	34	20					8	22	13	11		
上北	20 十和田市	10	10	5	5	2年	R7.7.1	R9.6.30	3	3	2	2	4	4	
	21 三沢市	12	10	6	4	2年	R8.4.1	R10.3.31	2	3	2	3	2	2	
	22 野辺地町	7	7	4	3	2年	R7.5.1	R9.4.30	3	3		1	2	2	
	23 七戸町	10	8	4	4	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	3	1	3	2	2	
	24 六戸町	5	4	2	2	2年	R8.4.1	R10.3.31		2	2		3	3	
	25 横浜町	10	10	7	3	2年	R7.4.1	R9.3.31	2	2	1	5	2	2	
	26 東北町	10	10	6	4	2年	R7.7.1	R9.6.30	1	8		1	2	2	
	27 六ヶ所村	10	9	5	4	2年	R7.4.1	R9.3.31	3	1	2	3	2	2	
	28 おいらせ町	10	8	4	4	2年	R8.4.1	R10.3.31	1	5		2	3	3	
小計	84	76	43	33					16	30	10	20			
下北	29 むつ市	13	12	7	5	2年	R7.10.1	R9.9.30		7	3	2	1	1	
	30 大間町	10	10	9	1	2年	R8.4.1	R10.3.31	6	1		3	1	1	
	31 東通村	5	5	4	1	1年	R7.4.1	R8.3.31	2	2		1	1	1	
	32 風間浦村	3	3	1	2	2年	R7.10.1	R9.9.30			1	2	2	2	
	33 佐井村	10	9	9	0	2年	R8.4.1	R10.3.31	3	5		1	0	2	
小計	41	39	30	9					11	15	4	9			
三八	34 八戸市	15	13	8	5	2年	R6.5.1	R8.4.30	3	5	2	3	2	2	
	35 三戸町	20	8	5	3	2年	R8.4.1	R10.3.31	1	7			1	1	
	36 五戸町	15	8	5	3	2年	R7.4.1	R9.3.31		3	1	4	4	2	
	37 田子町	10	8	3	5	2年	R8.4.1	R10.3.31	2	3		3	1	1	
	38 南部町	10	10	7	3	2年	R6.5.18	R8.5.17	2	3	2	3	1	2	
	39 階上町	7	6	4	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	3	1	1	1	2	
	40 新郷村	10	8	6	2	2年	R8.4.1	R10.3.31	1	4	1	2	3	3	
小計	87	61	38	23					10	28	7	16			
合計		391	329	206	123					62	134	50	83		

市町村の社会教育行政

◎令和7年度に行った建議・答申・報告書

市町村名	建議・答申・報告書名	日付
	なし	

4 社会教育施設の状況

(1) 公民館数及び公民館職員数

管内	市町村名	館 数		
		本 館		分館数
		中 央 館 数	地 区 館 数	
東青	1 青森市※	2	9	31
	2 平内町	1	5	
	3 今別町	1		
	4 蓬田村	1	8	
	5 外ヶ浜町	1	2	
	小計	6	24	31
西北	6 五所川原市	1	1	
	7 つがる市※		2	
	8 鱒ヶ沢町	1	5	
	9 深浦町		1	2
	10 板柳町※	1		
	11 鶴田町	1		
12 中泊町	1	2		
	小計	5	11	2
中南	13 弘前市	3	12	
	14 黒石市※			
	15 平川市	2		
	16 西目屋村※	1	1	
	17 藤崎町※		6	
	18 大鰐町	1		
	19 田舎館村	1		
	小計	8	19	0
上北	20 十和田市			
	21 三沢市※	1		
	22 野辺地町	1	1	
	23 七戸町	2		15
	24 六戸町	1	1	
	25 横浜町	1		
	26 東北町	1	1	11
	27 六ヶ所村	1	2	8
	28 おいらせ町	1	2	
	小計	9	7	34
下北	29 むつ市	4	21	16
	30 大間町			
	31 東通村			
	32 風間浦村	1	3	
	33 佐井村※	1	7	
	小計	6	31	16
三八	34 八戸市※		24	4
	35 三戸町	1		11
	36 五戸町	1		
	37 田子町	1	1	
	38 南部町		3	1
	39 階上町		1	
40 新郷村		2		
	小計	3	31	16
合 計		37	123	99

※は指定管理者制度を導入

前年度合計	37	134	99
-------	----	-----	----

公民館職員数(人)								
本 館								
中 央 館								
館 長			主 事			その他		
専 任	兼 任	非 常 勤	専 任	兼 任	非 常 勤	専 任	兼 任	非 常 勤
1		1				15		31
	1						1	
	1						1	
	1						3	
	1					3		4
1	4	1	0	0	0	18	5	35
	1						5	3
	1					1		1
							15	
	1					1		1
	1							
0	5	0	0	0	0	2	20	5
1	1		12	2	1	1	6	4
	2						13	4
	1						3	
	1						9	3
	1			5				
1	6	0	12	7	1	1	31	11
1						9		
	1			1				3
	2						5	3
1						2		2
	1						6	
	1					2		
	1						5	
	1							1
2	7	0	0	1	0	13	16	9
3			5	2	3			2
	1						1	
	1						2	
3	2	0	5	2	3	0	3	2
1								
	1			4				4
		1				1	1	
		1					5	
1	2	0	0	4	0	1	6	4
合 計								
8	26	1	17	14	4	35	81	66

5	28	1	14	14	13	45	86	62
---	----	---	----	----	----	----	----	----

公民館職員数(人)																	
本館									分館								
地区館																	
館長			主事			その他			館長			主事			その他		
専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤
		9						42			31						31
		5															
	1						2										
0	1	14	0	0	0	0	2	42	0	0	31	0	0	0	0	0	31
	1							3									
	1	1					3										
	5					2	3	2									
1						2				2							
	2																
1	9	1	0	0	0	4	6	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		12			57			2									
	2	4					8										
0	2	16	0	0	57	0	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1							1		15							
	1																
	1										11						
1	1					1	1	4			8			8			
	2							2									
1	6	0	0	0	0	1	1	7	15	0	19	0	0	8	0	0	0
		21									16						
	3																
		7															
0	3	28	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0
		24			69			19		4			12				
											11			11			11
	1						5										
	3					1	3			1					1		
	1						1	1									
	2							2									
0	7	24	0	0	69	1	9	22	0	5	11	0	12	11	0	1	11
2	28	83	0	0	126	6	26	78	15	7	77	0	12	19	0	1	42
3	31	91	1	0	124	29	50	61	15	7	76	0	12	19	0	1	42

(2) 公民館一覧

令和8年4月1日現在

管内	市町村名	館種	公民館名
東 青	1 青森市	中央館 1	青森市中央市民センター
		中央館 2	青森市浪岡中央公民館※
		地区館 1	青森市東部市民センター※
		地区館 2	青森市大野市民センター※
		地区館 3	青森市横内市民センター※
		地区館 4	青森市戸山市民センター※
		地区館 5	青森市浪岡北中野公民館※
		地区館 6	青森市浪岡本郷公民館※
		地区館 7	青森市浪岡野沢公民館※
		地区館 8	青森市浪岡女鹿沢公民館※
		地区館 9	青森市浪岡大杉公民館※
		分館 1	小柳分館
		分館 2	松森分館
		分館 3	筒井分館
		分館 4	中筒井分館
		分館 5	西滝分館
		分館 6	相野分館
		分館 7	西田沢分館
		分館 8	飛鳥分館
		分館 9	瀬戸子分館
		分館 10	内真部分館
		分館 11	左堰分館
		分館 12	小橋分館
		分館 13	後瀧分館
		分館 14	白旗野分館
		分館 15	戸門分館
		分館 16	鶴ヶ坂分館
		分館 17	岡町分館
		分館 18	三内分館
		分館 19	石江分館
		分館 20	岩渡分館
分館 21	細越分館		
分館 22	安田分館		
分館 23	高田分館		
分館 24	野沢分館		
分館 25	浪館分館		
分館 26	田茂木野分館		
分館 27	大矢沢分館		
分館 28	合子沢分館		
分館 29	雲谷分館		
分館 30	戸山分館		
分館 31	駒込分館		

管内	市町村名	館種	公民館名
東 青	2 平内町	中央館 1	平内町中央公民館
		地区館 1	平内町公民館小豆沢分館
		地区館 2	平内町公民館浦田分館
		地区館 3	平内町公民館狩場沢分館
		地区館 4	平内町公民館松野木分館
	地区館 5	平内町公民館沼館分館	
	3 今別町	中央館 1	今別町中央公民館
	4 蓬田村	中央館 1	蓬田村中央公民館
		地区館 1	中沢分館
		地区館 2	長科分館
		地区館 3	阿弥陀川分館
		地区館 4	蓬田分館
地区館 5		郷沢分館	
地区館 6		瀬辺地分館	
地区館 7		広瀬分館	
地区館 8	高根分館		
5 外ヶ浜町	中央館 1	外ヶ浜町中央公民館	
	地区館 1	外ヶ浜町蟹田公民館	
	地区館 2	外ヶ浜町平館交流センター	
西 北	6 五所川原市	中央館 1	五所川原市中央公民館
		地区館 1	金木公民館
	7 つがる市	地区館 1	つがる市森田公民館
		地区館 2	つがる市牛湍公民館※
	8 鱒ヶ沢町	中央館 1	鱒ヶ沢町中央公民館
		地区館 1	鱒ヶ沢公民館
		地区館 2	赤石公民館
		地区館 3	中村公民館
		地区館 4	鳴沢公民館
	地区館 5	舞戸公民館	
	9 深浦町	地区館 1	深浦町公民館
		分館 1	大戸瀬分館
分館 2		岩崎分館	
10 板柳町	中央館 1	板柳町公民館※	
11 鶴田町	中央館 1	鶴田町公民館	
12 中泊町	中央館 1	中泊町中央公民館	
	地区館 1	武田公民館	
地区館 2	内湍公民館		

※は指定管理者制度を導入

管内	市町村名	館種	公民館名
13	弘前市	中央館 1	弘前市立中央公民館
		中央館 2	弘前市立中央公民館岩木館
		中央館 3	弘前市立中央公民館相馬館
		地区館 1	弘前市立東目屋公民館
		地区館 2	弘前市立和徳公民館
		地区館 3	弘前市立東部公民館
		地区館 4	弘前市立清水公民館
		地区館 5	弘前市立石川公民館
		地区館 6	弘前市立堀越公民館
		地区館 7	弘前市立千年公民館
		地区館 8	弘前市立船沢公民館
		地区館 9	弘前市立高杉公民館
地区館 10	弘前市立裾野公民館		
地区館 11	弘前市立新和公民館		
地区館 12	弘前市立藤代公民館		
14	黒石市	なし	
15	平川市	中央館 1	平川市平賀公民館
		中央館 2	平川市碓ヶ関公民館
16	西目屋村	中央館 1	西目屋村中央公民館
		地区館 1	大白公民館※
17	藤崎町	地区館 1	藤崎公民館※
		地区館 2	常盤公民館
		地区館 3	福館公民館※
		地区館 4	榊公民館※
		地区館 5	福島公民館※
		地区館 6	福左内公民館※
18	大鰐町	中央館 1	大鰐町中央公民館
19	田舎館村	中央館 1	田舎館村中央公民館

管内	市町村名	館種	公民館名	
上北	20	十和田市	なし	
	21	三沢市	中央館 1	三沢市立中央公民館※
	22	野辺地町	中央館 1	野辺地中央公民館
			地区館 1	馬門公民館
	23	七戸町	中央館 1	七戸中央公民館
			中央館 2	七戸南公民館
			分館 1	七戸中央公民館榎林分館
			分館 2	七戸中央公民館岨分館
			分館 3	七戸中央公民館白石分館
			分館 4	七戸中央公民館李沢分館
			分館 5	七戸中央公民館坪分館
			分館 6	七戸中央公民館天間館分館
			分館 7	七戸中央公民館中野分館
			分館 8	七戸中央公民館花松分館
			分館 9	七戸中央公民館二ツ森分館
分館 10			七戸中央公民館道ノ上分館	
分館 11			七戸中央公民館森ノ上分館	
分館 12			七戸南公民館野々上分館	
分館 13			七戸南公民館西野分館	
分館 14	七戸南公民館倉岡分館			
分館 15	七戸南公民館鶴児平分館			
24	六戸町	中央館 1	六戸町文化ホール	
		地区館 1	七百地区公民館	
25	横浜町	中央館 1	横浜町立公民館	
26	東北町	中央館 1	東北町中央公民館	
		地区館 1	東北町上北地区公民館	
		分館 1	蛭沢地区学習等供用センター	
		分館 2	千曳地区学習供用センター	
		分館 3	水喰地区学習等供用センター	
		分館 4	北農村環境改善センター	
		分館 5	淋代生涯学習センター	
		分館 6	寒水地区生涯学習センター	
		分館 7	美須々地区生涯学習センター	
		分館 8	滝沢平地区生涯学習センター	
		分館 9	舟ヶ沢地区生涯学習センター	
分館 10	夫雑原地区生涯学習センター			
分館 11	清水目地区生涯学習センター			

※は指定管理者制度を導入

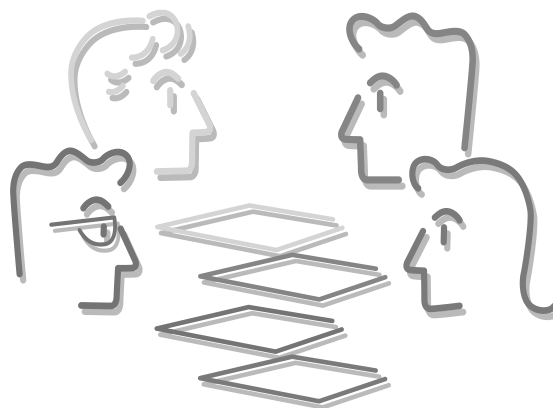
管内	市町村名	館種	公民館名	
上 北	27 六ヶ所村	中央館 1	六ヶ所村立中央公民館	
		地区館 1	泊地区ふれあいセンター	
		地区館 2	千歳平地区公民館	
		分館 1	出戸分館	
		分館 2	尾駁分館	
		分館 3	二又分館	
		分館 4	戸鎖分館	
		分館 5	平沼分館	
		分館 6	倉内分館	
		分館 7	中志分館	
		分館 8	笹原分館	
	28 おいらせ町	中央館 1	中央公民館	
		地区館 1	北公民館	
		地区館 2	東公民館	
	下 北	29 むつ市	中央館 1	むつ市中央公民館
			中央館 2	むつ市川内公民館
			中央館 3	むつ市大畑公民館
			中央館 4	むつ市脇野沢公民館
			地区館 1	むつ市川内公民館蛸崎地区公民館
地区館 2			むつ市川内公民館宿野部地区公民館	
地区館 3			むつ市川内公民館松川地区公民館	
地区館 4			むつ市川内公民館田野沢地区公民館	
地区館 5			むつ市川内公民館戸沢地区公民館	
地区館 6			むつ市川内公民館下小倉平地区公民館	
地区館 7			むつ市川内公民館上小倉平地区公民館	
地区館 8			むつ市川内公民館銀杏木地区公民館	
地区館 9			むつ市川内公民館安部城地区公民館	
地区館 10			むつ市川内公民館畑地区公民館	
地区館 11			むつ市川内公民館湯野川地区公民館	
地区館 12			むつ市川内公民館初見地区公民館	
地区館 13			むつ市川内公民館褰川地区公民館	
地区館 14			むつ市川内公民館石倉地区公民館	
地区館 15			むつ市大畑公民館関根橋地区公民館	
地区館 16			むつ市大畑公民館小目名地区公民館	
地区館 17			むつ市大畑公民館孫次郎間地区公民館	
地区館 18		むつ市大畑公民館木野部地区公民館		
地区館 19		むつ市大畑公民館赤川地区公民館		
地区館 20		むつ市大畑公民館二枚橋地区公民館		
地区館 21		むつ市大畑公民館正津川地区公民館		
分館 1		新田分館		
分館 2		烏沢分館		
分館 3		川代分館		
分館 4		出戸分館		
分館 5		高梨分館		

管内	市町村名	館種	公民館名	
下 北	29 むつ市	分館 6	北関根分館	
		分館 7	南関根分館	
		分館 8	柘山分館	
		分館 9	最花分館	
		分館 10	近川分館	
		分館 11	奥内分館	
		分館 12	金谷沢分館	
		分館 13	大曲分館	
		分館 14	若松町分館	
		分館 15	宇曾利川分館	
		分館 16	角達分館	
		30 大間町	なし	
		31 東通村	なし	
		32 風間浦村	中央館 1	風間浦村中央公民館
			地区館 1	下風呂公民館
			地区館 2	桑畑公民館
地区館 3	蛇浦公民館			
33 佐井村	中央館 1		佐井村中央公民館	
	地区館 1		原田地区公民館※	
	地区館 2		川目地区公民館※	
	地区館 3	矢越地区公民館※		
	地区館 4	磯谷地区公民館※		
	地区館 5	長後地区公民館※		
	地区館 6	福浦地区公民館※		
地区館 7	牛滝地区公民館※			
三 八	34 八戸市	地区館 1	八戸市公民館※	
		地区館 2	八戸市立小中野公民館	
		地区館 3	八戸市立白銀公民館	
		地区館 4	八戸市立鮫公民館	
		地区館 5	八戸市立上長公民館	
		地区館 6	八戸市立柏崎公民館	
		地区館 7	八戸市立大館公民館	
		地区館 8	八戸市立下長公民館	
		地区館 9	八戸市立吹上公民館	
		地区館 10	八戸市立湊公民館	
		地区館 11	八戸市立是川公民館	
		地区館 12	八戸市立館公民館	
		地区館 13	八戸市立根城公民館	
		地区館 14	八戸市立三八城公民館	
		地区館 15	八戸市立江陽公民館	
		地区館 16	八戸市立長者公民館	
		地区館 17	八戸市立田面木公民館	
		地区館 18	八戸市立市川公民館	
		地区館 19	八戸市立南浜公民館	

※は指定管理者制度を導入

管内	市町村名	館種	公民館名
三八	34 八戸市	地区館	20 八戸市立根岸公民館
		地区館	21 八戸市立白銀南公民館
		地区館	22 八戸市立東公民館
		地区館	23 八戸市立南郷公民館
		地区館	24 八戸市立白山台公民館
		分館	1 八戸市立南郷公民館中野分館
		分館	2 八戸市立南郷公民館緑分館
		分館	3 八戸市立南郷公民館頃巻沢分館
		分館	4 八戸市立南郷公民館古里分館
	35 三戸町	中央館	1 三戸町中央公民館
		分館	1 泉山公民館
		分館	2 梅内公民館
		分館	3 目時公民館
		分館	4 豊川公民館
		分館	5 斗内公民館
		分館	6 蛇沼公民館
		分館	7 袴田公民館
		分館	8 下田公民館
		分館	9 貝守公民館
		分館	10 杉沢公民館
		分館	11 大舌公民館
	36 五戸町	中央館	1 五戸町立公民館
	37 田子町	中央館	1 田子町中央公民館
		地区館	1 上郷公民館
	38 南部町	地区館	1 福地公民館
		地区館	2 剣吉公民館
地区館		3 南部公民館	
分館		1 福地公民館苦米地分館	
39 階上町	地区館	1 道仏公民館	
40 新郷村	地区館	1 小坂地区公民館	
	地区館	2 西越地区公民館	

※は指定管理者制度を導入



(3) 公立図書館一覧

令和8年4月1日現在

地区	市町村名	No.	図書館名
東青	青森市	1	青森市民図書館
	平内町	2	平内町立図書館
西北	五所川原市	3	五所川原市立図書館
	"	4	五所川原市立図書館金木分館
	"	5	五所川原市立図書館市浦分館
	つがる市	6	つがる市立図書館※
	板柳町	7	板柳町民図書館
	中泊町	8	中泊町図書館
中南	弘前市	9	弘前市立弘前図書館※
	"	10	弘前市立岩木図書館※
	黒石市	11	黒石市立図書館
	平川市	12	平川市平賀図書館
	"	13	平川市尾上図書館
	藤崎町	14	藤崎町図書館大夢※
上北	十和田市	15	十和田市民図書館
	三沢市	16	三沢市立図書館※
	野辺地町	17	野辺地町立図書館
	七戸町	18	七戸中央図書館
	六戸町	19	六戸町立図書館
	横浜町	20	横浜町民図書館
	東北町	21	東北町立図書館
	六ヶ所村	22	六ヶ所村民図書館※
	おいらせ町	23	おいらせ町立図書館※
	下北	むつ市	24
"		25	むつ市立図書館川内分館
"		26	むつ市立図書館大畑分館
"		27	むつ市立図書館脇野沢分館
三八	八戸市	28	八戸市立図書館
	"	29	八戸市立南郷図書館※
	"	30	八戸市図書情報センター※
	三戸町	31	三戸町立図書館
	五戸町	32	五戸町図書館※
	田子町	33	田子町立図書館

※は指定管理者制度を導入(業務の一部に導入している施設を除く。)



市町村の社会教育行政

(4) 博物館等一覧

令和8年4月1日現在

地区	市町村名	No.	施設名	区分	
東青	青森市	1	青森市森林博物館※	類似	
	"	2	あおもり北のまほろば歴史館※	類似	
	"	3	縄文の学び舎・小牧野館※	類似	
	"	4	小牧野の森・どんぐりの家※	類似	
	"	5	青森市中世の館※	類似	
	平内町	6	平内町歴史民俗資料館	登録	
	外ヶ浜町	7	大平山元遺跡展示施設むーもん館	類似	
西北	五所川原市	8	五所川原市市浦歴史民俗資料館※	相当	
	つがる市	9	つがる市縄文住居展示資料館カルコ	類似	
	"	10	つがる市木造亀ヶ岡考古資料室	類似	
	"	11	つがる市森田歴史民俗資料館	類似	
	鱒ヶ沢町	12	鱒ヶ沢町郷土文化保存伝習館(光信公の館)	類似	
	深浦町	13	深浦町歴史民俗資料館	類似	
	"	14	深浦町美術館	類似	
	"	15	太宰の宿ふかうら文学館	類似	
	"	16	風待ち館※	類似	
	板柳町	17	板柳町立郷土資料館	類似	
中南	鶴田町	18	鶴田町歴史文化伝承館	登録	
	中泊町	19	中泊町博物館	類似	
	"	20	小説「津軽」の像記念館※	類似	
	弘前市	21	弘前市立郷土文学館※	類似	
	"	22	弘前市立博物館	登録	
	"	23	鳴海要記念陶房館※	類似	
	"	24	高岡の森弘前藩歴史館	登録	
	"	25	弘前れんが倉庫美術館	相当	
	平川市	26	平川市郷土資料館	類似	
	藤崎町	27	常盤ふるさと資料館 あすか※	類似	
上北	田舎館村	28	田舎館村埋蔵文化財センター※	類似	
	"	29	田舎館村博物館※	類似	
	十和田市	30	十和田市郷土館	類似	
	"	31	十和田市十和田湖民俗資料館	類似	
	"	32	十和田市馬事公苑称徳館※	類似	
	"	33	十和田市現代美術館※	類似	
	三沢市	34	三沢市歴史民俗資料館※	類似	
	"	35	三沢市先人記念館※	類似	
	"	36	三沢市寺山修司記念館※	類似	
	野辺地町	37	野辺地町立歴史民俗資料館	類似	
三八	七戸町	38	七戸町立鷹山宇一記念美術館※	類似	
	"	39	二ツ森貝塚館	類似	
	六戸町	40	郷土資料館	登録	
	"	41	旧苫米地家住宅	類似	
	横浜町	42	横浜町郷土館	類似	
	東北町	43	東北町歴史民俗資料館	類似	
	"	44	日本中央の礎保存館	類似	
	六ヶ所村	45	六ヶ所村立郷土館※	類似	
	おいらせ町	46	大山将棋記念館※	類似	
	"	47	おいらせ阿光坊古墳館※	類似	
下北	"	48	おいらせ町民具ふれあい館※	類似	
	東通村	49	東通村歴史民俗資料館	類似	
	佐井村	50	佐井村海峡ミュージアム	類似	
	三八	八戸市	51	八戸市博物館	登録
		"	52	八戸市南郷歴史民俗資料館	類似
		"	53	八戸市視聴覚センター・児童科学館※	類似
		"	54	八戸市埋蔵文化財センター-川縄文館	類似
		"	55	八戸市縄文学習館(是川縄文館分館)	類似
		三戸町	56	三戸町立歴史民俗資料館	類似
	五戸町	57	ごのへ郷土館※	類似	
階上町	58	階上町民俗資料収集館	類似		

※は指定管理者制度を導入(業務の一部に導入している施設を除く。)

(5) 青少年教育施設一覧

令和8年4月1日現在

地区	市町村名	No.	施設名
東青	青森市	1	青森市浪岡細野山の家※
	平内町	2	平内町勤労青少年ホーム
西北	深浦町	3	ふれあいと創造の館
上北	野辺地町	4	野辺地町勤労青少年ホーム
下北	大間町	5	大間町勤労青少年ホーム
三八	三戸町	6	三戸町勤労青少年ホーム

※は指定管理者制度を導入(業務の一部に導入している施設を除く。)

(6) 教育委員会が所管するその他の社会教育施設一覧

令和8年4月1日現在

地区	市町村名	No.	施設名
東青	青森市	1	青森市西部市民センター※
	〃	2	青森市古川市民センター※
	〃	3	青森市沖館市民センター※
	〃	4	青森市油川市民センター※
	〃	5	青森市荒川市民センター※
	〃	6	北部地区農村環境改善センター※
	蓬田村	7	蓬田村文化伝承館
	〃	8	蓬田村ふるさと総合センター
西北	つがる市	9	つがる市生涯学習交流センター「松の館」
	鱒ヶ沢町	10	日本海拠点館
	深浦町	11	岩崎社会文化会館
	板柳町	12	板柳町多目的ホール(あふる)
	〃	13	旧板柳高等学校
中泊町	14	中泊町総合文化センター(パルナス)	
中南	弘前市	15	弘前市学習情報館
	〃	16	弘前市天文台
	黒石市	17	黒石市婦人会館※
	藤崎町	18	藤崎町文化センター※
	〃	19	常盤生涯学習文化会館
	〃	20	ふれあいずーむ館※
	田舎館村	21	田舎館村文化会館
〃	22	田舎館村総合案内所※	
上北	十和田市	23	十和田市民文化センター※
	〃	24	十和田市生涯学習センター※
	三沢市	25	三沢市織笠団体活動センター
	〃	26	三沢市六川目団体活動センター
	〃	27	三沢市淋代団体活動センター
	〃	28	三沢市はまなす団体活動センター
	〃	29	三沢市谷地頭団体活動センター
	〃	30	三沢市根井団体活動センター
	野辺地町	31	野辺地町有戸地区学習等共用センター
	七戸町	32	七戸町文化交流センター
	六戸町	33	六戸町文化ホール
	〃	34	就業改善センター
	〃	35	小松ヶ丘地域交流館

地区	市町村名	No.	施設名
上北	東北町	36	東北町民文化センター
	〃	37	東北町コミュニティセンター(未来館)
	六ヶ所村	38	六ヶ所村二又夢はぐ館※
	おいらせ町	39	おいらせ町みなくる館※
〃	40	おいらせ町民交流センター	
下北	むつ市	41	むつ市海と森ふれあい体験館※
	大間町	42	大間町奥戸交流館
三八	佐井村	43	旧三上家住宅
	三戸町	44	ジョイ・ワーク三戸
	南部町	45	南部町立町民ホール(楽楽ホール)
	〃	46	南部町立名川中学校図書室1階
	〃	47	南部町農村環境改善センター福寿館
	〃	48	南部町史跡聖寿寺館跡案内所
	階上町	49	階上町石鉢ふれあい交流館
	〃	50	階上町道仏交流センター
	新郷村	51	都市農村交流センター(美郷館)
	〃	52	山村開発センター

※は指定管理者制度を導入(業務の一部に導入している施設を除く。)

Ⅱ 令和7年度市町村の社会教育事業の実績

1 市町村の事業実施件数

所管	市町村名	計	学習機会提供事業							学習機会提供事業以外の事業	総計
			青少年教育事業	成人教育事業			家庭 教育の 支援 事業に	団体 支援・ 指導者 養成に	提 供 の 学 習 機 会		
				成人 一般 対象	女 性 対 象	高 齢 者 対 象					
東青	1 青森市	250	40	66	17	17	2	4	104	2	252
	2 平内町	6	0	1	0	0	0	0	5	1	7
	3 今別町	6	0	0	0	0	2	0	4	0	6
	4 蓬田村	11	2	5	0	1	2	0	1	0	11
	5 外ヶ浜町	11	1	2	0	1	1	0	6	0	11
	小計	284	43	74	17	19	7	4	120	3	287
西北	6 五所川原市	11	0	2	0	3	0	0	6	0	11
	7 つがる市	9	0	3	0	2	3	0	1	0	9
	8 鱒ヶ沢町	17	2	0	0	2	4	0	9	0	17
	9 深浦町	8	1	0	0	0	0	0	7	2	10
	10 板柳町	26	10	2	0	1	1	0	12	0	26
	11 鶴田町	6	3	1	0	1	0	0	1	7	13
	12 中泊町	17	3	3	1	2	2	0	6	0	17
	小計	94	19	11	1	11	10	0	42	9	103
中南	13 弘前市	79	21	11	1	4	3	4	35	4	83
	14 黒石市	12	3	1	0	0	1	0	7	1	13
	15 平川市	17	4	4	0	0	2	1	6	0	17
	16 西目屋村	6	1	0	0	1	0	0	4	1	7
	17 藤崎町	11	4	1	0	0	1	0	5	0	11
	18 大鰐町	7	3	2	0	0	1	0	1	1	8
	19 田舎館村	8	2	1	0	1	1	1	2	4	12
	小計	140	38	20	1	6	9	6	60	11	151
上北	20 十和田市	58	16	3	0	1	1	1	36	5	63
	21 三沢市	40	11	4	0	2	2	0	21	0	40
	22 野辺地町	26	12	8	0	0	3	0	3	1	27
	23 七戸町	15	2	0	0	1	1	1	10	2	17
	24 六戸町	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	25 横浜町	13	3	0	0	0	0	0	10	1	14
	26 東北町	18	0	4	0	2	3	0	9	0	18
	27 六ヶ所村	14	1	6	0	0	2	1	4	4	18
	28 おいらせ町	4	1	1	0	0	1	0	1	0	4
小計	190	47	27	0	6	13	3	94	13	203	

所管	市町村名	計	学習機会提供事業							学習機会提供事業以外の事業	総計
			青少年教育事業	成人教育事業			家庭 教育の 支援 に 関 わ る 事 業	団 体 支 援 ・ 指 導 者 養 成 に 関 わ る 事 業	提 供 の 他 の 学 習 機 会 事 業		
				成人 一般 対 象	女 性 対 象	高 齢 者 対 象					
下 北	29 むつ市	39	8	7	1	0	0	2	21	0	39
	30 大間町	8	0	0	0	0	0	1	7	0	8
	31 東通村	4	1	0	0	0	1	0	2	0	4
	32 風間浦村	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	33 佐井村	3	1	0	0	1	1	0	0	7	10
	小計	55	10	7	1	1	2	3	31	7	62
三 八	34 八戸市	73	17	11	1	1	9	4	30	2	75
	35 三戸町	8	3	1	0	1	0	0	3	0	8
	36 五戸町	29	1	7	0	1	0	1	19	4	33
	37 田子町	11	4	2	0	0	0	0	5	0	11
	38 南部町	27	8	4	2	2	3	1	7	0	27
	39 階上町	5	0	4	0	0	0	1	0	3	8
	40 新郷村	13	5	0	1	1	1	0	5	1	14
	小計	166	38	29	4	6	13	7	69	10	176
総計		929	195	168	24	49	54	23	416	53	982
前年度総計		892	187	159	20	44	49	26	407	56	948

2 市町村単独実施事業のうち学習機会提供事業の実施状況（事業種別）

所管	市町村名		青少年教育事業			成人教育事業								
			事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	成人一般対象			女性対象			高齢者対象		
						事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数
東青	1	青森市	40	322	13,178	66	749	15,395	17	55	988	17	111	1,580
	2	平内町	0	0	0	1	10	344	0	0	0	0	0	0
	3	今別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	蓬田村	2	2	208	5	5	739	0	0	0	1	1	84
	5	外ヶ浜町	1	1	10	2	3	572	0	0	0	1	3	19
		小計	43	325	13,396	74	767	17,050	17	55	988	19	115	1,683
西北	6	五所川原市	0	0	0	2	17	2,718	0	0	0	3	26	1,235
	7	つがる市	0	0	0	3	4	221	0	0	0	2	8	567
	8	鱒ヶ沢町	2	3	249	0	0	0	0	0	0	2	22	321
	9	深浦町	1	1	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	板柳町	10	50	820	2	39	308	0	0	0	1	12	501
	11	鶴田町	3	4	295	1	9	1,704	0	0	0	1	5	234
	12	中泊町	3	3	2,856	3	13	1,428	1	1	144	2	2	887
		小計	19	61	4,244	11	82	6,379	1	1	144	11	75	3,745
中南	13	弘前市	21	66	13,334	11	62	6,791	1	17	1,675	4	28	3,247
	14	黒石市	3	6	244	1	1	137	0	0	0	0	0	0
	15	平川市	4	10	104	4	18	275	0	0	0	0	0	0
	16	西目屋村	1	1	77	0	0	0	0	0	0	1	6	76
	17	藤崎町	4	12	536	1	13	135	0	0	0	0	0	0
	18	大鰐町	3	5	423	2	13	272	0	0	0	0	0	0
	19	田舎館村	2	9	442	1	3	68	0	0	0	1	12	358
		小計	38	109	15,160	20	110	7,678	1	17	1,675	6	46	3,681
上北	20	十和田市	16	39	2,005	3	3	2,314	0	0	0	1	1	1,092
	21	三沢市	11	27	2,638	4	47	2,868	0	0	0	2	4	4,138
	22	野辺地町	12	16	1,036	8	41	6,802	0	0	0	0	0	0
	23	七戸町	2	3	1,869	0	0	0	0	0	0	1	11	346
	24	六戸町	1	4	180	1	13	222	0	0	0	0	0	0
	25	横浜町	3	7	245	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	26	東北町	0	0	0	4	21	1,531	0	0	0	2	2	86
	27	六ヶ所村	1	0	77	6	26	1,047	0	0	0	0	0	0
	28	おいらせ町	1	10	820	1	57	2,196	0	0	0	0	0	0
	小計	47	106	8,870	27	208	16,980	0	0	0	6	18	5,662	
下北	29	むつ市	8	20	707	7	44	1,304	1	8	90	0	0	0
	30	大間町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31	東通村	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	32	風間浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	33	佐井村	1	1	26	0	0	0	0	0	0	1	1	0
		小計	10	22	735	7	44	1,304	1	8	90	1	1	0
三八	34	八戸市	17	37	3,591	11	397	9,778	1	144	2,588	1	212	3,837
	35	三戸町	3	15	264	1	11	343	0	0	0	1	10	269
	36	五戸町	1	0	46	7	0	1,418	0	0	0	1	0	296
	37	田子町	4	4	482	2	4	1,204	0	0	0	0	0	0
	38	南部町	8	51	2,292	4	25	3,486	2	4	241	2	21	696
	39	階上町	0	0	0	4	15	657	0	0	0	0	0	0
	40	新郷村	5	40	890	0	0	0	1	7	71	1	11	86
		小計	38	147	7,565	29	452	16,886	4	155	2,900	6	254	5,184
総計			195	770	49,970	168	1,663	66,277	24	236	5,797	49	509	19,955
前年度総計			187	661	49,428	159	1,479	59,001	20	224	5,098	44	397	20,677

家庭教育の支援に関わる事業			団体支援・指導者養成に関わる事業			その他の学習機会提供事業			計		
事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数
2	2	461	4	2	273	104	286	59,402	233	1,416	89,697
0	0	0	0	0	0	5	2	475	6	12	819
2	2	0	0	0	0	4	4	0	6	6	0
2	2	126	0	0	0	1	1	16	10	10	1,089
1	1	6	0	0	0	6	9	2,155	10	14	2,743
7	7	593	4	2	273	120	302	62,048	265	1,458	94,348
0	0	0	0	0	0	6	6	1,745	8	23	4,463
3	3	775	0	0	0	1	1	12	7	8	1,008
4	19	513	0	0	0	9	161	4,622	15	183	5,384
0	0	0	0	0	0	7	7	291	8	8	315
1	1	21	0	0	0	12	12	1,593	25	102	2,742
0	0	0	0	0	0	1	1	168	5	14	2,167
2	5	152	0	0	0	6	17	1,370	15	39	5,950
10	28	1,461	0	0	0	42	205	9,801	83	377	22,029
3	15	2,673	4	3	320	35	88	95,355	75	251	120,148
1	3	375	0	0	0	7	8	1,180	12	18	1,936
2	20	1,034	1	22	383	6	6	1,112	17	76	2,908
0	0	0	0	0	0	4	11	680	5	12	757
1	5	27	0	0	0	5	4	673	11	34	1,371
1	1	7	0	0	0	1	1	195	7	20	897
1	1	30	1	1	28	2	3	72	7	17	640
9	45	4,146	6	26	731	60	121	99,267	134	428	128,657
1	1	1,976	1	1	0	36	171	12,758	57	215	19,053
2	4	492	0	0	0	21	26	29,121	38	104	35,119
3	5	304	0	0	0	3	15	276	26	77	8,418
1	24	604	1	0	96	10	21	4,413	14	48	6,982
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	17	402
0	0	0	0	0	0	10	45	2,997	13	52	3,242
3	42	1,543	0	0	0	9	14	1,469	16	77	4,543
2	0	46	1	0	10	4	1	1,026	14	27	2,206
1	10	436	0	0	0	1	6	6,578	4	83	10,030
13	86	5,401	3	1	106	94	299	58,638	184	700	89,995
0	0	0	2	1	92	21	78	10,696	39	151	12,889
0	0	0	1	1	200	7	7	845	8	8	1,045
1	0	60	0	0	0	2	2	83	4	3	145
0	0	0	0	0	0	1	0	14	1	0	14
1	1	10	0	0	0	0	0	0	2	2	36
2	1	70	3	2	292	31	87	11,638	54	164	14,129
9	164	6,576	4	19	376	30	189	98,427	72	950	121,336
0	0	0	0	0	0	3	3	921	7	29	1,528
0	0	0	1	0	37	19	1	4,368	28	1	5,869
0	0	0	0	0	0	5	5	2,258	11	13	3,944
3	14	320	1	9	26	7	29	1,989	25	132	8,354
0	0	0	1	2	42	0	0	0	5	17	699
1	7	240	0	0	0	5	11	760	12	65	1,961
13	185	7,136	7	30	481	69	238	108,723	160	1,207	143,691
54	352	18,807	23	61	1,883	416	1,252	350,115	880	4,334	492,849
49	352	18,174	26	72	2,358	407	1,159	339,931	892	4,344	494,667

Ⅲ 令和7年度市町村の生涯学習推進体制

	生涯学習推進組織				生涯学習振興に関する構想・計画		社会教育調査	
	名称	設置年度	構成員	本部長(会長)	名称	計画期間	名称	調査報告書作成年月
1	青森市							
2	平内町				平内町教育施策の大綱	R3-R7		
3	今別町							
4	蓬田村				蓬田村社会教育推進計画	策定中		
5	外ヶ浜町							
6	五所川原市							
7	つがる市							
8	鱒ヶ沢町				鱒ヶ沢町社会教育計画	R5-R9		
9	深浦町				第4次深浦町中期社会教育計画	R5-R9		
10	板柳町				板柳町生涯学習推進計画	R5-R14		
11	鶴田町							
12	中泊町				第2次中泊町長期総合計画	H28-R7		
13	弘前市	弘前市生涯学習推進本部	H18	行政職員のみ	市町村長	弘前市総合計画(後期)	R5-R8	
14	黒石市	黒石市生涯学習のまちづくり推進委員会	H14	有識者のみ	その他			
15	平川市					平川市社会教育基本計画	R5-R9	
16	西目屋村					西目屋村社会教育中期計画	R3-R5	
17	藤崎町							
18	大鰐町							
19	田舎館村							
20	十和田市	十和田市生涯学習推進本部	H16	行政職員のみ	市町村長			
21	三沢市							
22	野辺地町							
23	七戸町							
24	六戸町							
25	横浜町							
26	東北町							
27	六ヶ所村					第4次生涯学習中期推進計画	R4-R9	
28	おいらせ町					第4次おいらせ町社会教育中期計画	R7-R11	生涯学習に関するアンケート調査 R6.3

市町村の社会教育行政

	生涯学習推進組織				生涯学習振興に関する構想・計画		社会教育調査	
	名称	設置年度	構成員	本部長(会長)	名称	計画期間	名称	調査報告書作成年月
29	むつ市							
30	大間町							
31	東通村							
32	風間浦村							
33	佐井村							
34	八戸市				第3期八戸市教育振興基本計画	R6-R10		
35	三戸町							
36	五戸町				五戸町社会教育計画	R3-R7		
37	田子町				第6次田子町総合計画	H28-R7		
38	南部町							
39	階上町	階上町生涯学習まちづくり推進本部	H6	行政職員と有識者	市町村長	第3次階上町生涯学習まちづくり推進計画 学びの王国はしかみプラン	R3-R12	
40	新郷村					新郷村過疎地域持続的発展計画	R3-R7	

	生涯学習推進組織	生涯学習振興に関する構想・計画	社会教育調査
市(10)	3	3	0
町(22)	1	9	1
村(8)	0	4	0
合計(40)	4	16	1

IV 市町村子ども読書活動推進計画策定状況

令和7年3月31日現在

市町村名	策定状況	計画の策定（予定）年月	計画の位置づけ	市町村名	策定状況	計画の策定（予定）年月	計画の位置づけ
1 青森市	策定済	H17.8 第1次、H23.5 第2次 H28.3 第3次、R3.2 一部改定 R6.10 第4次	3	21 三沢市	策定済	H20.1 第1次、R5.4 第2次	1
2 平内町	策定済	H20.4 第1次、H29.4 第2次 R3.4 第3次	1	22 野辺地町	策定済	H20.3 第1次	1
3 今別町	策定済	H19.3 第1次（上位計画の一部として改定検討中）	3	23 七戸町	策定済	H21.3 第1次	1
4 蓬田村	策定済	H18.2 第1次、H22.5 第2次 H27.4 第3次、R2.5 第4次	1	24 六戸町	策定済	H23.3 第1次、H30.3 第2次	1
5 外ヶ浜町	策定済	H19.4 第1次、R5.2 第2次	1	25 横浜町	予定なし		
6 五所川原市	策定済	H20.3 第1次、H28.3 第2次 R3.3 第3次	1	26 東北町	策定済	H19.3 第1次、H24.3 第2次 H29.3 第3次、R4.3 第4次	1
7 つがる市	策定済	H18.4 第1次、H27.4 第2次 R3.4 第3次	1	27 六ヶ所村	策定済	H21.11 第1次、H27.2 第2次 (R8.3 第3次)	1
8 鯉ヶ沢町	策定済	H21.3 第1次、H26.3 第2次 R3.2 第3次	1	28 おいらせ町	策定済	H30.4 第1次、R5.3 第2次	1
9 深浦町	策定済	H20.3 第1次、R6.6 第2次	1	29 むつ市	策定済	H19.12 第1次、H30.4 第2次 R6.4 第3次	1
10 板柳町	策定済	H18.3 第1次、H23.4 第2次 H28.4 第3次、R3.4 第4次 (R8.4 第5次)	1	30 大間町	策定済	H31.4 第1次	1
11 鶴田町	策定済	H20.3 第1次、R4.3 第2次	1	31 東通村	予定なし		
12 中泊町	策定済	H21.3 第1次、H29.4 第2次 R4.4 第3次	1	32 風間浦村	予定なし		
13 弘前市	策定済	H21.3 第1次、H26.3 第2次 R2.4 第3次	1	33 佐井村	予定なし		
14 黒石市	策定済	H24.6 第1次、H29.4 第2次 R4.4 第3次	3	34 八戸市	策定済	H17.10 第1次、H24.3 第2次 H29.4 第3次、R5.3 第4次	1
15 平川市	策定済	H22.4 第1次、H27.4 第2次 R2.4 第3次、R7.3 第4次	1	35 三戸町	策定済	H28.12 第1次、R5.3 第2次	1
16 西目屋村	策定済	R6.4 第1次	1	36 五戸町	策定済	H22.3 第1次	1
17 藤崎町	策定済	R7.3 第1次	1	37 田子町	策定済	H24.2 第1次、H30.2 第2次 R6.2 第3次	1
18 大鰐町	策定済	H22.4 第1次、H26.4 第2次 R2.4 第3次、(R7.4 第4次)	1	38 南部町	策定済	H25.3 第1次	1
19 田舎館村	策定済	R6.7 第1次	1	39 階上町	策定済	H20.3 第1次、H28.3 第2次 R3.11 第3次	1
20 十和田市	策定済	H18.3 第1次、H23.3 第2次 H28.3 第3次、R3.3 第4次	1	40 新郷村	予定なし		

※計画の位置づけ 1. 単独の「子ども読書活動推進計画」として策定

3. その他の計画の一部として策定

2. 大人を含む「読書活動推進計画」の一部として策定

4. 未定

[参考] ◆市町村子ども読書活動推進計画策定率

	青森県				全国平均	
	R5.3.31現在		R7.3.31現在		R7.3.31現在	
	市町村数	策定率	市町村数	策定率	市町村数	策定率
策定済	32	80.0%	35	87.5%	1,554	89.3%
策定作業中	3	7.5%	0	0.0%	25	1.4%
策定検討中	0	0.0%	0	0.0%	55	3.2%
予定なし	5	12.5%	5	12.5%	107	6.1%

V 主な社会教育関係団体一覧

令和8年4月1日現在

	団体名	代表者氏名	事務局所在地	TEL・FAX	会員数・ 単位団体数
1	一般社団法人 青森県子ども会育成連合会	会長 矢野 均	〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 県総合社会教育センター内	TEL 017-739-7800 FAX 017-762-7810	会員数 14,562人 単位団体数 499
2	日本ボーイスカウト青森県連盟	連盟長 宮下宗一郎	〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 県総合社会教育センター内	TEL 017-739-0660 FAX 017-757-8760	会員数 104人 単位団体数 6
3	一般社団法人 ガールスカウト青森県連盟	連盟長 加藤 貴子	〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 県総合社会教育センター内	TEL 017-729-1965 FAX 017-729-1965	会員数 153人 単位団体数 8
4	青森県PTA連合会	会長 棟方 丈博	〒030-0801 青森市新町1-1-14 損保ジャパン青森ビル3F	TEL 017-722-1647 FAX 017-722-1648	会員数 47,902人 単位団体数 395
5	青森県高等学校PTA連合会	会長 高橋 尚裕	〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 計量検定グループ庁舎内	TEL 017-757-8586 FAX 017-757-8587	会員数 23,500人 単位団体数 67
6	青森県特別支援学校PTA連合会	会長 岡田 浩介	〒031-0815 八戸市大字松館字水野平20-19 県立八戸第二養護学校内	TEL 0178-96-1214 FAX 0178-96-5690	会員数 2,904人 単位団体数 21
7	青森県地域婦人団体連合会	会長 外崎れい子	〒030-0822 青森市中央3-17-1 アピオあおもり2F	TEL 017-773-6293 FAX 017-773-6293	会員数 1,248人 単位団体数 29
8	青森県図書館連絡協議会	会長 早野 英明	〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内	TEL 017-739-4211 FAX 017-739-8353	単位団体数 42
9	青森県読書推進運動協議会	会長 早野 英明	〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内	TEL 017-739-4211 FAX 017-739-8353	単位団体数 5
10	青森県読書団体連絡協議会	会長 前田 敏子	〒031-0022 八戸市大字糠塚字下道2-1 八戸市立図書館内	TEL 0178-22-0266 FAX 0178-71-1312	単位団体数 5
11	「小さな親切」運動青森県本部	本部長 石川啓太郎	〒030-8668 青森市橋本1-9-30 青森みちのく銀行地域振興支援事務局	TEL 070-7422-2087 FAX 017-777-6711	会員数 1,317人
12	青森県社会教育委員連絡協議会	会長 白川喜代美	〒030-8540 青森市長島1-1-1 県教育庁生涯学習課内	TEL 017-734-9888 FAX 017-734-8272	会員数 338人 単位団体数 40
13	青森県公民館連絡協議会	会長 高橋 宣子	〒031-8686 八戸市内丸1丁目1-1 八戸市教育委員会社会教育課内	TEL 0178-43-9516 FAX 0178-47-4997	単位団体数 39
14	青森県連合青年団 *活動休止				

【参考】■主な社会教育関係団体に関わる全国大会・東北大会等一覧（令和8年度）

団体名	期日	大会名（開催地）
青森県子ども会育成連合会	5/9 8/8-10 11/7-8 11/21-22	東北地区子ども会育成連絡協議会総会（宮城県） 第52回東北地区子ども会ジュニアリーダー研修会宮城大会（宮城県） 第56回東北地区子ども会育成研究協議会福島大会（福島県） 第59回全国子ども会育成中央会議・研究大会（大阪府）
日本ボーイスカウト青森県連盟	5/30-31 8/6-11	ボーイスカウト日本連盟全国大会2026（千葉県幕張メッセ） 第19回日本スカウトジャンボリー（広島県神石高原）
ガールスカウト青森県連盟	8/7-11 10/17-18 11/21-23	レンジャー全国キャンプ（長野県長野市） 北海道・東北地区成人研修会（北海道） 北海道・東北地区年長部門事業 GIRL'S FUN MEETING inふくしま（福島県）
青森県高等学校PTA連合会	7/9-10 8/20-21	第75回東北地区高等学校PTA連合会秋田大会（秋田県秋田市） 第75回全国高等学校PTA連合会大会大分大会（大分県別府市）
青森県地域婦人団体連合会	6/18-19	第74回全国女性団体研究大会（北海道札幌市） （兼 第63回北海道・東北ブロック地域婦人研究大会）
青森県図書館連絡協議会	6/19 11/19-20 11/26-27	第77回北日本図書館大会岩手大会（岩手県） 第112回全国図書館大会石川大会（石川県） 令和8年度全国公共図書館研究集会【サービス部門、総合・経営部門】（北海道）
青森県社会教育委員連絡協議会	10/22-23 10/28-30	令和8年度東北地区社会教育研究大会秋田大会（秋田県秋田市） 第68回全国社会教育研究大会大阪大会（大阪府）
青森県公民館連絡協議会	6/10 10/22-23	全国公民館連合会定時総会 第48回全国公民館研究集会・第71回東北地区公民館大会（秋田県秋田市）

卷末資料

文部科学大臣表彰者一覧

(平成28年度以降・過去10年間)

年度	社会教育 功労者表彰	視聴覚教育・ 情報教育功労者表彰	優良PTA 文部科学大臣表彰	PTA活動振興 功労者表彰	優良公民館 表彰	子供の読書活動優秀実践 図書館・団体(個人)表彰
H28	庭田 良二 高瀬 晃	中山 武廣	三戸町立斗川小学校 むつ市立川内中学校 県立青森高等学校		五所川原市 中央公民館 六戸町 中央公民館	<図書館> 板柳町民図書館 <団体(者)> おいしいおかゆの会(青森市)
H29	張摩 博子 人間 正智	(受賞なし)	認定こども園百石幼稚園 八戸市立第一中学校 むつ市立大畑中学校		八戸市立 根城公民館 青森市沖郷 市民センター	<図書館> 青森市民図書館 <団体(者)> 紙しばい倶楽部とわだ
H30	奥寺 一廣 山田 正元	(受賞なし)	三沢市立おおぞら小学校 県立青森第一養護学校 弘前市立豊田小学校	益川 毅 佐藤 広政 相馬 多一郎 住吉 治彦	佐井 村 矢越地区公民館	<図書館> 八戸市立図書館 <団体(者)> 大鰐町読書推進会「わにっこわくわく」
R1	矢野 均 乙供 房子	對馬 祐之	十和田市立松陽小学校 新郷村立戸来小学校 八戸工業大学第二高等学校		八戸市立 大館公民館	<図書館> 田子町立図書館 <団体(者)> 大畑町「どんぐり」グループ(むつ市)
R2	稲見 健一 芳賀 孝子	戸来 忠雄	むつ市立奥内小学校 青森市立甲田中学校 養生幼稚園		中泊町 中央公民館	<図書館> むつ市立図書館 <団体(者)> 語りの会「はまなす」(三沢市)
R3	田中 忠博 川村 優子	三上 敏彦	弘前市立裾野小学校 八戸市立下長小学校 県立盲学校		今別町 中央公民館	<図書館> つがる市立図書館 <団体(者)> 八戸おはなしの会 紙風船
R4	福山 廣 福原 仁一	太田 眞佐清	藤崎町立藤崎小学校 田子町立上郷小学校 県立五所川原農林高等学校		田舎館村 中央公民館	<図書館> 六ヶ所村民図書館 <団体(者)> 潮風おはなし会(中泊町)
R5	佐々木 忠一 佐々木 博子	幸山 勉	青森市立千刈小学校 五所川原市立南小学校 認定こども園油川幼稚園	外崎 浩司 柴田 一則 福土 素子	六ヶ所村立 中央公民館 青森市東部 市民センター	<図書館> 藤崎町図書館 大夢 <団体(者)> 親子読書の会「わっこの会」(十和田市)
R6	岩間 祐子 田中 潔	成田 弘行	八戸市立城下小学校 階上町立道仏小学校 県立黒石養護学校		むつ市 大畑公民館 深浦町 公民館	<図書館> 平内町立図書館 <団体(者)> 読みきかせボランティアネットワーク おはなしの本(むつ市)
R7	中嶋 康夫 相馬 敏光	森山 和康	弘前市立第一中学校 むつ市立近川中学校 県立名久井農業高等学校		八戸市立 江陽公民館 弘前市立 中央公民館	<図書館> 八戸市立南郷図書館 <団体(者)> おはなしこっとな(平川市)

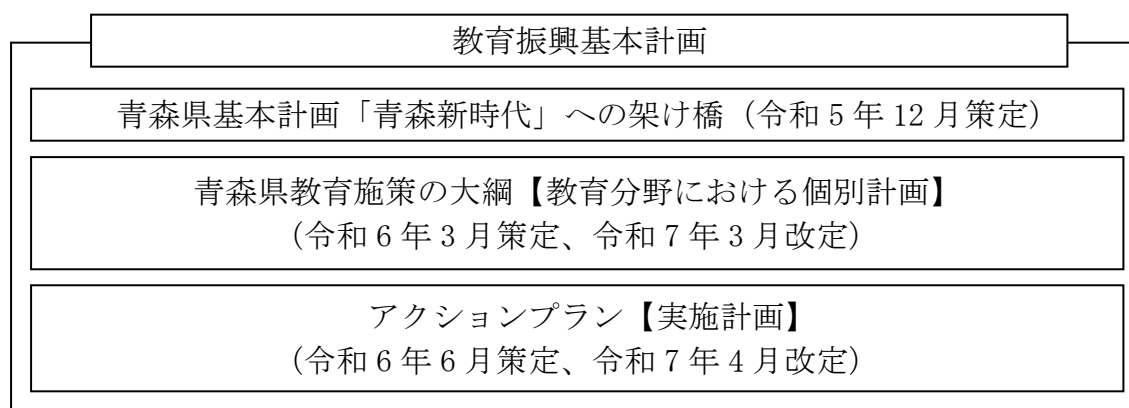
年度	「地域学校協働活動」推進に係る 文部科学大臣表彰	年度	「障害者の生涯学習支援活動」に 係る文部科学大臣表彰	年度	優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の 推進にかかる文部科学大臣表彰
H28	八戸市立柏崎小学校地域密着型教育(八戸市立柏崎小学校) 北陽小学校支援事業(黒石市立北陽小学校) 小泊小学校学校支援事業(中泊町立小泊小学校)	H29	十和田点訳・朗読奉仕会 ボランティアサークル虹の会(弘前市)	H28	生活リズムを整え家庭学習の習慣化を目指そう運動 (大間町)
H29	古間木小学校支援ボランティア(三沢市立古間木小学校) 板柳東小学校地域学校協働活動(板柳町立板柳東小学校) 第二田名部小学校学校支援活動(むつ市立第二田名部小学校)	H30	若木 政人(青森市)	H29	
H30	(受賞なし)	R1	野澤 英二(青森市) 福沢 和彦(野辺地町)	H30	「早起き・早寝・朝ごはん」運動(十和田市立藤坂小 学校)
R1	鱈ヶ沢町地域学校協働本部(鱈ヶ沢町立西海小学校、鱈ヶ沢町立舞戸 小学校、鱈ヶ沢町立鱈ヶ沢中学校) 大深内中学校学校運営協議会(十和田市立大深内中学校)	R2	俊文書道会(八戸市)	R1	
R2	七百中学校学校運営協議会(六戸町立七百中学校) 青森県立森田養護学校コミュニティ・スクール(県立森田養護学校)	R3	小山内 敬子(青森市)	R2	東英きつず 元気UPる大作戦(黒石市立東英小学 校)
R3		R4	東 信昭(十和田市)	R3	
		R5	山田 金治(大鰐町)	R4	健康生活リズムで元気いっぱい～早寝・早起き・朝 ごはん～(階上町立石鉢小学校) ぐっすり眠って心も体も元気いっぱい大作戦(三沢市 立木崎野小学校)
		R6	特定非営利活動法人 レアリスムスポーツクラブ(青森市)	R5	
		R7	宮内 善浩(三沢市) むつ・下北地区レクリエーション協会	R6	グッドモーニング 朝の60分で元気をつくらう(GM60 分チャレンジ)(六戸町立大曲小学校) 食育チャレンジプログラム(青森市立浜田小学校)
				R7	

年度	「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」 に係る文部科学大臣表彰	年度	「家庭教育支援チーム」の活動の 推進に係る文部科学大臣表彰
R4	八戸高等支援学校学校運営協議会・八戸高等支援学校地域協働活動 (県立八戸高等支援学校)	H29	鱈ヶ沢町家庭教育支援チーム
R5		H30	
R6	筒井中学校区地域学校協働本部(青森市) 黒石高等学校地域学校協働活動(黒石市)	R1	青森市家庭教育サポーター連絡会
R7		R2	
		R3	横浜町家庭教育支援チーム
		R4	
		R5	今別町家庭教育支援チームTAZUNA
		R6	
		R7	三戸町家庭教育支援チーム

青森県教育振興基本計画について

本県では、「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」及び「青森県教育施策の大綱『あおり未来教育ビジョンVer. 2.0』」を踏まえ、今後取り組む具体的な施策や進捗状況を把握するための指標を設定したアクションプランを策定しました。

青森県基本計画、青森県教育施策の大綱、アクションプランの3つをあわせて、青森県教育振興基本計画と位置付けています。



青森県教育振興基本計画の全文はこちらを御覧ください。

- ・青森県基本計画「青森新時代」への架け橋
- ・青森県教育施策の大綱
- ・アクションプラン



令和8年度青森県の社会教育行政

発行 青森県教育庁生涯学習課
〒030-8540 青森市長島一丁目1-1
電話 017-722-1111(代表)
017-734-9887(総務グループ)
017-734-9888(企画振興グループ)
017-734-9890(地域連携推進グループ)
FAX 017-734-8272
発行年月 令和8年5月
印刷 ワタナベサービス株式会社

